

香良洲エコ・ステーションストックヤード新築工事

図 面 リ ス ト			
建 築 工 事		電 気 設 備 工 事 ・ 機 械 設 備 工 事	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－01	特記仕様書(1)	E－01	電気設備特記仕様書
A－02	特記仕様書(2)	E－02	電気設備配置図
A－03	特記仕様書(3)	E－03	電気設備配置図(撤去図)
A－04	特記仕様書(4)	E－04	電気設備図・姿図・分電盤図・凡例表
A－05	特記仕様書(5)		
A－06	設計概要・仕上表・求積図・案内図	M－01	機械設備特記仕様書
A－07	配置図	M－02	機械設備配置図
A－08	敷地求積図・敷地面積表	M－03	機械設備器具表・機器表・平面図
A－09	平面図・立面図・屋根伏図		
A－10	断面詳細図		
A－11	平面詳細図		
A－12	展開図・天井伏図		
A－13	建具符号図・建具表		
A－14	現況図		
A－15	総合仮設計画図（参考図）		
S－01	構造特記仕様書		
S－02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）		
S－03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）		
S－04	鉄骨構造標準図		
S－05	地盤柱状改良工事概要・地盤柱状改良伏図・地盤柱状改良断面図		
S－06	基礎詳細図・柱脚リスト・地中梁リスト・ボーリング柱状図		
S－07	基礎伏図・梁伏図・鉄骨部材リスト		
S－08	軸組図		
S－09	鉄骨架構詳細図・小梁継手詳細図・柱脚部詳細図		

藤川設計株式会社

建築工事特記仕様書			章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
仕様書	Ⅰ 工事概要		Ⅱ 建築工事仕様	④ 三重県産業廃棄物税	※ 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。 ○ 受注者は受注時において工事着手前に「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。 また、工事完了後にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行い、「再生資源利用実績書」、「再生資源利用促進実績書」を監督員に提出すること。	2 仮設工事	① 足場その他（2.1）	内部足場の種別： ・ 脚立程度・足場板○簡易型移動式足場 ・ 枠組組足場（手摺先行据置型） 外部足場の種別： ・ ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種 ・ H種 ・ I種 ・ J種 ・ K種 ・ L種 ・ M種 ・ N種 ・ O種 ・ P種 ・ Q種 ・ R種 ・ S種 ・ T種 ・ U種 ・ V種 ・ W種 ・ X種 ・ Y種 ・ Z種 ・ その他： 既設部分養生材料： ・ ビニールシート ・ その他： 既設部分養生材料： ・ ビ			

6

コンクリート工事

① 一般事項

(8.2)

② 材料

(8.3)

③ 材料

(8.3)

④ 材料及び調査

(10.2)

⑤ 材料及び調査

(11.2)

⑥ 材料及び調査

(12.2)

⑦ 材料及び調査

(13.2)

⑧ 材料及び調査

(14.1)

⑨ 材料及び調査

(15.2)

⑩ 材料及び調査

(16.2)

⑪ 材料及び調査

(17.2)

⑫ 材料及び調査

(18.2)

⑬ 材料及び調査

(19.2)

⑭ 材料及び調査

(20.2)

⑮ 材料及び調査

(21.2)

⑯ 材料及び調査

(22.2)

⑰ 材料及び調査

(23.2)

⑱ 材料及び調査

(24.2)

⑲ 材料及び調査

(25.2)

⑳ 材料及び調査

(26.2)

㉑ 材料及び調査

(27.2)

㉒ 材料及び調査

(28.2)

㉓ 材料及び調査

(29.2)

㉔ 材料及び調査

(30.2)

㉕ 材料及び調査

(31.2)

㉖ 材料及び調査

(32.2)

㉗ 材料及び調査

(33.2)

㉘ 材料及び調査

(34.2)

㉙ 材料及び調査

(35.2)

㉚ 材料及び調査

(36.2)

㉛ 材料及び調査

(37.2)

㉜ 材料及び調査

(38.2)

㉝ 材料及び調査

(39.2)

㉞ 材料及び調査

(40.2)

㉟ 材料及び調査

(41.2)

㊱ 材料及び調査

(42.2)

㊲ 材料及び調査

(43.2)

㊳ 材料及び調査

(44.2)

㊴ 材料及び調査

(45.2)

㊵ 材料及び調査

(46.2)

㊶ 材料及び調査

(47.2)

㊷ 材料及び調査

(48.2)

㊸ 材料及び調査

(49.2)

㊹ 材料及び調査

(50.2)

㊺ 材料及び調査

(51.2)

㊻ 材料及び調査

(52.2)

㊼ 材料及び調査

(53.2)

㊽ 材料及び調査

(54.2)

㊾ 材料及び調査

(55.2)

㊿ 材料及び調査

(56.2)

㏀ 材料及び調査

(57.2)

㏁ 材料及び調査

(58.2)

㏂ 材料及び調査

(59.2)

㏃ 材料及び調査

(60.2)

㏄ 材料及び調査

(61.2)

㏅ 材料及び調査

(62.2)

㏆ 材料及び調査

(63.2)

㏇ 材料及び調査

(64.2)

㏈ 材料及び調査

(65.2)

㏉ 材料及び調査

(66.2)

㏊ 材料及び調査

(67.2)

㏋ 材料及び調査

(68.2)

㏌ 材料及び調査

(69.2)

㏍ 材料及び調査

(70.2)

㏎ 材料及び調査

(71.2)

㏏ 材料及び調査

(72.2)

㏐ 材料及び調査

(73.2)

㏑ 材料及び調査

(74.2)

㏒ 材料及び調査

(75.2)

㏓ 材料及び調査

(76.2)

㏔ 材料及び調査

(77.2)

㏕ 材料及び調査

(78.2)

㏖ 材料及び調査

(79.2)

㏗ 材料及び調査

(80.2)

㏘ 材料及び調査

(81.2)

㏙ 材料及び調査

(82.2)

㏚ 材料及び調査

(83.2)

㏛ 材料及び調査

(84.2)

㏜ 材料及び調査

(85.2)

㏝ 材料及び調査

(86.2)

㏞ 材料及び調査

(87.2)

㏟ 材料及び調査

(88.2)

㏠ 材料及び調査

(89.2)

㏡ 材料及び調査

(90.2)

㏢ 材料及び調査

(91.2)

㏣ 材料及び調査

(92.2)

㏤ 材料及び調査

(93.2)

㏥ 材料及び調査

(94.2)

㏦ 材料及び調査

(95.2)

㏧ 材料及び調査

(96.2)

㏨ 材料及び調査

(97.2)

㏩ 材料及び調査

(98.2)

㏪ 材料及び調査

(99.2)

㏫ 材料及び調査

(100.2)

㏬ 材料及び調査

(101.2)

㏭ 材料及び調査

(102.2)

㏮ 材料及び調査

(103.2)

㏱ 材料及び調査

(104.2)

㏲ 材料及び調査

(105.2)

㏳ 材料及び調査

(106.2)

㏴ 材料及び調査

(107.2)

㏵ 材料及び調査

(108.2)

㏶ 材料及び調査

(109.2)

㏷ 材料及び調査

(110.2)

㏸ 材料及び調査

(111.2)

㏹ 材料及び調査

(112.2)

㏺ 材料及び調査

(113.2)

㏻ 材料及び調査

(114.2)

㏼ 材料及び調査

(115.2)

㏽ 材料及び調査

(116.2)

㏾ 材料及び調査

(117.2)

㏿ 材料及び調査

(118.2)

㐀 材料及び調査

(119.2)

㐁 材料及び調査

(120.2)

㐂 材料及び調査

(121.2)

㐃 材料及び調査

(122.2)

㐄 材料及び調査

(123.2)

㐅 材料及び調査

(124.2)

㐆 材料及び調査

(125.2)

㐇 材料及び調査

(126.2)

㐈 材料及び調査

(127.2)

㐉 材料及び調査

(128.2)

㐊 材料及び調査

(129.2)

㐋 材料及び調査

(130.2)

㐌 材料及び調査

(131.2)

㐍 材料及び調査

(132.2)

㐎 材料及び調査

(133.2)

㐏 材料及び調査

(134.2)

㐐 材料及び調査

(135.2)

㐑 材料及び調査

(136.2)

㐒 材料及び調査

(137.2)

㐓 材料及び調査

(138.2)

㐔 材料及び調査

(139.2)

㐕 材料及び調査

(140.2)

㐖 材料及び調査

(141.2)

㐗 材料及び調査

(142.2)

㐙 材料及び調査

(144.2)

㐚 材料及び調査

(145.2)

㐛 材料及び調査

(146.2)

㐜 材料及び調査

(147.2)

㐝 材料及び調査

(148.2)

㐞 材料及び調査

(149.2)

㐟 材料及び調査

(150.2)

㐠 材料及び調査

(151.2)

㐡 材料及び調査

(152.2)

㐢 材料及び調査

(153.2)

㐣 材料及び調査

(154.2)

㐤 材料及び調査

(155.2)

㐥 材料及び調査

(156.2)

㐦 材料及び調査

(157.2)

㐧 材料及び調査

(158.2)

㐨 材料及び調査

(159.2)

㐩 材料及び調査

(160.2)

㐪 材料及び調査

(161.2)

㐫 材料及び調査

(162.2)

㐬 材料及び調査

(163.2)

㐭 材料及び調査

(164.2)

㐮 材料及び調査

(165.2)

㐯 材料及び調査

(166.2)

㐰 材料及び調査

(167.2)

㐱 材料及び調査

(168.2)

㐲 材料及び調査

(169.2)

㐳 材料及び調査

(170.2)

㐴 材料及び調査

(171.2)

㐵 材料及び調査

(172.2)

㐶 材料及び調査

(173.2)

㐷 材料及び調査

(174.2)

㐸 材料及び調査

(175.2)

㐹 材料及び調査

(176.2)

㐺 材料及び調査

(177.2)

㐻 材料及び調査

(178.2)

㐼 材料及び調査

(179.2)

㐽 材料及び調査

(180.2)

㐾 材料及び調査

(181.2)

㐿 材料及び調査

(182.2)

㑀 材料及び調査

(183.2)

㑁 材料及び調査

(184.2)

㑂 材料及び調査

(185.2)

㑃 材料及び調査

(186.2)

㑄 材料及び調査

(187.2)

㑅 材料及び調査

(188.2)

㑆 材料及び調査

(189.2)

㑇 材料及び調査

(190.2)

㑈 材料及び調査

(191.2)

㑉 材料及び調査

(192.2)

㑊 材料及び調査

(193.2)

㑋 材料及び調査

(194.2)

㑌 材料及び調査

(195.2)

㑍 材料及び調査

(196.2)

㑎 材料及び調査

(197.2)

㑏 材料及び調査

(198.2)

㑐 材料及び調査

(199.2)

㑑 材料及び調査

(200.2)

㑒 材料及び調査

(201.2)

㑓 材料及び調査

(202.2)

㑔 材料及び調査

(203.2)

㑕 材料及び調査

(204.2)

㑖 材料及び調査

(205.2)

㑗 材料及び調査

(206.2)

㑘 材料及び調査

(207.2)

㑙 材料及び調査

(208.2)

㑚 材料及び調査

(209.2)

㑛 材料及び調査

(210.2)

㑜 材料及び調査

(211.2)

㑝 材料及び調査

(212.2)

㑞 材料及び調査

(213.2)

㑟 材料及び調査

(214.2)

㑠 材料及び調査

(215.2)

㑡 材料及び調査

(216.2)

㑢 材料及び調査

(217.2)

㑣 材料及び調査

(218.2)

㑤 材料及び調査

(219.2)

㑦 材料及び調査

(220.2)

㑧 材料及び調査

(221.2)

㑨 材料及び調査

(222.2)

㑩 材料及び調査

(223.2)

㑪 材料及び調査

(224.2)

㑫 材料及び調査

(225.2)

㑬 材料及び調査

(226.2)

㑭 材料及び調査

(227.2)

㑮 材料及び調査

(228.2)

㑯 材料及び調査

(229.2)

㑰 材料及び調査

(230.2)

㑱 材料及び調査

(231.2)

㑲 材料及び調査

(232.2)

㑳 材料及び調査

(233.2)

㑴 材料及び調査

(234.2)

㑵 材料及び調査

(235.2)

㑶 材料及び調査

(236.2)

㑷 材料及び調査

(237.2)

㑸 材料及び調査

(238.2)

㑹 材料及び調査

(239.2)

㑺 材料及び調査

(240.2)

㑻 材料及び調査

(241.2)

㑼 材料及び調査

(242.2)

㑽 材料及び調査

(243.2)

㑾 材料及び調査

(244.2)

㑿 材料及び調査

(245.2)

㒀 材料及び調査

(246.2)

㒁 材料及び調査

(247.2)

㒂 材料及び調査

(248.2)

㒃 材料及び調査

(249.2)

㒄 材料及び調査

(250.2)

㒅 材料及び調査

(251.2)

㒆 材料及び調査

(252.2)

㒇 材料及び調査

(253.2)

㒈 材料及び調査

(254.2)

㒉 材料及び調査

(255.2)

㒊 材料及び調査

(256.2)

㒋 材料及び調査

(257.2)

㒌 材料及び調査

(258.2)

㒍 材料及び調査

(259.2)

㒎 材料及び調査

(260.2)

㒏 材料及び調査

(261.2)

㒐 材料及び調査

(262.2)

㒑 材料及び調査

(263.2)

㒒 材料及び調査

(264.2)

㒓 材料及び調査

(265.2)

㒔 材料及び調査

(266.2)

㒕 材料及び調査

(267.2)

㒖 材料及び調査

(268.2)

㒗 材料及び調査

(269.2)

㒘 材料及び調査

(270.2)

㒙 材料及び調査

(271.2)

㒚 材料及び調査

(272.2)

㒛 材料及び調査

(273.2)

㒜 材料及び調査

(274.2)

㒝 材料及び調査

(275.2)

㒞 材料及び調査

(276.2)

㒟 材料及び調査

(277.2)

㒠 材料及び調査

(278.2)

㒡 材料及び調査

(279.2)

㒢 材料及び調査

(280.2)

㒣 材料及び調査

(281.2)

㒤 材料及び調査

(282.2)

㒥 材料及び調査

(283.2)

㒦 材料及び調査

(284.2)

㒧 材料及び調査

(285.2)

㒨 材料及び調査

(286.2)

㒩 材料及び調査

(287.2)

㒪 材料及び調査

(288.2)

㒫 材料及び調査

(289.2)

㒬 材料及び調査

(290.2)

㒭 材料及び調査

(291.2)

㒮 材料及び調査

(292.2)

㒯 材料及び調査

(293.2)

㒰 材料及び調査

(294.2)

㒱 材料及び調査

(295.2)

㒲 材料及び調査

(296.2)

㒳 材料及び調査

(297.2)

㒴 材料及び調査

(298.2)

㒵 材料及び調査

(299.2)

㒶 材料及び調査

(300.2)

㒷 材料及び調査

(301.2)

㒸 材料及び調査

(302.2)

㒹 材料及び調査

(303.2)

㒺 材料及び調査

(304.2)

㒻 材料及び調査

(305.2)

㒼 材料及び調査

(306.2)

㒽 材料及び調査

(307.2)

㒾 材料及び調査

(308.2)

㒿 材料及び調査

(309.2)

㓀 材料及び調査

(310.2)

㓁 材料及び調査

(311.2)

㓂 材料及び調査

(312.2)

㓃 材料及び調査

(313.2)

㓄 材料及び調査

(314.2)

㓅 材料及び調査

(315.2)

㓆 材料及び調査

(316.2)

㓇 材料及び調査

(317.2)

㓈 材料及び調査

(318.2)

㓉 材料及び調査

(319.2)

㓊 材料及び調査

(320.2)

㓋 材料及び調査

(321.2)

㓌 材料及び調査

(324.2)

㓍 材料及び調査

(325.2)

㓎 材料及び調査

(326.2)

㓏 材料及び調査

(327.2)

㓐 材料及び調査

(328.2)

㓑 材料及び調査

(329.2)

㓒 材料及び調査

(330.2)

㓓 材料及び調査

(331.2)

㓔 材料及び調査

(332.2)

㓕 材料及び調査

(333.2)

㓖 材料及び調査

(334.2)

㓗 材料及び調査

(335.2)

㓘 材料及び調査

(336.2)

㓙 材料及び調査

(337.2)

㓚 材料及び調査

(338.2)

㓛 材料及び調査

(339.2)

㓜 材料及び調査

(340.2)

㓝 材料及び調査

(341.2)

㓞 材料及び調査

(342.2)

㓟 材料及び調査

(343.2)

㓠 材料及び調査

(344.2)

㓡 材料及び調査

(345.2)

㓢 材料及び調査

(346.2)

㓣 材料及び調査

(347.2)

㓤 材料及び調査

(348.2)

㓥 材料及び調査

(349.2)

㓦 材料及び調査

(350.2)

㓧 材料及び調査

(351.2)

㓨 材料及び調査

(352.2)

㓩 材料及び調査

(353.2)

㓪 材料及び調査

(354.2)

㓫 材料及び調査

(355.2)

㓬 材料及び調査

(356.2)

㓭 材料及び調査

(357.2)

㓮 材料及び調査

(358.2)

㓯 材料及び調査

(359.2)

㓰 材料及び調査

(360.2)

㓱 材料及び調査

(361.2)

㓲 材料及び調査

(362.2)

㓳 材料及び調査

(363.2)

㓴 材料及び調査

(364.2)

㓵 材料及び調査

(365.2)

㓶 材料及び調査

(366.2)

㓷 材料及び調査

(367.2)

㓸 材料及び調査

(368.2)

㓹 材料及び調査

(369.2)

㓺 材料及び調査

(370.2)

㓻 材料及び調査

(371.2)

㓼 材料及び調査

(372.2)

㓽 材料及び調査

(373.2)

㓾 材料及び調査

(374.2)

㓿 材料及び調査

(375.2)

㔀 材料及び調査

(376.2)

㔁 材料及び調査

(377.2)

㔂 材料及び調査

(378.2)

㔃 材料及び調査

(379.2)

㔄 材料及び調査

(380.2)

㔅 材料及び調査

(381.2)

㔆 材料及び調査

(382.2)

㔇 材料及び調査

(383.2)

㔈 材料及び調査

(384.2)

㔉 材料及び調査

(385.2)

㔊 材料及び調査

(386.2)

㔋 材料及び調査

(387.2)

㔌 材料及び調査

(388.2)

㔍 材料及び調査

(389.2)

㔎 材料及び調査

(390.2)

㔏 材料及び調査

(391.2)

㔐 材料及び調査

(392.2)

㔑 材料及び調査

(393.2)

㔒 材料及び調査

(394.2)

㔓 材料及び調査

(395.2)

㔔 材料及び調査

(396.2)

㔕 材料及び調査

(397.2)

㔖 材料及び調査

(398.2)

㔗 材料及び調査

(399.2)

㔘 材料及び調査

(400.2)

㔙 材料及び調査

(401.2)

㔚 材料及び調査

(402.2)

㔛 材料及び調査

(403.2)

㔜 材料及び調査

(404.2)

㔝 材料及び調査

(405.2)

㔞 材料及び調査

(406.2)

㔟 材料及び調査

(407.2)

㔠 材料及び調査

(408.2)

㔡 材料及び調査

(409.2)

㔢 材料及び調査

(410.2)

㔣 材料及び調査

(411.2)

㔤 材料及び調査

(412.2)

㔥 材料及び調査

(413.2)

㔦 材料及び調査

(414.2)

㔧 材料及び調査

(415.2)

㔨 材料及び調査

(416.2)

㔩 材料及び調査

(417.2)

㔪 材料及び調査

(418.2)

㔫 材料及び調査

(419.2)

㔬 材料及び調査

(420.2)

㔭 材料及び調査

(421.2)

㔮 材料及び調査

(422.2)

㔯 材料及び調査

(423.2)

㔰 材料及び調査

(424.2)

㔱 材料及び調査

(425.2)

㔲 材料及び調査

(426.2)

㔳 材料及び調査

(427.2)

㔴 材料及び調査

(428.2)

㔵 材料及び調査

(429.2)

㔶 材料及び調査

(430.2)

㔷 材料及び調査

(431.2)

㔸 材料及び調査

(432.2)

㔹 材料及び調査

(433.2)

㔺 材料及び調査

(434.2)

㔻 材料及び調査

(435.2)

㔼 材料及び調査

(436.2)

㔽 材料及び調査

(437.2)

㔾 材料及び調査

(438.2)

㔿 材料及び調査

(439.2)

㕀 材料及び調査

(440.2)

㕁 材料及び調査

(441.2)

㕂 材料及び調査

(442.2)

㕃 材料及び調査

(443.2)

㕄 材料及び調査

(444.2)

㕅 材料及び調査

(445.2)

㕆 材料及び調査

(446.2)

㕇 材料及び調査

(447.2)

㕈 材料及び調査

(448.2)

㕉 材料及び調査

(449.2)

㕊 材料及び調査

(450.2)

㕋 材料及び調査

(451.2)

㕌 材料及び調査

(452.2)

㕍 材料及び調査

(453.2)

㕎 材料及び調査

(454.2)

㕏 材料及び調査

(455.2)

㕐 材料及び調査

(456.2)

㕑 材料及び調査

(457.2)

㕒 材料及び調査

(458.2)

㕓 材料及び調査

(459.2)

㕔 材料及び調査

(460.2)

㕕 材料及び調査

(461.2)

㕖 材料及び調査

(462.2)

㕗 材料及び調査

(463.2)

㕘 材料及び調査

(464.2)

㕙 材料及び調査

(465.2)

㕚 材料及び調査

(466.2)

㕛 材料及び調査

(467.2)

㕜 材料及び調査

(468.2)

㕝 材料及び調査

(469.2)

㕞 材料及び調査

(470.2)

㕟 材料及び調査

(471.2)

㕠 材料及び調査

(472.2)

㕡 材料及び調査

(473.2)

㕢 材料及び調査

(474.2)

㕣 材料及び調査

(475.2)

㕤 材料及び調査

(476.2)

㕥 材料及び調査

(477.2)

㕦 材料及び調査

(478.2)

㕧 材料及び調査

(479.2)

㕨 材料及び調査

(480.2)

㕩 材料及び調査

(481.2)

㕪 材料及び調査

(482.2)

㕫 材料及び調査

(483.2)

㕬 材料及び調査

(484.2)

㕭 材料及び調査

(485.2)

㕮 材料及び調査

(486.2)

㕯 材料及び調査

(487.2)

㕰 材料及び調査

(488.2)

㕱 材料及び調査

(489.2)

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項									
16 建 具 工 事	(4. 鋼製建具) 1 性能及び構造 (4.2)	性能及び構造： ※JIS規格による 外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・S-4 ※S-5 ・S-6	17 カ ー テ ン ウ ォ ー ル 工 事	(14. ガラス) ① 材 料 (14.2)	ガラスの種類： ※図示 ガラス留め材 建具の種類 種類・材質 ※7Mn2Al製 ※シリリグ材 ・ガラス材（1種 ・2種） ※鋼製 ※シリリグ材 ・ガラス材（1種 ・2種） ※ステンレス製 ※シリリグ材 ・ガラス材（1種 ・2種） ※木製 ※シリリグ材 ・ガラス材（木製用） 金属性製建具用パテはJISA5752による。	19 内 装 工 事	(8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EPG）) 1 塗料塗り (8.2)	モルタル面： ・A種 ・B種 プラスター面： ・A種 ・B種 せっこうボード面： ・A種 ・B種 その他ボード面： ・A種 ・B種									
	2 材 料 (4.3)	鋼板の種類： ※JIS G 3302：溶融亜鉛めっき鋼板帯 ・JIS G 3317：溶融亜鉛-5%Al合金めっき鋼板帯 JIS G 3302のめっきの最小付着量（両面）： ・Z12又はF12（120 g/m ² ）以上 JIS G 3317のめっきの最小付着量（両面）： ・Y08以上		② ガラス溝の寸法、形状等 (14.3)	ガラス溝の大きさ： ※標準仕様書表16.14.1による		2 鉄鋼面塗料塗り (8.4)	種別： ・A種 ・B種									
	3 形状及び仕上げ (4.4)	鋼板類の厚さ： ・標準仕様書表16.4.2による ※図示 防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ※適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4		3 工 法 (14.4)	熱線反射ガラスの映像調整： ・行う ・行わない		(9. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）) 1 塗料塗り (9.2)	種別： ・A種 ・B種									
	(5. 鋼製軽量建具) 1 性能及び構造 (5.2)	性能及び構造： ※JIS規格による 簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ※適用しない ・図示 気密性： ・A-3 水密性： ・W-1		4 ガラスの取付 (14.5)	表面形状： ・図示 ・フレン・製地 ・ハミ 寸法、厚み： ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 壁用金属枠： ・図示 ・7Mn2Al製 ・スチール製 ・ステンレス製 補強材： ・図示 化粧目地の色： ・白 ・グレー ・黒 シリリグ材： ・ガラスパイプ系 ・樹脂系 ・シリコン系 金属製化粧カバー： ・図示 風圧力に対応した工法： 目地幅： ・標準仕様書による 伸縮調整目地の位置： ・標準仕様書による 伸縮調整目地の仕上： ・標準仕様書による		(10. 合成樹脂エマルジョン模倣塗料塗り（EPT）) 1 塗料塗り (10.2)	コンクリート面： ・A種 ・B種 モルタル面： ・A種 ・B種 プラスター面： ・A種 ・B種 せっこうボード面： ・A種 ・B種 その他ボード面： ・A種 ・B種									
	2 材 料 (5.3)	鋼板の種類： ・ビニル被覆鋼板 ・ガル鋼板 ・ステン鋼板 ※図示 合わせ板、縦小口包み板等の適用： ※適用 ・適用しない ・図示 材質： ※鋼板 ・ステン鋼板 ・7Mn2Al押出型材		2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による		(11. ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）) 1 塗料塗り (11.2)	種別： ・A種 ・B種									
	3 形状及び仕上げ (5.4)	鋼板類の厚さ： ※図示 ・0.6mm ・1.5mm（ステン鋼板） ・1.6mm ・2.3mm ・標準仕様書表16.5.1による		3 取付け (2.5)	ファスナー金物の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による カーテンウォール部材の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による		(12. ラッカーエナメル塗り（LE）) 1 塗料塗り (12.2)	種別： ・A種 ・B種									
	(6. ステンレス製建具) 1 材 料 (6.3)	性能及び構造： ・JIS規格による ステンレス鋼板の材質： ・SUS304、430J1L、430、443J1 ・SUS304 ・SUS430 表面仕上げ： ※HL ・鏡面 ・PF（ ）		2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による		(14. 木材保護塗料塗り（WP）) 1 塗料塗り (14.2)	種別： ・A種 ・B種									
	2 工 法 (6.5)	曲げ加工： ・普通曲げ ・角出し曲げ		3 取付け (2.5)	ファスナー金物の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による カーテンウォール部材の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による		20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(8. 壁紙張り) 1 材 料 (8.2)	防火性能の指定： ・下表による ・図示 品 質 検定区分 施工箇所 ・ファイナ系 ・1級 ・2級 ・織物系 ・1級 ・3級 ・4級 ・アラステル系 ・1級 ・2級								
	(7. 木製建具) 1 材 料 (7.2)	建具材の加工、組立て時の含水率の種類： ・A種 ※B種 ・C種 ・フラッシュ戸の心材の中間、上下横及び中横には空気穴を適正に設ける。 合板類の適用： ・適用 ・適用しない ※図示 種類： ・ラワン合板 ・桤合板 ※図示 かまち戸の樹種： ・松 ・杉 ・ナラ ・ラワン 鏡板の樹種： ・杉 ・松 ・ナラ ・ナラ ・ラワン ふすまの上張りの種類： ・本鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙 代用樹種等を用いない箇所： ・		3 取付け (2.5)	ファスナー金物の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による カーテンウォール部材の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による			(9. 断熱・防露) 1 断熱材打込工法 (9.2)	断熱材打込工法（9.2） 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値（1.0x10 ¹⁰ Ω） 厚さ： ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・図示 ・視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・発泡樹脂タイル ・コンクリート 厚み： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・耐動荷重性床シート張り： 種類（ ）厚さ（ ） ・ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・ビニル幅木の高さ： ※60mm ・100mm								
	2 形状及び仕上げ (7.3)	フラッシュ戸の表面板の厚さ： ・標準仕様書表16.7.5による ※図示 かまち戸の見込寸法： ・図示 ふすまの見込寸法： ・図示 戸がすまの見込寸法： ・図示 紙貼障子の見込寸法： ・図示		2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による			2 現場吹付発砲断熱材 (9.3)	断熱材打込工法（9.2） 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値（1.0x10 ¹⁰ Ω） 厚さ： ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・図示 ・視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・発泡樹脂タイル ・コンクリート 厚み： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・耐動荷重性床シート張り： 種類（ ）厚さ（ ） ・ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・ビニル幅木の高さ： ※60mm ・100mm								
	3 工 法 (7.4)	ふすまの工法： ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ふすまの線の仕上げ： ・図示 ・本漆塗り ・カヌー塗り ・ウレタン塗装 ・素木		3 取付け (2.5)	ファスナー金物の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による カーテンウォール部材の取付位置、寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による			20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50							
	(8. 建具用金物) 1 適用範囲 (8.1)	適用範囲： ・建具製作所仕様以外の金物（		2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による				20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50						
	② 材質、形状、及び寸法 (8.2)	金物の種類、材質： ※標準仕様書表16.8.1による 軸吊りヒンジ： ・自閉装置付き ・自閉装置なし ドアクローザーのディレーダクション（遅延閉）機能の適用： ①適用 ※適用しない 戸当り： ・あり止め（7カ）付き ※あり止め（7カ）付きなし 樹製建具材の寸法： ・標準仕様書表16.8.3による		3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示					20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50					
③ 鍵 (8.4)	マスターキー： ・製作する ①製作しない ・マスターの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ・1 系統 指定建物錠の防犯性能の適用： ・する ※しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口に用いるシリリグ錠・シリリグ錠・シリリグ錠が該当 耐ピッキング性能 ・5分未満 ・5分以上 ・10分以上 耐鍵穴壊し性能 ・5分未満 ・5分以上 ・10分以上 耐サムターン回し性能 ・なし（5分未満） ・あり（5分以上） 耐カミ送り解錠性能 ・なし（5分未満） ・あり（5分以上） 耐こじ破り性能 ・なし（5分未満） ・あり（5分以上） 出荷時の子鍵本数： ※3本 ・本 鍵箱の適用： ※必要（鋼製） ・不必要	4 取付け (3.5)	取付け位置の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50											
(9. 自動ドア開閉装置) 1 性 能 (9.2)	スライディングドアの開閉性能： ・※標準仕様書表16.9.1による ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ・DSDL-2 スイングドアの開閉性能： ・※標準仕様書表16.9.2による ・SWD-1 ・SWD-2	5 ガラス取付け (3.6)	構造ガasketの取付： ・図示 ・標準仕様書による		20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)					施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50						
2 機 構 (9.3)	戸の開閉方法： ・ センサーの種類： ・タッチスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ ・押ボタンスイッチ ・ペダスイッチ ・多機能使用スイッチ 凍結防止装置： ・有 ・無	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による			20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事					(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50					
(10. 自閉式上吊り戸装置) 1 性能等 (10.3)	性能： ※標準仕様書表16.10.1による	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示								20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50				
(11. 重量シャッター) 1 形式及び機構 (11.2)	シャッターの種類： ・図示 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・防護シャッター ・屋内用防火シャッター 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・1,400Pa 開閉機能： ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターケース： ・図示 ※設ける ・設けない 危害防止機構： ※障害物感知装置（自動閉鎖型）	4 取付け (3.5)	取付け位置の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による									20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50			
2 材 料 (11.3)	スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステン鋼板 溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z12（F12）	5 ガラス取付け (3.6)	構造ガasketの取付： ・図示 ・標準仕様書による										20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50		
(12. 軽量シャッター) ① 形式及び機構 (12.2)	〈パイプシャッター〉 開閉形式： ・手動式 ・上部電動式（手動併用） 〈開閉形式〉： ・手動式 ①上部電動式（手動併用） 耐風圧性能： ・50 ②80 ・120 スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステン鋼板 ・塗装溶融亜鉛-5%Al合金めっき鋼板 ③7Mn2Al押出型材 溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z06（F06） ・AZ90 〈パイプの材質〉： ・ステンレス ・スチール 〈パイプ径〉： ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm 〈パイプ間隔〉： ・図示 ・70mm 〈格子間隔〉： ・図示 ・500mm	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による											20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示				20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事								(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による												20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)	施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示													20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による					20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事									(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示						20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事								(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による							20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事							(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事													(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による		20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事												(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示			20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事											(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による								20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事						(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示									20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事					(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による										20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事				(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示											20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事			(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
(13. オーバーヘッドドア) 1 形式及び機構 (13.2)	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチールパイプ ・パイプ式 ・スチールパイプ ・鋼製 ・7Mn2Al・3.2x1.450x450x50 ・帯電防止ビニル床タイル・450x450x2.5 ・3.2x1.450x500x50 ・タイタール・500x500x6.5 ・樹脂製：500x500x50	2 形状及び仕上げ (2.3)	製品の寸法許容差： ・図示 ・標準仕様書による 製品の見え掛り部分の仕上げ： ・図示 ガラス溝の寸法、形状： ・図示 ・標準仕様書による				20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事										(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)
② 形状及び仕上げ (12.4)	スラットの形状： ④リブ・ロッキング形 ・オーバーラッピング形	3 製作 (3.4)	鉄筋の配筋： ・図示												20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事		(2. ユニット工事等) 1 フライヤー工法 (2.2)

項目		特記事項			項目	特記事項			項目	特記事項			項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ユニ ット 及 び そ の 他 工 事	7 表示 (2.10)	種類 ・衝突防止表示 ・室名札 ・「ビタリ」 ・案内板 ・階数表示板 ・非常用出入口 ・館名サイン	形状・寸法 ・図示 ・≒80×200 ・≒200×200 ※図示 ・図示 ・≒250×250 ・図示 ・図示	材質 ・ステンレス ・アクリル板/アルミスクリン ※アクリル板/オレフィンシート ・アクリル板/アルミスクリン ※アクリル板/オレフィンシート ・オレフィンシート ・ステンレス (HL仕上げ)	21 排水工事 (2.1)	材質： ・遠心力鉄筋コンクリート管 ○硬質ポリ塩化ビニル管【○VP ・VU】 ・ポリ塩化硬質ポリ塩化ビニル管 (RS-VU) ・排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 (DV) ・屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手 (VU継手) 管径： ○図示	(6. カラー舗装) 1 舗装の構成及び仕上り (6.2)	◎車道部 舗装の構成及び厚さ： ・加熱系【 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物】・図示 舗装の基層の適用： ・適用しない ・適用する 舗装厚さの許容差： ・図示 ・標準仕様書表22.4.1による ◎歩道部 舗装の構成及び厚さ： ・加熱系【 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物】・図示 ・常温系【 ・樹脂系混合物 ・シート工法 ・塗布工法】 舗装厚さの許容差： ・図示 ・標準仕様書表22.4.1による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	8 煙突ライニング (2.11)	ライニング材： ・ポリプロピレン系珪酸アルミ板 ・心材付繊維強化ライニング材 適用安全使用温度： ・			2 側溝、排水溝等 (2.2)	側溝（形状・寸法）： ・図示 排水溝（形状・寸法）： ・図示 ・現場打ち角型：600×600 ・コンクリート既製溝 360×360	2 材料 (6.3)	添加骨材： ・着色骨材； ・自然石；																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	9 ブラインド (2.12)	形式 ブラインドの材質 開閉方式、操作方式 ブラインド成形幅 (mm)	※横型ブラインド ※アルミニウム合金 ※バネ式 ・コード式 ※2本操作コード方式 ※25	・縦型ブラインド ・アルミブラインド ・ウレタン ・ウレタン	⑤ その他の材料 (2.3)	地業の材料： ○砂利地業【○再生グラッサラン ・切込砕石 ・切込砂利】 地業の材料： ・砂地業【 ・山砂 ・川砂 ・砕砂】 埋戻し材料： ・A種 ○B種 ・C種 ・D種	3 配合その他 (6.4)	石油樹脂系顔料の添加量： ・製造メーカー仕様による ・図示 樹脂系混合物の配合： ・製造メーカー仕様による ・図示 シート工法の配合： ・製造メーカー仕様による ・図示 塗布工法の配合： ・製造メーカー仕様による ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	10 ロールスクリーン (2.13)	操作方法： ・フルオート式 ・チェーン式 巾・高さ： ・図示 材質・品質等： ・図示			(3. 施工) 1 適用範囲 (3.1)	盛土地盤等の施工法： ・図示 継手の工法： ・図示	7 透水性アスファルト舗装 1 舗装の構成及び仕上り (7.2)	舗装の厚さ： ・車道部【 ・50mm ・ 】 ・歩道部【 ・30mm ・ 】 舗装の平坦性： ・図示 ・標準仕様書表22.4.1による	2 材料 (7.3)	アスファルトの種類（車道部）： ・図示 ・ポリマー改質アスファルトⅠ型 ・ポリマー改質アスファルトⅡ型 アスファルトの種類（歩道部）： ・図示 ・ストリートアスファルト																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	11 カーテン及びカーテンレール (2.14)	カーテンレール： ・図示 ・シングル ・ダブル きれ地の品質 ・フタスひだ ・フタスひだ 暗幕用カーテンの重なり： ・300mm以上 レール、ブラケット強さ区分 ・10-90 ・10-60	ひだの種類 ・つまみひだ ・つまみひだ レール材料区分 ・AS ・AP ・SUS ・S	形式 ・片引 ・引分 ・片引 ・引分	引分装置 ・有 ・無 ・有 ・無	施工箇所 ・角形	(8. 排水性アスファルト舗装) 1 舗装の構成及び仕上り (8.2)	舗装の構成及び厚さ： ・下表による ・図示 部 位 舗装の種類 厚さ 備 考 表 層 ・排水性舗装用アスファルト混合物 ・40 ・50 基 層 ・加熱アスファルト混合物 ・40 ・50 ・加熱密粒度アスファルト混合物 ・40 ・50	2 材料 (8.3)	アスファルトの種類： ・図示 ※ポリマー改質アスファルトⅡ型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	(3. プレキャストコン 1 材料 (8.2)	補強鉄筋の寸法： ・図示 ・φ3.2×100×100 ・φ3.2×50×50			(4. 街きよ、緑石及び側溝) 1 材料 (4.2)	緑石の形状・寸法： ・図示 L形側溝の形状・寸法： ・図示 U形側溝の形状・寸法： ・図示 U形側溝の蓋の形状・寸法： ・図示	(9. ブロック系舗装) 1 舗装の構成及び仕上り (9.2)	コンクリート平板舗装の目地材： ・砂 ・モルタル 舗石舗装の基層： ・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装 舗装仕上り面の平坦性： ・図示 ・標準仕様書による	2 材料 (9.3)	コンクリート平板舗装の種類／寸法： ・N300 舗石の種類／寸法： ・2等品 ジオテキスタイルの適用： ・適用しない ・適用する； インターロッキングブロック：厚み ・60 ・80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	2 製作 (8.2)	コンクリートの設計基準強度： ・図示 ※標準仕様書による 鉄筋の配筋： ・図示 ※標準仕様書による			2 施工 (4.3)	地業の材料： ・砂利地業【 ・再生グラッサラン ・切込砕石 ・切込砂利】 砂利地業の厚み： ・100mm ・図示 地業の材料： ・砂地業【 ・山砂 ・川砂 ・砕砂】 砂地業の厚み： ・100mm ・図示	(10. 砂利敷き) 1 材料 (10.3)	種別（道路）： ・A種 ・B種 種別（建物周囲）： ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	3 養生その他 (8.2)	取付方法： ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	(4. 間知石及びコン 1 材料 (8.2)	リート間知ブロック積み） 間知石の材質： ・竜岩石 ・御影石 コンクリート間知ブロック面の形状： ・長方形 ・正方形 ・H型 ・六角形 JISによる質量区分： ※プロダクトA ・プロダクトB			22 舗装工事 (2.2)	遮断層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 凍上抑制層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 路床安定処理の適用： ・適用しない ・適用する 方法： ・添加材による処理 ・図示	23 植栽及び緑化工事 (2. 植栽基盤) 1 植栽基盤一般 (2.2)	有効土層として整備する面積／厚さ： ・図示 ・標準仕様書表23.2.1による 基盤浸透水排水施設の設置： ・設置する ・設置しない 排水施設： ・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 植栽基盤整備工法（樹木）： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基盤整備工法（芝、地被類）： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用： ・適用する ・適用しない	2 材料 (2.3)	補込み用土： ・現場発生の良質土 ・客土 土壌改良材： ・バーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・適用しない ・適用する；	(3. 植樹) 1 材料 (3.2)	樹木の樹種／寸法／株立ち数等： ・図示 支柱材： ※丸太【 ・杉 ・松 ・ 】 ・竹 支柱材の防腐処理方法： ・加圧式防腐処理 ・焼き丸太処理 幹巻き用材料： ・幹巻き用テープ ・わら及びこも	2 新植の工法 (3.3)	支柱の工法： ・図示 ・添え柱形 ・鳥居形 ・八掛形	3 新植樹木の柱補償 (3.4)	補償期間： ・引渡しの日から1年	4 移植樹木の枯損措置 (3.6)	補償期間： ・引渡しの日から1年	(4. 芝張り、吹付けは種及び地被類) 1 材料 (4.2)	芝の種類： ・コライシンガ ・ノバ 吹付けは種子の種類／量： ・標準仕様書による ・洋芝類（ g/m2） 地被類の樹種／芽立数／コンテナ径／コンテナ数： ・図示	2 芝張りの工法 (4.3)	芝張りの工法（平地）： ・目地張り ・べた張り 芝張りの工法（法面）： ・目地張り ・べた張り	(5. 屋上緑化) 1 植栽基盤 (5.2)	◎屋上緑化システム 土壌層の厚さ： ・	2 材料 (5.3)	◎屋上緑化システム 排水層： ・軽量骨材 ・板状成型品 土壌層： ・人工軽量土 ・改良土 ◎屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種／寸法／株立ち数等： ・図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ・図示	3 工法 (5.4)	建設省告示第1458号に対応した工法： ・ 支柱の設置／形式等： ・設置しない ・設置する； 灌水装置の設置／種類： ・設置しない ・設置する；																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

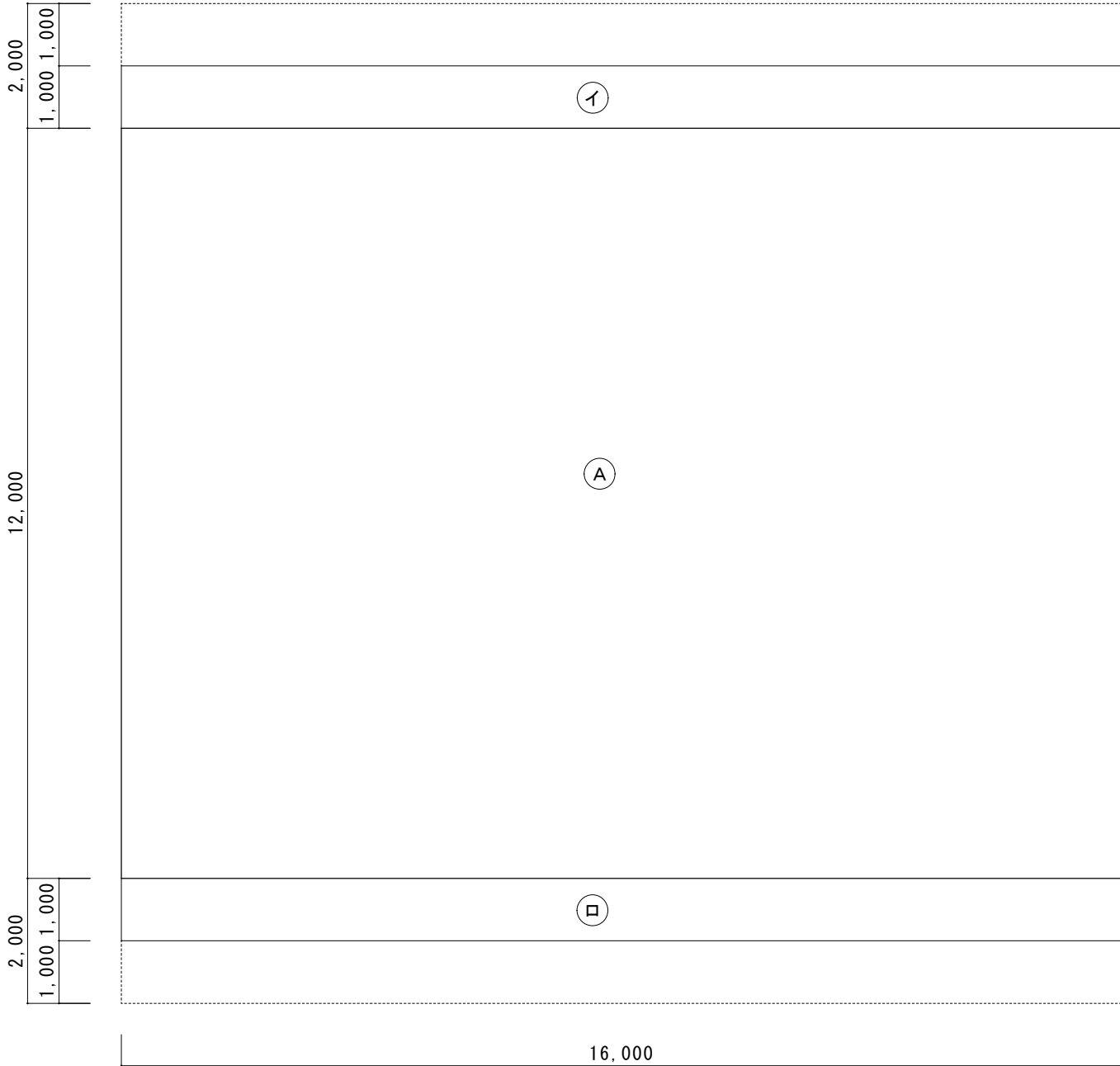
設 計 概 要		外 部 仕 上 表		
・ 工事名称	香良洲エコ・ステーションストックヤード新築工事	屋 根	折板 カラーガルバリウム鋼板t=0.8 山高=180程度	
・ 建築場所	三重県津市香良洲町3958-9	外 壁	ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4 上下端ケミカル面戸 端部見切	
・ 構 造	鉄骨造 平家建	水 切	ガルバリウム鋼板カラー t=0.4加工	
・ 敷地面積	1,144.22㎡	軒 天	屋根材表し	
・ 延べ面積	192.00㎡	巾 木	コンクリート打放し補修	
・ 建築面積	224.00㎡	堅 樋	硬質塩ビ管（カラー）φ100 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）	
		軒 樋	硬質塩化ビニル（カラー）角型（前高型） W150 受け金物：ステンレス	
・ 工事範囲	・ 建築工事 ： 一式	鉄 部	DP塗り	
	・ 電気設備工事 ： 一式			
	・ 機械設備工事 ： 一式			

内 部 仕 上 表								
階	室 名	C H	床	巾 木	腰壁及び壁	天 井	廻 縁	備 考
1階	ストックヤード	勾配	コンクリート金ゴテ押え 伸縮目地	コンクリート打放し補修	外壁表し	天井表し		見え掛り鉄部DP塗装

耐火・準耐火・防火認定番号		凡 例			
屋根	不燃材料（カラーガルバリウム鋼板t=0.8）	DP	耐候性塗料		

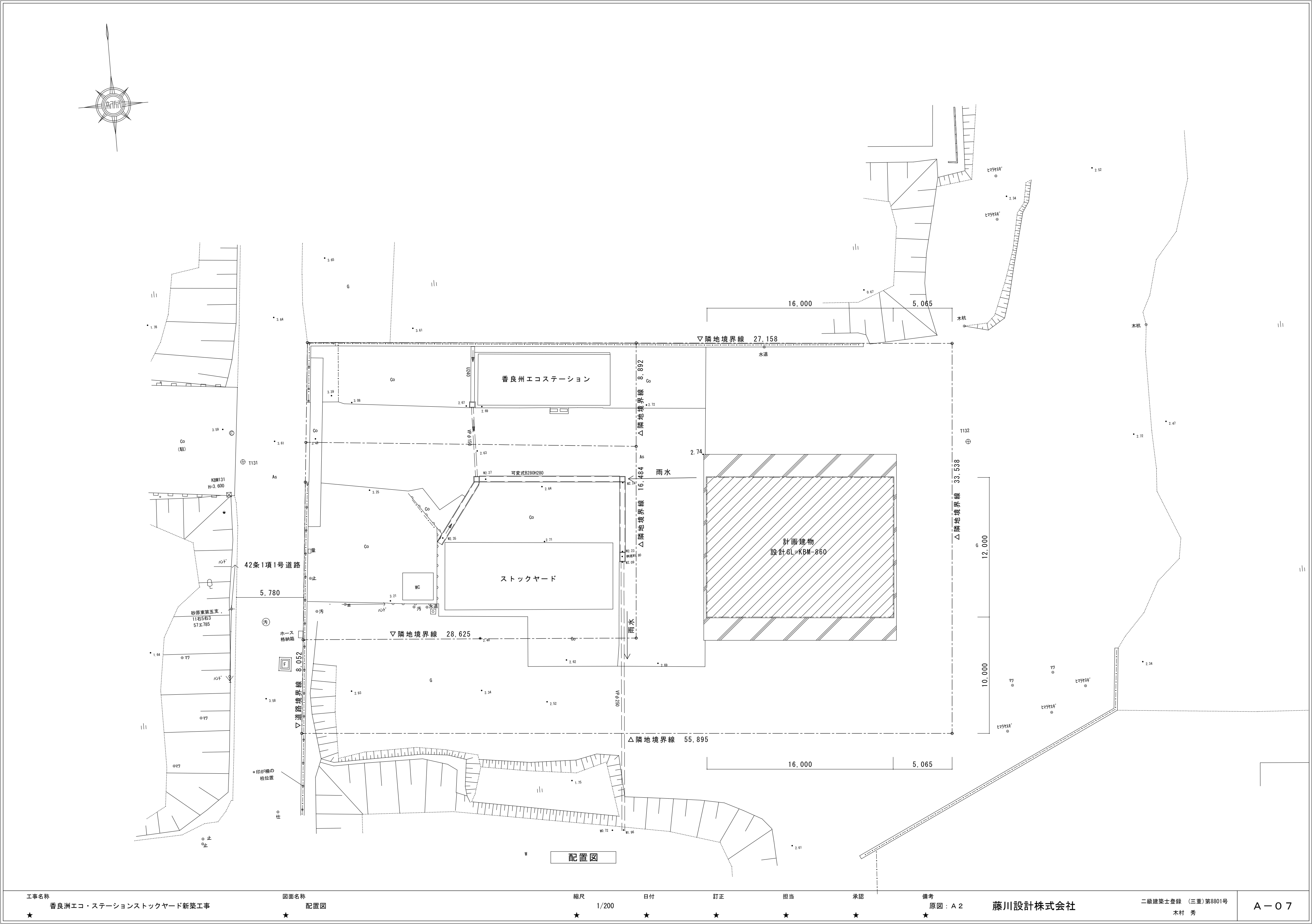


案内図

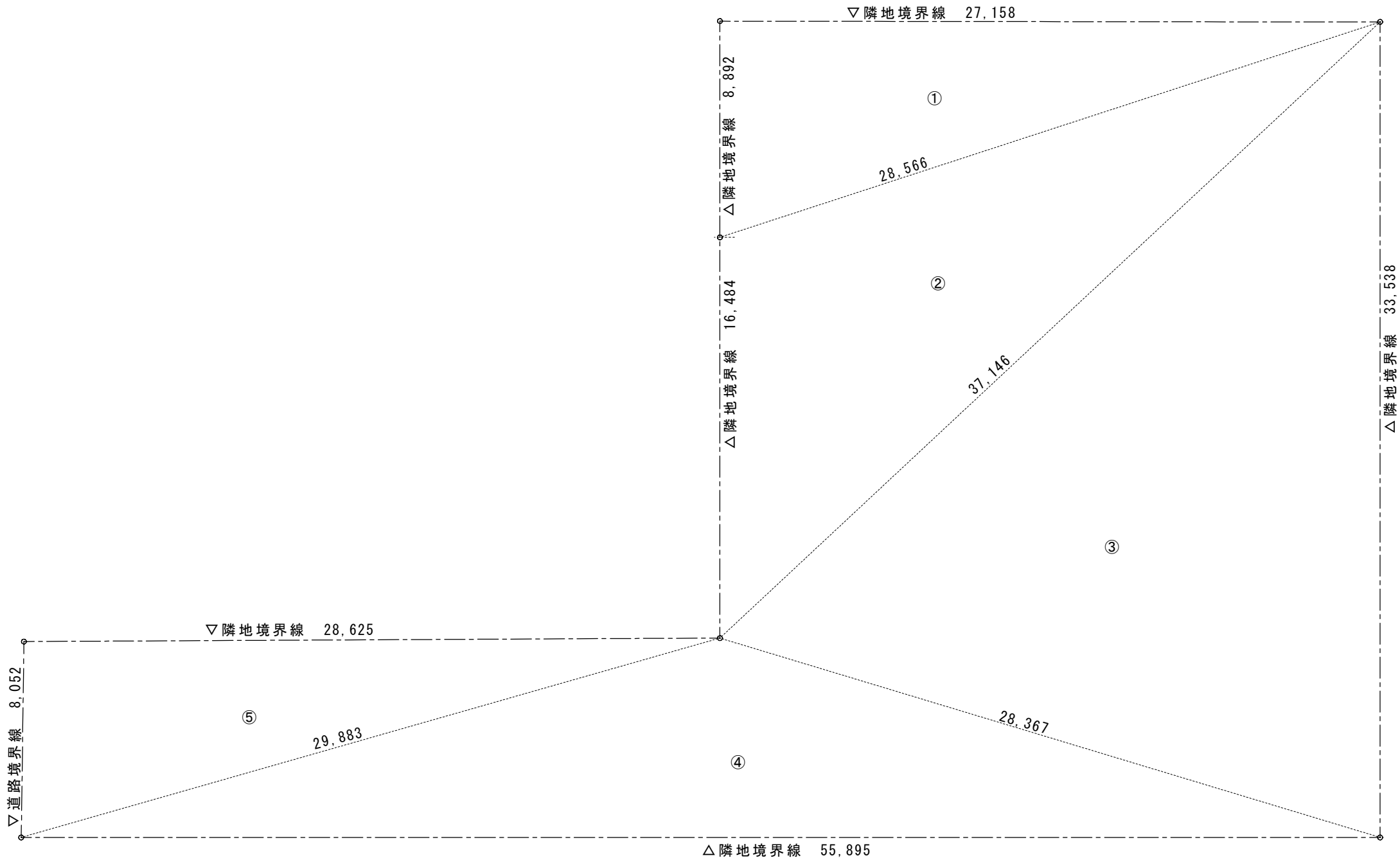


面積表			
A	12.000 × 16.000 =	192.00 ㎡	
延べ面積 = A		192.00 ㎡	
イ	1.000 × 16.000 =	16.00 ㎡	
ロ	1.000 × 16.000 =	16.00 ㎡	
建築面積 = A + イ + ロ		224.00 ㎡	
敷地面積		1144.22 ㎡	
容積率		16.78 %	
建ぺい率		19.58 %	

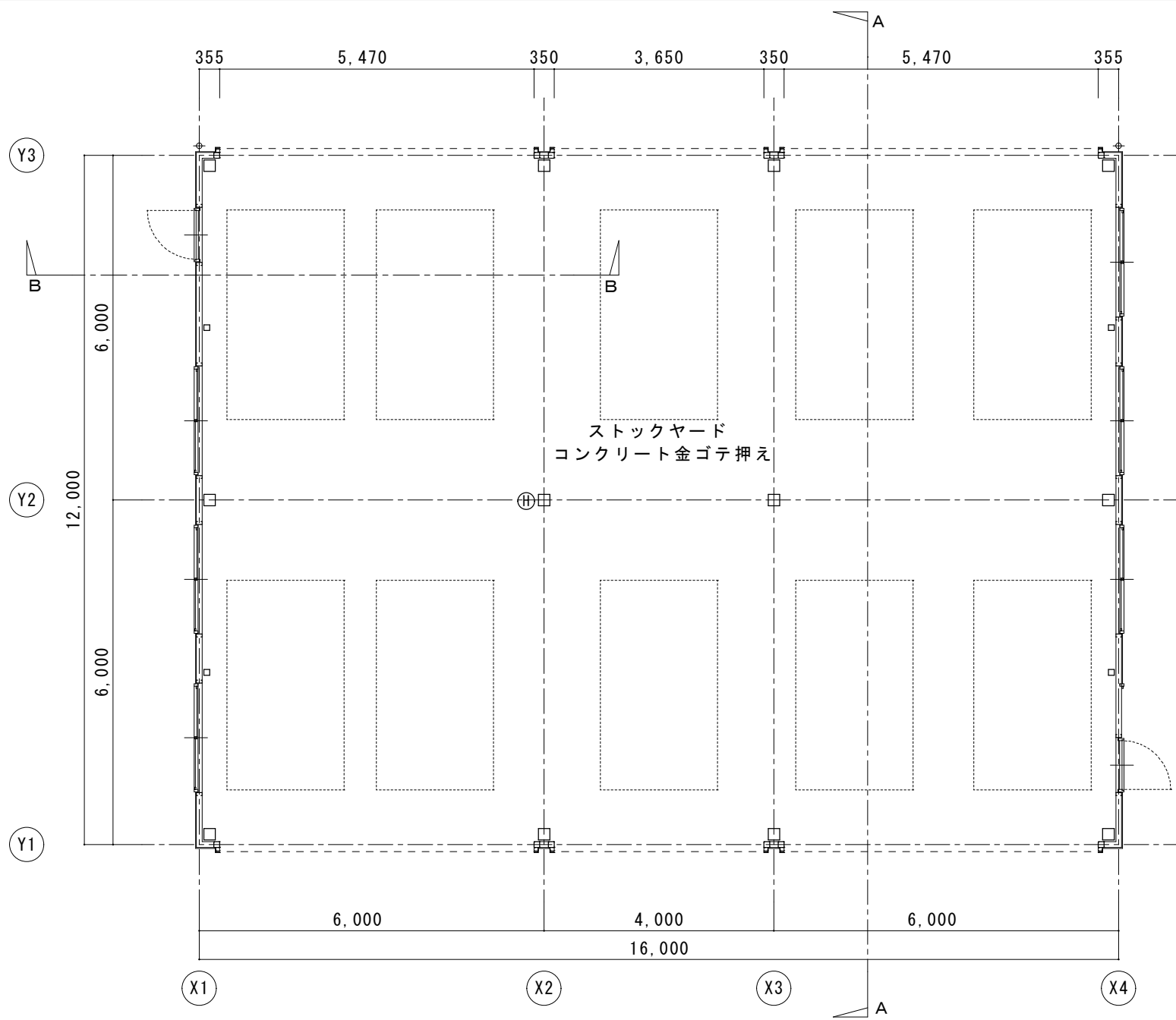
求積図



敷地面積表					
No.	a辺	b辺	c辺	s=(a+b+c)/2	面積
1	27.158	8.892	28.566	32.308	120.744372
2	28.566	16.484	37.146	41.098	223.830932
3	37.146	33.538	28.367	49.526	455.405953
4	28.367	55.895	29.883	57.073	229.021932
5	29.883	8.052	28.625	33.280	115.223400
面 積				1,144.226589	
地 積				1144.22㎡	
坪				346.12坪	



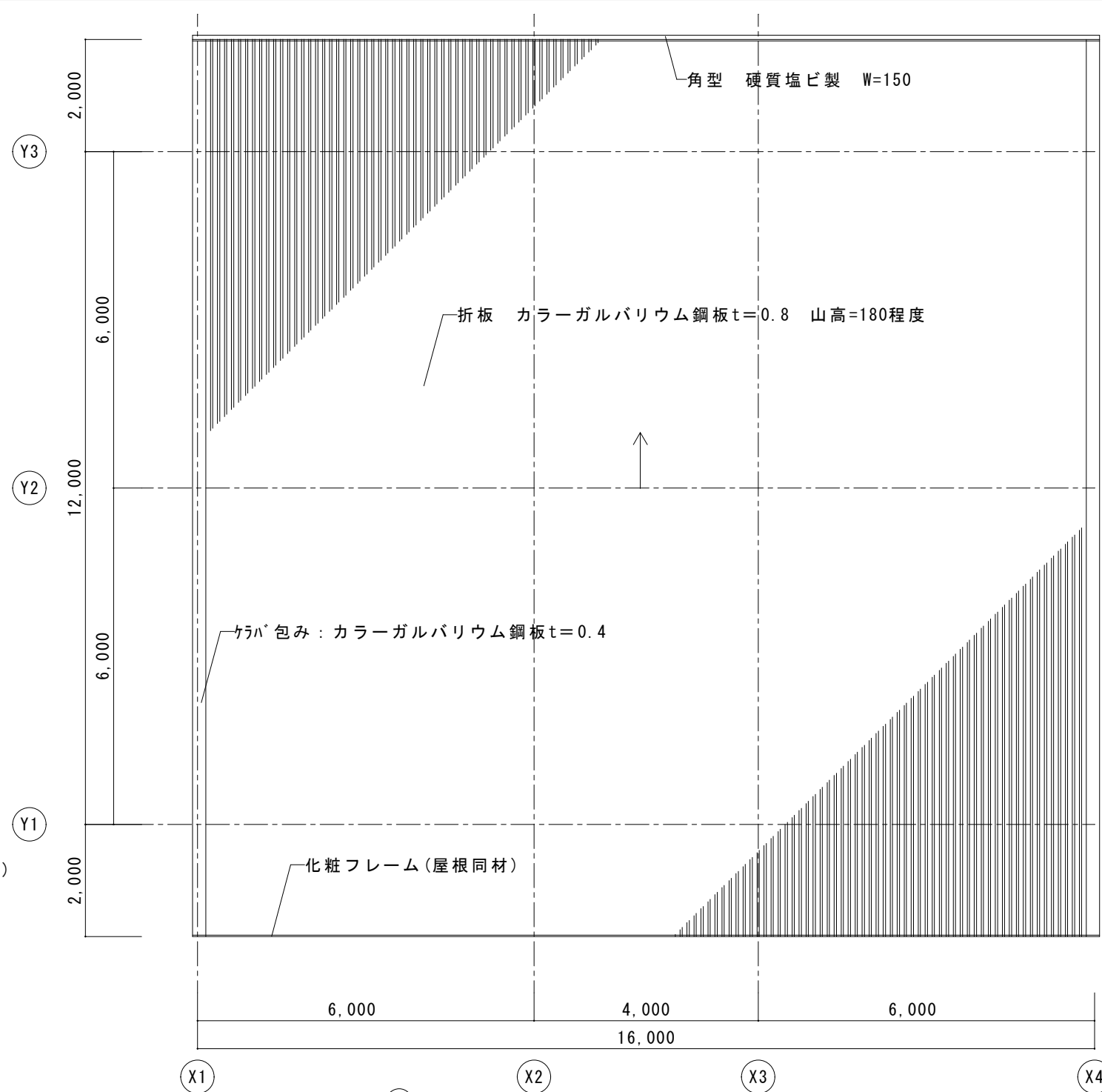
敷地求積図



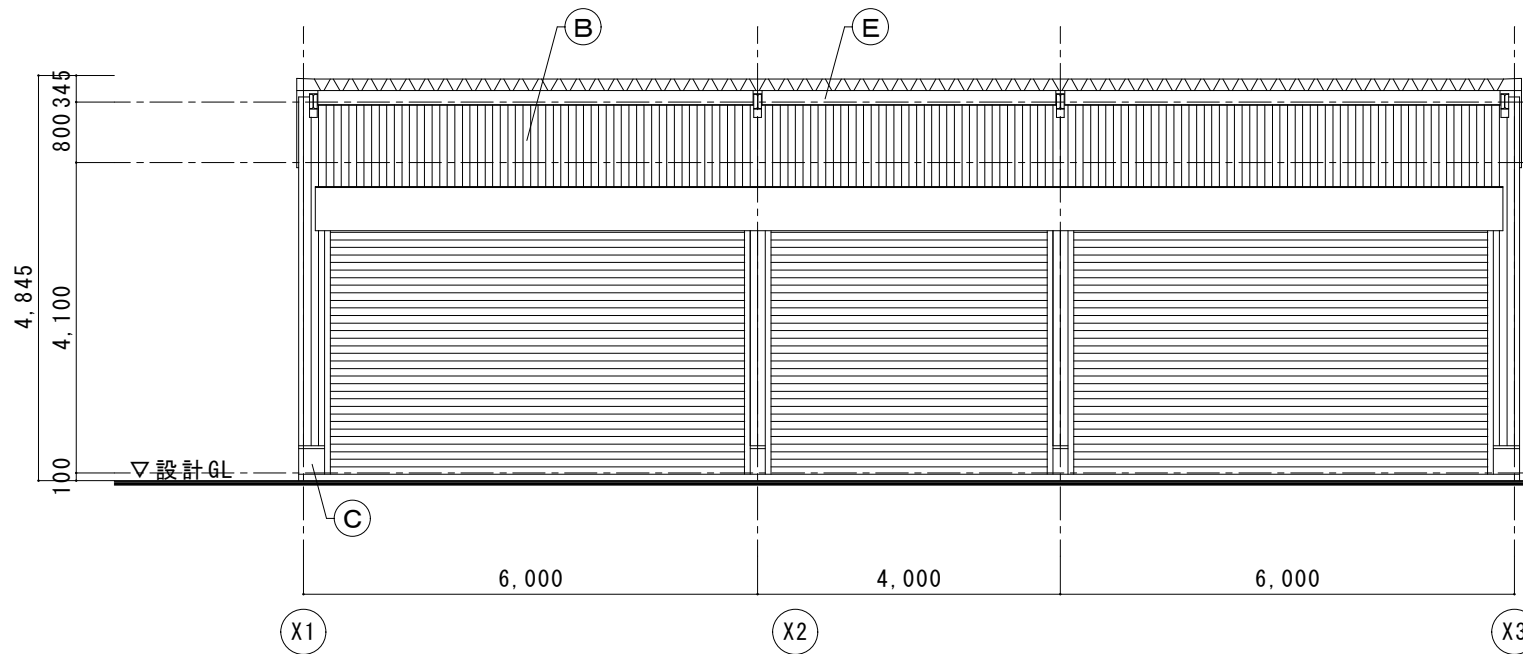
平面図

凡例

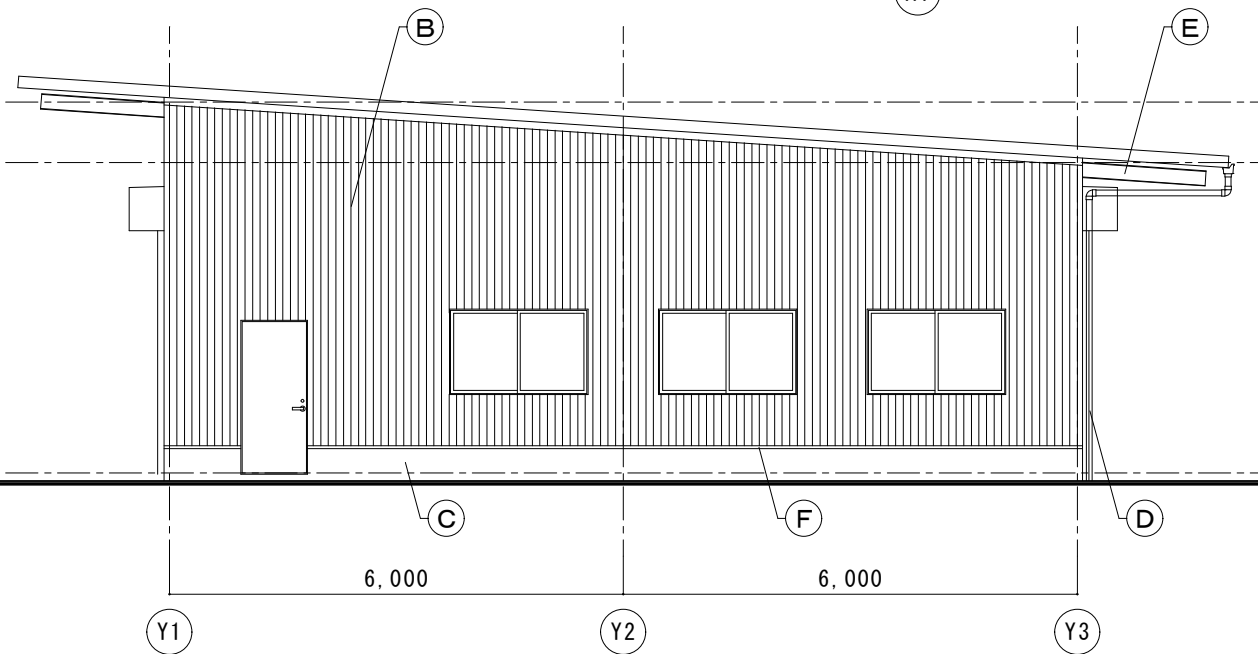
Ⓜ 消火器(ABC10型)を示す。スタンド共(建築物用)



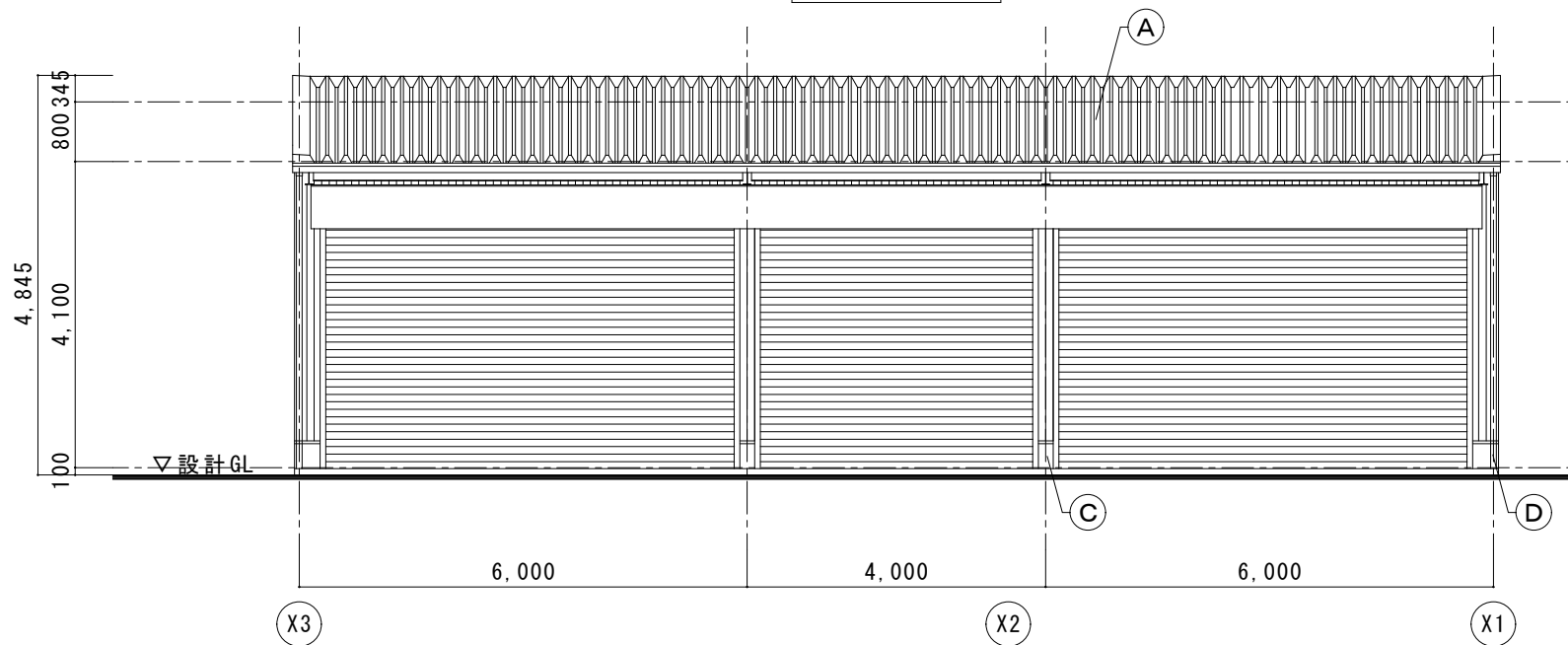
屋根伏図



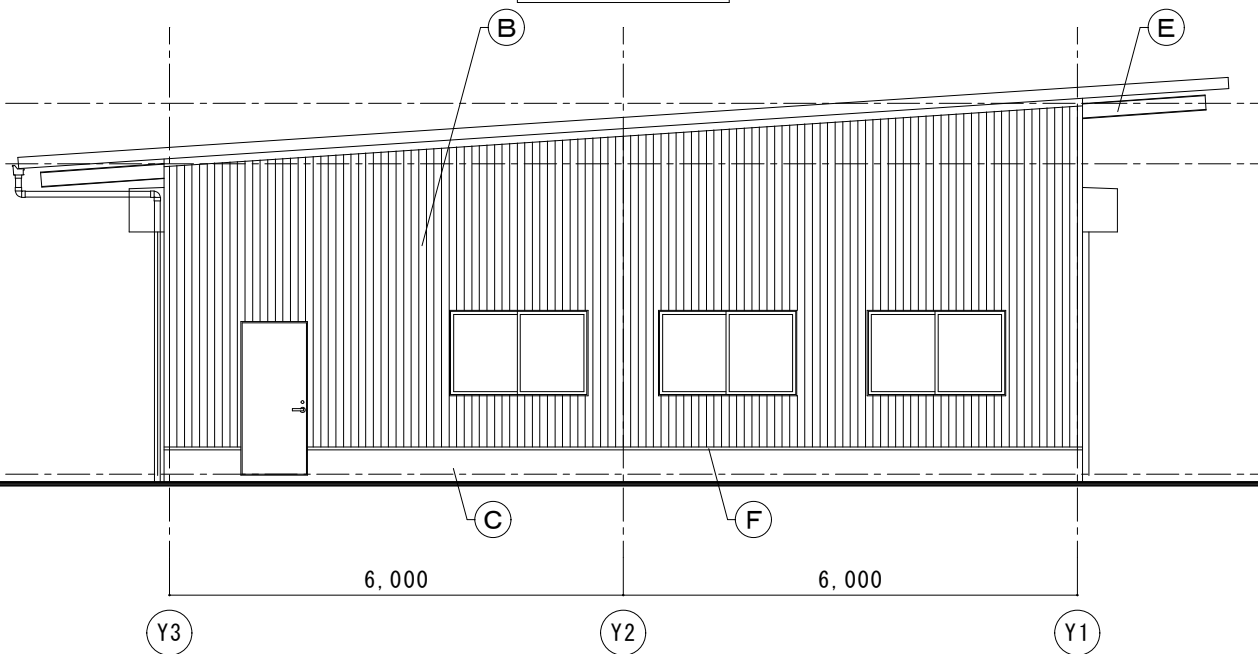
南立面図



東立面図

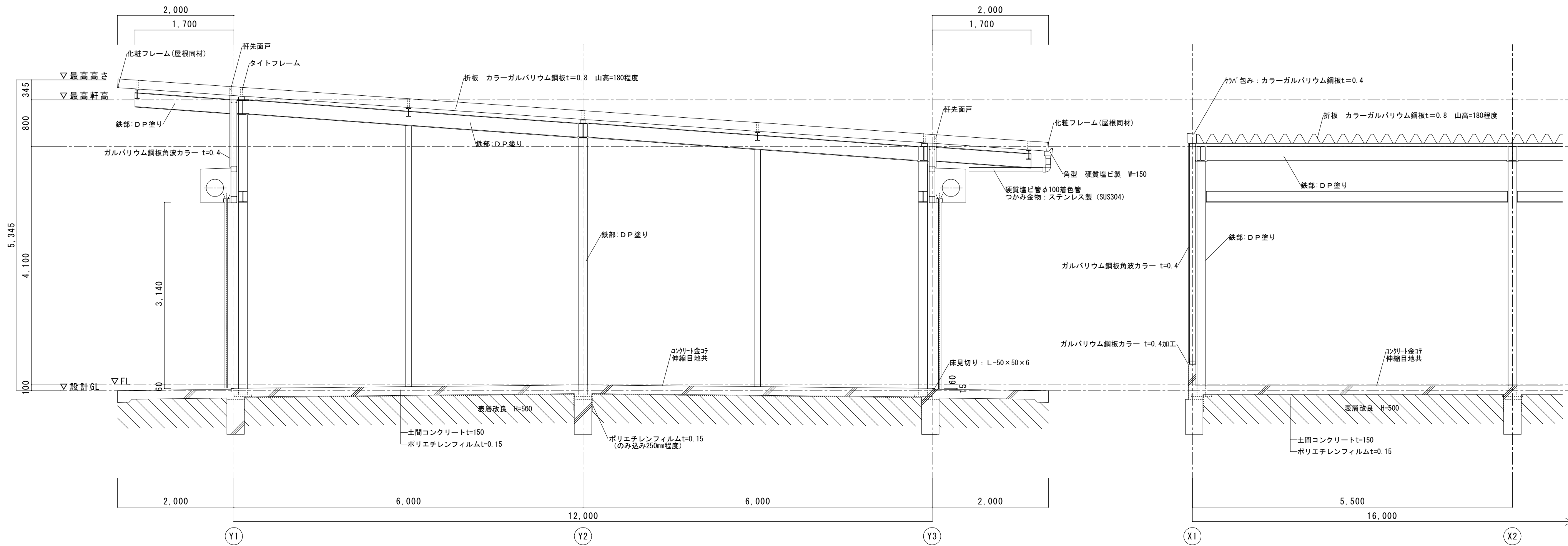


北立面図



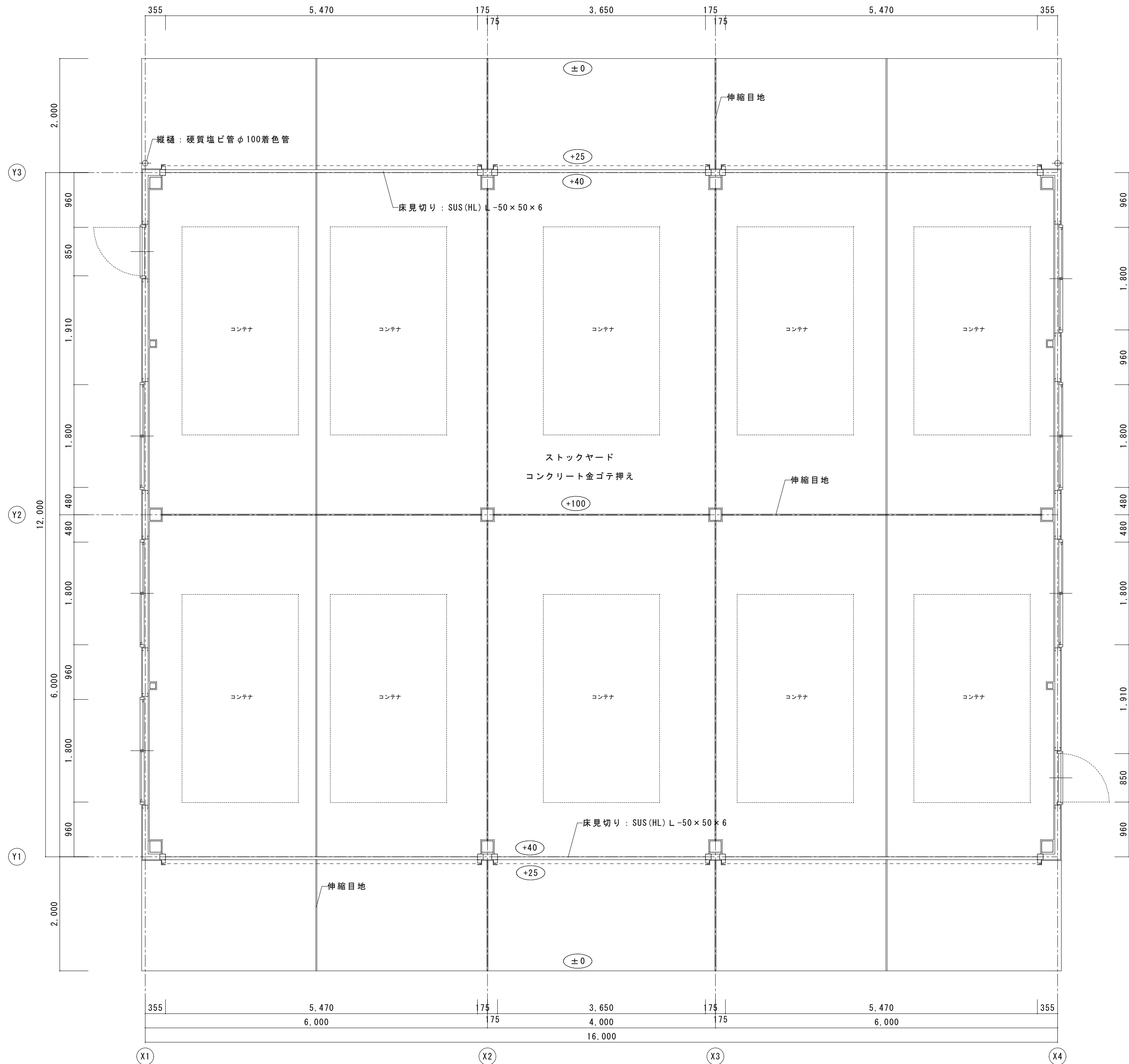
西立面図

仕 上 表	
Ⓐ	屋根：折板 カラーガルバリウム鋼板 t=0.8 山高=180程度
Ⓑ	外壁：ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4
Ⓒ	巾木：コンクリート打放し補修
Ⓓ	縦樋：硬質塩ビ管φ100着色管 つかみ金物：ステンレス製 (SUS304)
Ⓔ	鉄部：D P 塗装
Ⓕ	水切：ガルバリウム鋼板カラー t=0.4加工

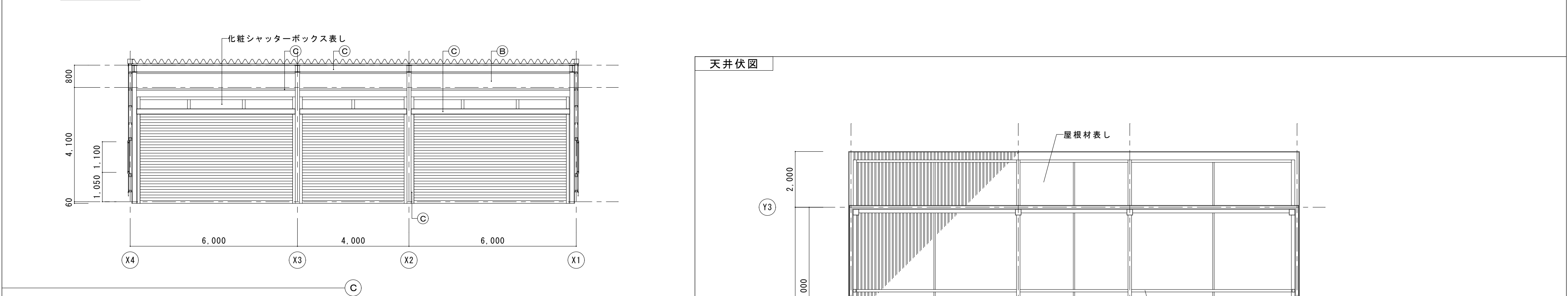
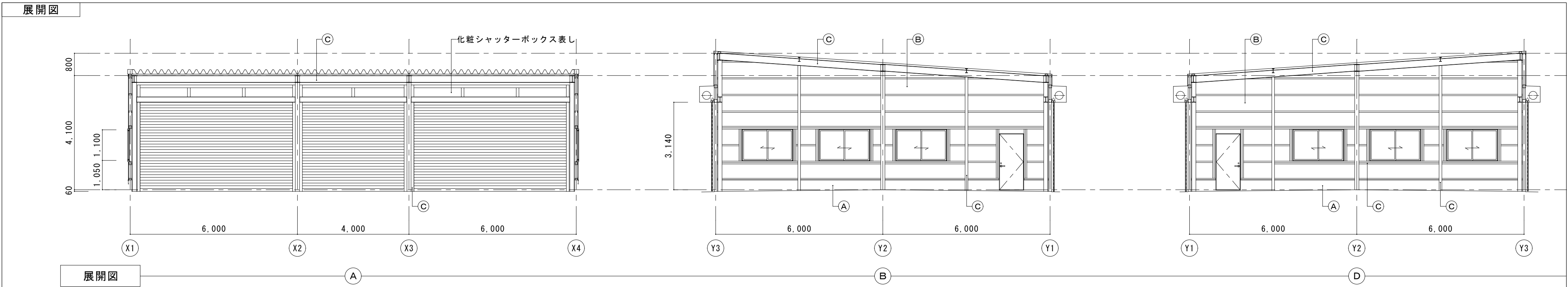


A-A 断面詳細図

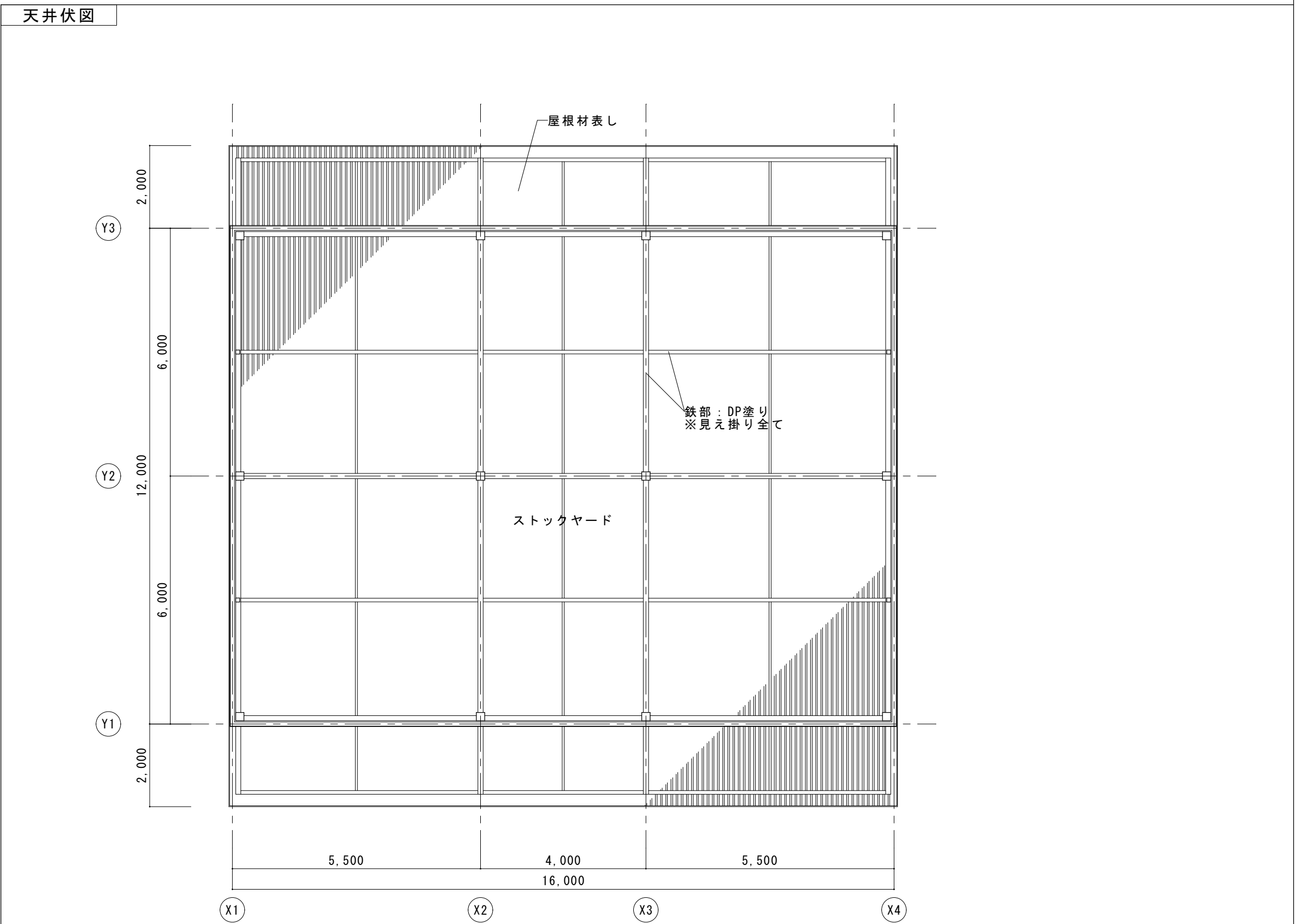
B-B 断面詳細図

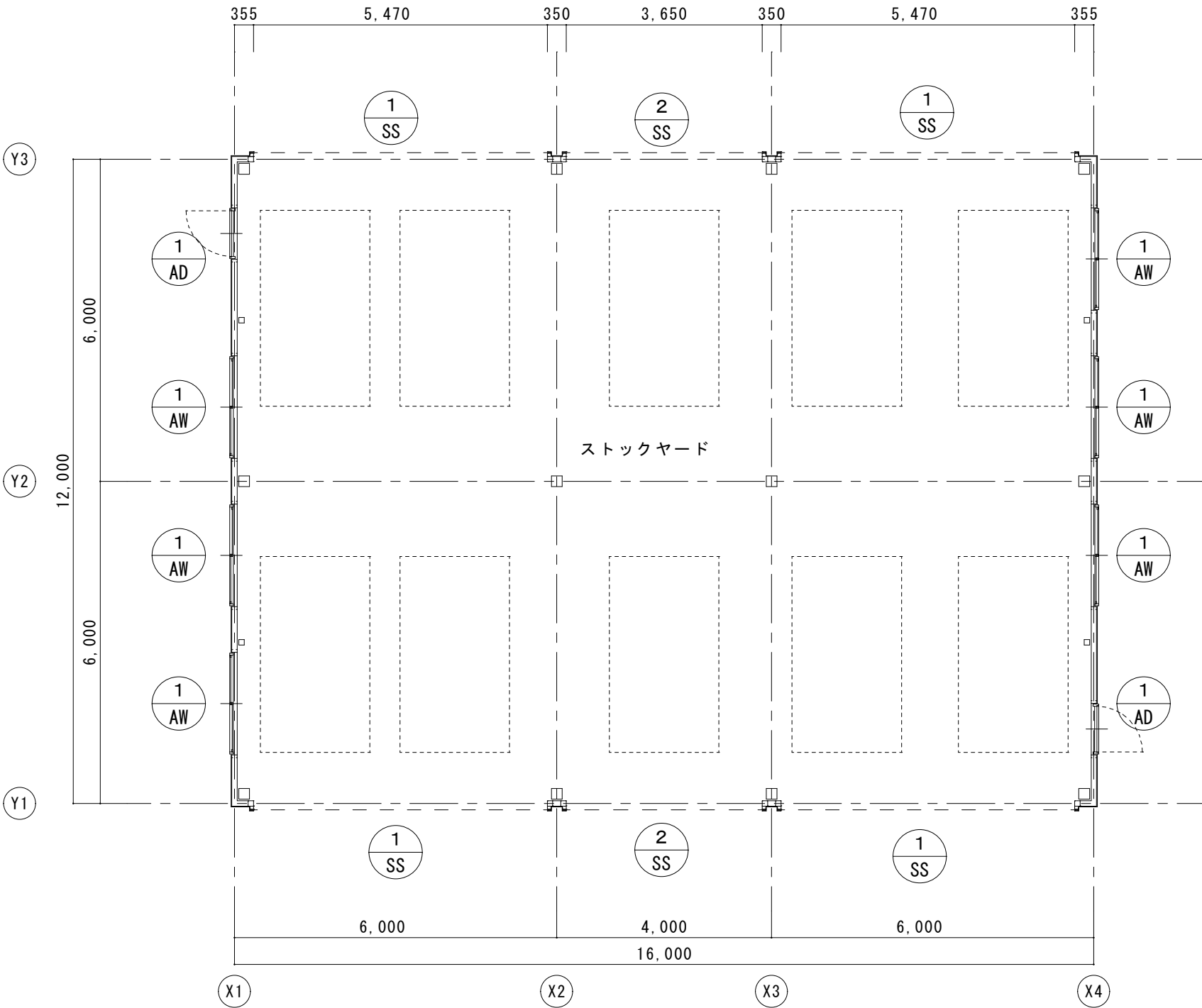


平面詳細図



凡例	
(A)	コンクリート打放し補修
(B)	外壁現し
(C)	鉄部：DP塗り（見え掛り全て）



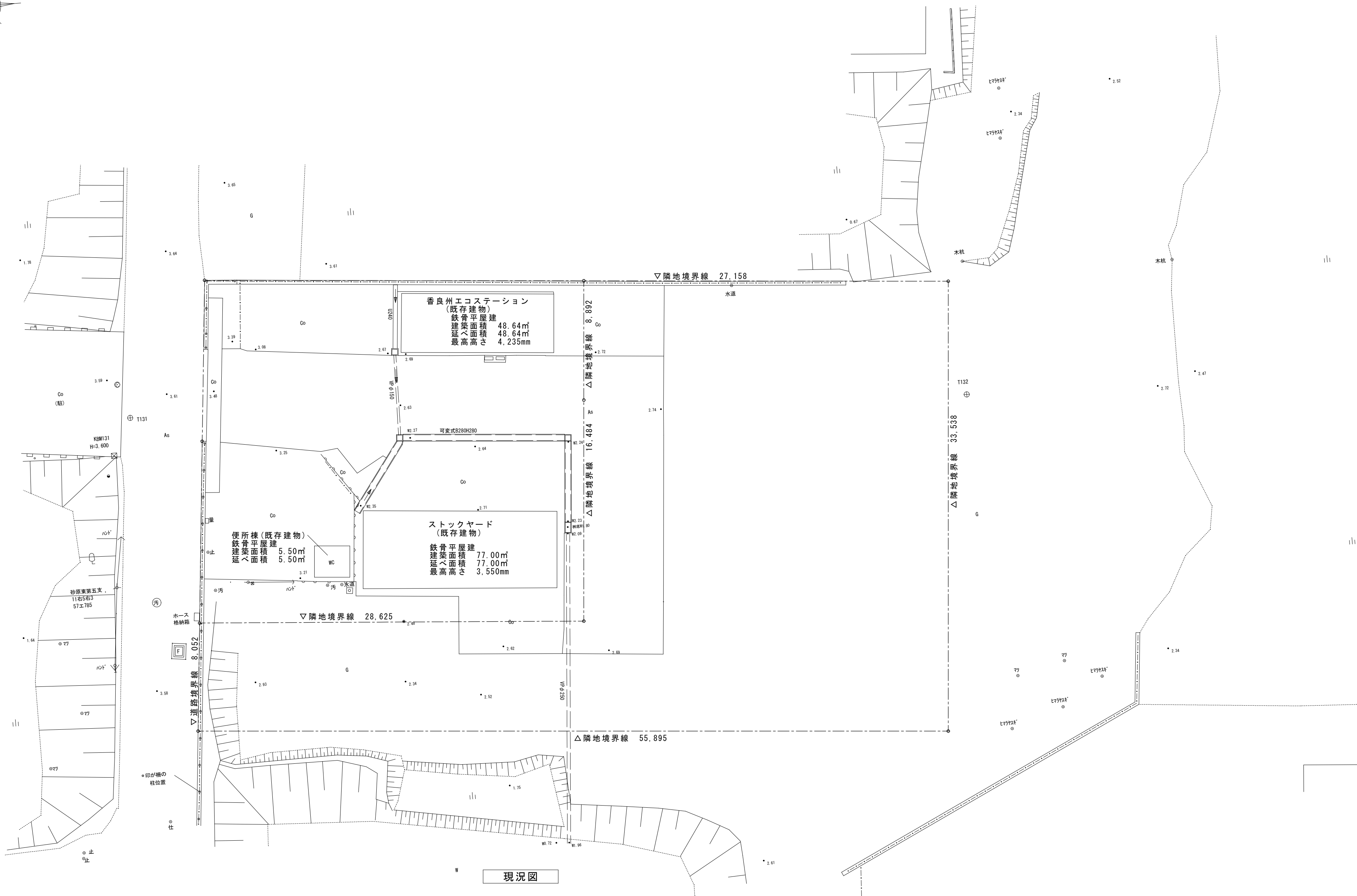


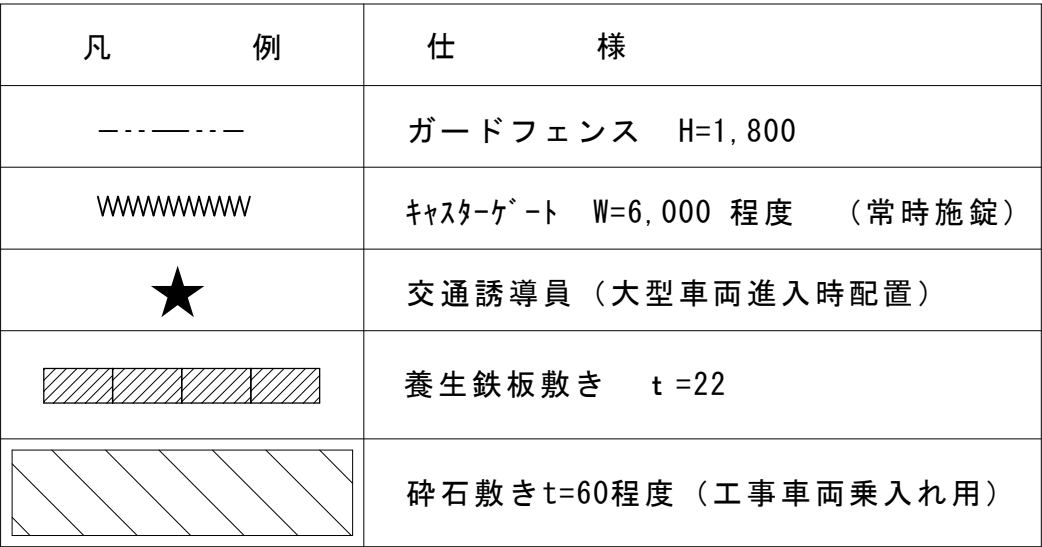
建具符号図

収容人数・・・・・・従業員数2人→2人とする

消防有窓算定				建具は内部から手動開放可能とする				
階	面積	必要面積 (㎡)	符号	計算式				有効面積
1	192.00	6.4	AD1 AW1 合計	2.000 × 1.100 ×	0.850 × 0.830 ×	2 = 6 =	3.4000 5.4780 8.8780	8.87

建具表								
符号・数量	A D－1 スtockヤード	2	A W－1 スtockヤード	6	S S－1 スtockヤード	4	S S－2 スtockヤード	2
姿 図								
種別方式・見込	片開き戸	70	引き違い窓	70	電動シャッター		電動シャッター	
硝 子			型板強化ガラス t=4					
仕 上	アルミカラー		アルミカラー		アルミスラット t=1.2		アルミスラット t=1.2	
金 物	標準金物一式・シリンダー錠(内側サムターン) D C・レバーハンドル		標準金物一式 クレセント		標準金物一式・電動開閉装置一式・押しボタンスイッチ・SUSガイドレール		標準金物一式・電動開閉装置一式・押しボタンスイッチ・SUSガイドレール	
備 考	SUS沓摺							





A - 1 5

 印は適用事項を示す。
 印は採用項目を示す。

1) 工事種別

☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築

(2) 構造種別

☐ 鉄筋コンクリート造 (R C)

☒ 鉄骨造 (S)

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (S R C)

☐ 壁式鉄筋コンクリート造 (W R C)

☐ 木造 (W)

(3) 階数

地下 階 地上 1 階 塔屋 階

(4) 屋上付属物

☐ 広告塔 ☐ 高架水槽 k N ☐ キュービクル k N

☐ 太陽光パネル

(5) 増築計画

☐ 有 ☒ 無

(6) 付帯工事

☐ 擁壁 ☐ 門 . 塙 ☐ 立体駐車場 ☐

(7) 特殊荷重

☐ エレベーター (☐ ロープ式, ☐ 油圧式)

☐ 受水槽 K N ☐ ホイストクレーン (吊荷 ton × 基)

☐ ダムウェーター

(8) 設計ルート

X方向 ルート 1 Y方向 ルート 1

(1) コンクリート		レディーミクストコンクリート		JIS A5308	普通ポルトランドセメント
		セメント		JIS R5210	
		水		JIS A5308	
		骨材		JIS A5005	
		混和剤		JIS A6204	

寒中・暑中コンクリートの実施適用は気象条件及び立地条件、その他を考慮する事。
高性能A E減水剤の使用 ☐ 有 ☒ 無

径	材 質			継 手			備 考
	SD295A	SD345	SD390	圧接	重ね		
D10～D16	○				○		
D19～D25		○		○			

[illegible][illegible]

- ☒ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事 共通仕様書
- ☒ 日本建築学会 各工事技術指針 (鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説)
- ☒ 日本建築センター 各設計施工指針
- ☐
- ☐

(1) 地盤調査資料

☒ 有 (☐ 敷地内 ☐ 近隣)

☒ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☒ 標準貫入試験

☐ 水平地盤反力係数の測定 ☒ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験

☐ 無

(2) 地盤調査計画 (調査資料がある場合の再調査を含む)

☐ 有 (☐ 敷地内 ☐ 近隣)

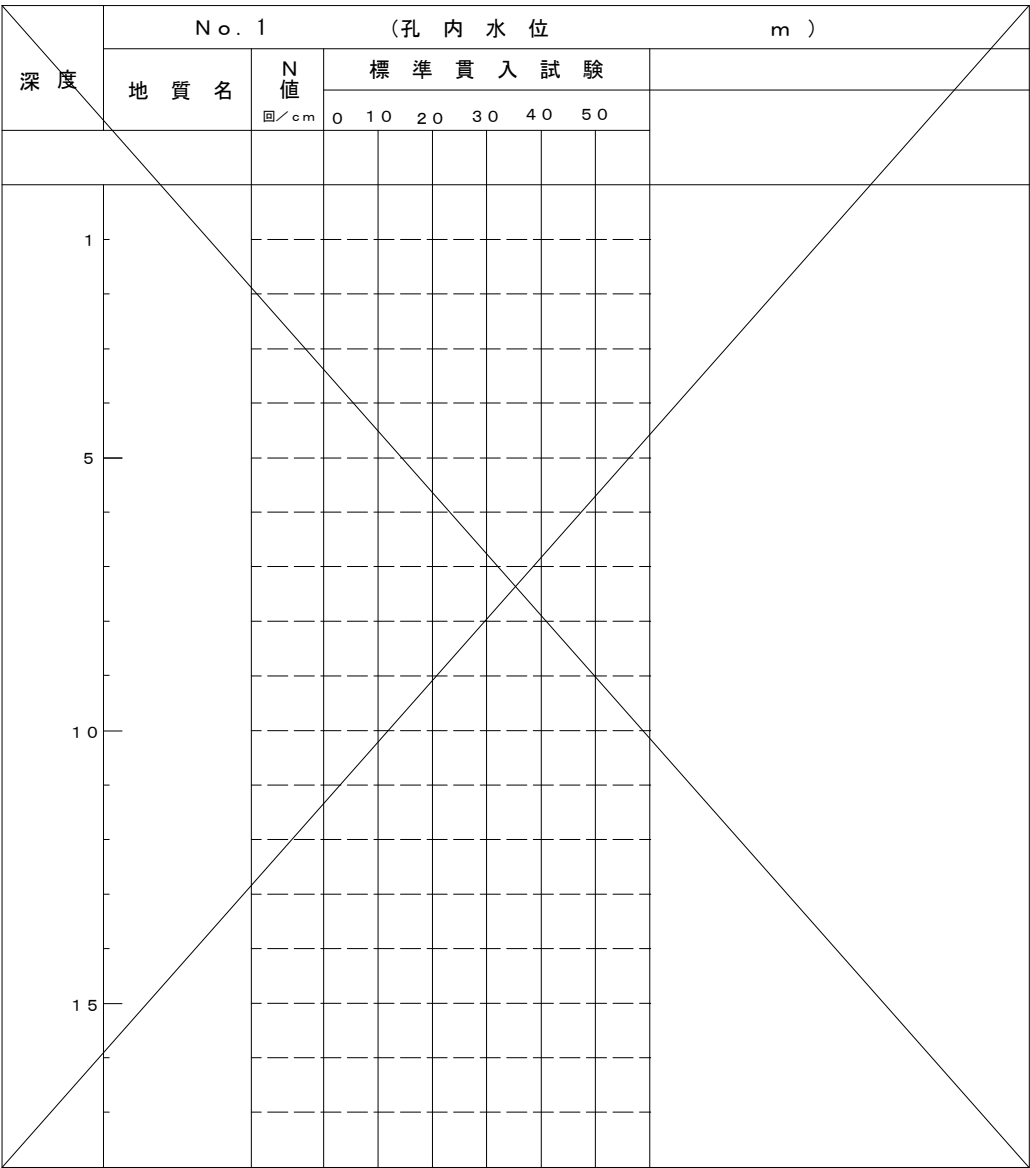
☐ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験

☐ 水平地盤反力係数の測定 ☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験

調査計画内容 (本工事に ☐ 含む ☐ 含まない)

調査深度 m 調査数 ヶ所

☒ 無



(1) 基礎

直接基礎

註：実施にあたり地耐力、くい耐力が設計地耐力、くい耐力と相違する場合は基礎構造の設計変更をする場合がある。

適用箇所	基礎形式			基礎深さ (G L—m)	設計地耐力 (長期, KN/㎡)	備 考
	独立	布	ベタ			
基礎	○			1.0	100 (基礎底)	柱状地盤改良

※支持層及び構成地盤の確認を行い監理者に報告すること

☐ 杭の施工計画書の提出
 ☐ 杭の施工結果報告書の提出

工 法	径 (mm)	先端深さ (G. L—m)	設計くい耐力 (長期、t/本)	本数	備 考
☐ アースドリル					
☐ 杭					
☐ 杭+趾					
☐					

既製ぐい ※杭ズレ100mmまでは図面通り施工可。

種 類	符号	種別 (種)	径 (mm)	杭長 (m)	設計くい耐力 (長期, kN/本)	本数 (本)	工 法
☐ PHC杭							
☐ PRC杭							
☐ STくい							
☐ SCくい							
☐ 節くい							

砂、砂利、割ぐり、捨コンクリート地業

適用箇所	厚さ (mm)					備考
	砂	砂利	割り	捨コン		
基礎				50		柱状地盤改良 * () 数値はｼﾞｬｽﾄｲﾝﾍﾞｰｽ使用箇所
基礎梁			100	50		充分、軽圧の上施工すること。
土間						表層改良 (h=500)

註：砂利、割ぐりは碎石を含む。

(下記の結果は、後日工事監理者に報告する事。)			
採用	項 目	備 考	
地	平板載荷試験	位置は監理者（係員）に確認すること	
	くいの載荷試験（鉛直）		
業	○ 試掘	位置及び箇所数は監理者と協議すること	
	ためし練り試験	レミコンの標準品は行わない	
コンクリート	○ 圧縮強度試験	供試体による	
	○ 打込み直前における品質検査（スランプ、空気量、温度、単位容積重量、強度推定のための圧縮強度）		
	材料試験		
	ガス圧接工技量確認試験		
鉄筋	ガス圧接部引張試験		
	○ ガス圧接部超音波探傷検査		
	○ 材料試験		
鉄骨	工場溶接工技量確認試験		
	高力ボルトのすべり係数試験		
	○ 工場溶接部の超音波探傷検査		
	工事場溶接工技量確認試験		
	工事場溶接部の超音波探傷検査		

鉄骨溶接部の超音波探傷試験について

検査機関 ☒ 第三者 AOQL 4.0% 第6水準
☒ 社内 100 %
☐

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者、工事施工者が受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。
現場溶接部については、原則として全数検査を行う。

- コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に關してはJASS5による。(最新版)
- コンクリートの品質基準強度は、設計基準強度もしくは耐久設計基準強度のうち、大きい方の値とする。
- セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得る事。
- 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。
- 鉄筋継手のガス圧接は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- 施工（コンクリート、鉄筋、型枠等）はJASS5及び建築工事監理指針に準拠すること。

- 鉄骨工事は、日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」による。
- 工事監理者の承認を必要とするもの
 - 製作工場
 - 建設省告示第１１０３号による認定工場は Ｒ グレード以上とすること。
 - 製作要領書
 - 工作図
 - 施工計画書
 - 溶接工事作業計画書
 - 材料規格証明書

● 工事監理者が行う検査（監理者の承認の上、省略も可）

- ☒ 現寸検査
- ☒ 組立・開先検査
- ☒ 製品検査
- ☒ 建方検査

- ☒ 錆止め塗装

- J I S K 5 6 7 4、2回塗りとする。
- J I S H 8 6 4 1 溶融亜鉛めっき（部位は意匠図参照）

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

- 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
- 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
- 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄筋の支保板を設けたものを除き、90cm以下とする。
- 煙突で鉄筋の支保板は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。

建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

- 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
- 建築物の構造を貫通しての配管等においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等の有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
- 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継手又は可撓継手設ける等の有効な損傷防止のための措置を講ずること。
- 管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等の有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 給湯設備（沸騰水の貯量が15kgを超えるもの）については平12建告第1388号第五の規定を満たすこと。

- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

- 諸官庁への届出書類は遅延なく提出すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

- (1) 構造図に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
@…間隔 r…半径 C…中心線 l…部材間の内法距離 h o…部材間の内法高さ
S T…あばら筋 H O O P…補強帯筋 S . H O O P…補強帯筋 φ…直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	1 8 0 °	1 3 5 °	9 0 °	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形断面のキャブタイにのみ用いる。 *片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4 d 以上	6 d 以上 (※4 d 以上)	8 d 以上 (4 d 以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ D19以下 D16以下	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ D19以下 28φ D28以下 D29 D38	6d以上 8d以上

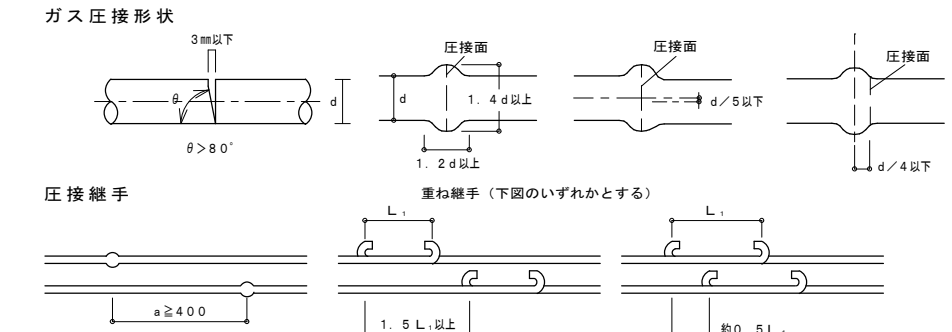
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L ₁)
		一般(L ₂)	下ば筋(L ₃) 小梁 スラブ	
SD295A SD295B	30~36	40dまたは30d ⁷ かつ		35dまたは25d ⁷ かつ
	24, 27	40dまたは30d ⁷ かつ		35dまたは25d ⁷ かつ
	21	40dまたは30d ⁷ かつ		40dまたは30d ⁷ かつ
SD345	18以下	40dまたは30d ⁷ かつ		45dまたは35d ⁷ かつ
	30~36	40dまたは30d ⁷ かつ	25d または 10d かつ 15d	35dまたは25d ⁷ かつ
	24, 27	40dまたは30d ⁷ かつ		40dまたは30d ⁷ かつ
SD390	21	40dまたは30d ⁷ かつ		45dまたは30d ⁷ かつ
	27~36	40dまたは30d ⁷ かつ		40dまたは30d ⁷ かつ
	24, 27	40dまたは30d ⁷ かつ		45dまたは35d ⁷ かつ

[注]許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は梁主筋の柱への定着は40dとする

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



(4) かぶり厚さ (単位: mm)

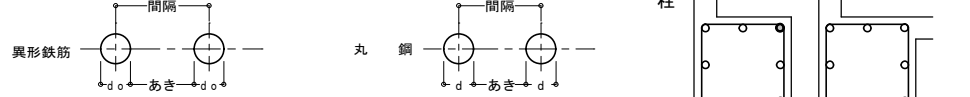
ひびわれ誘発地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	30
	床スラブ	20
	非耐力壁	40 ⁽¹⁾
	柱	30 ⁽²⁾
土に接する部分	柱	40
	耐力壁	50 ⁽²⁾
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	40 ⁽¹⁾ (30)
	擁壁	50 ⁽³⁾
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50
	基礎・擁壁	70

- [注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) () 内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(6) 鉄筋のフック

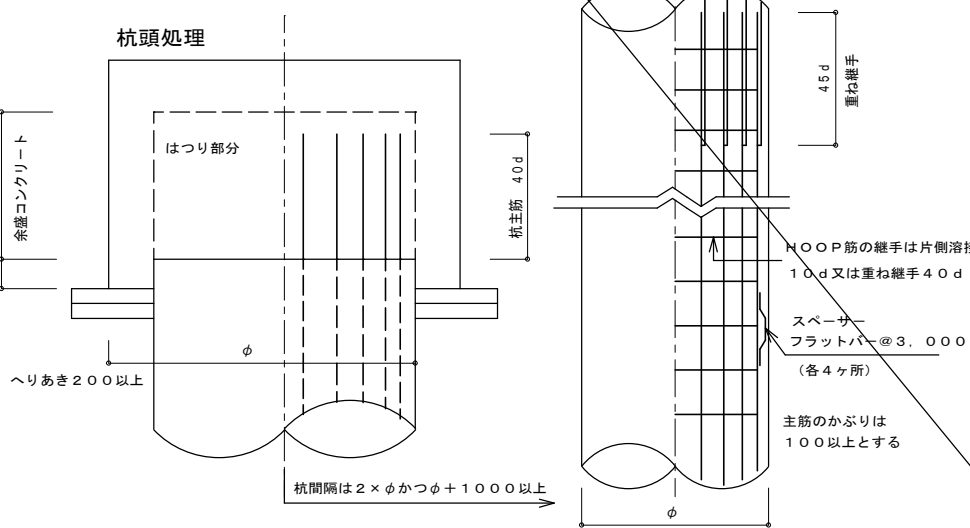
- (a ~ f に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

３．杭（地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。）

(1) P C 杭、又はP H C 杭の全てに補強を行う

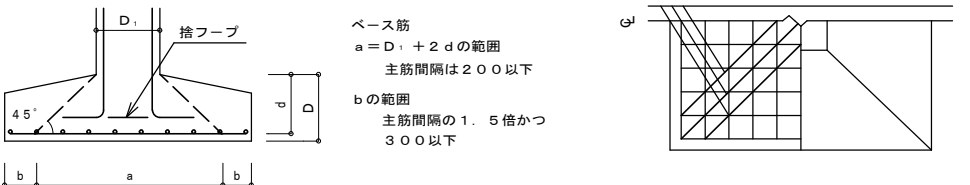
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
	但し f ≤ φ の場合 f > φ の場合は工事監理者の指示による		
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13
H O O P			8-D16
			10-D16
			D10-@150

(2) 現場打ちコンクリート杭

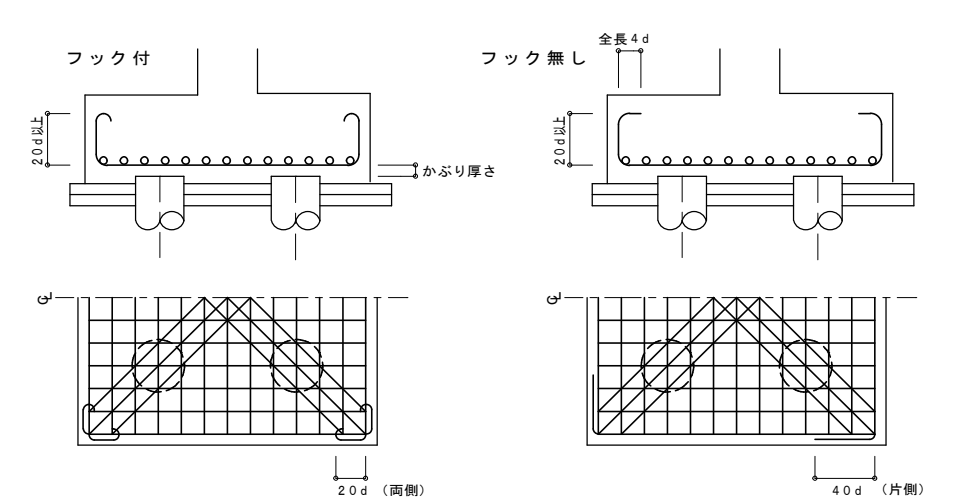


４．基礎

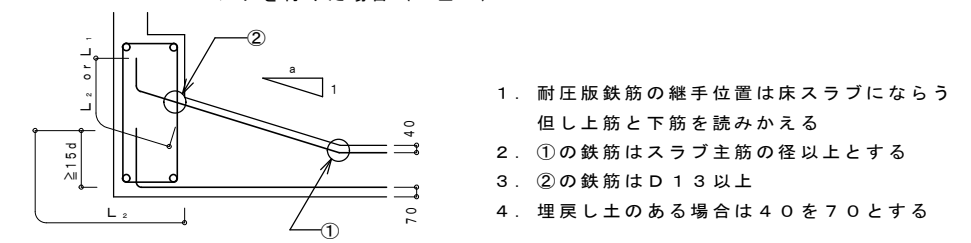
(1) 直接基礎



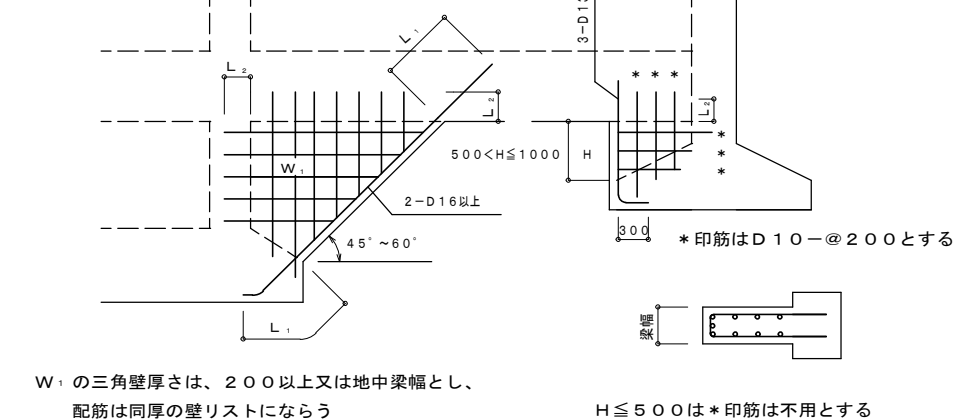
(2) 杭基礎



(1) ベタ基礎

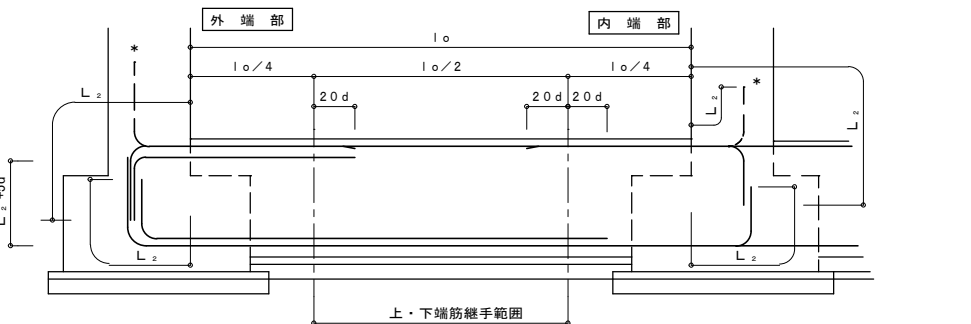


(2) 基礎接合部の補強

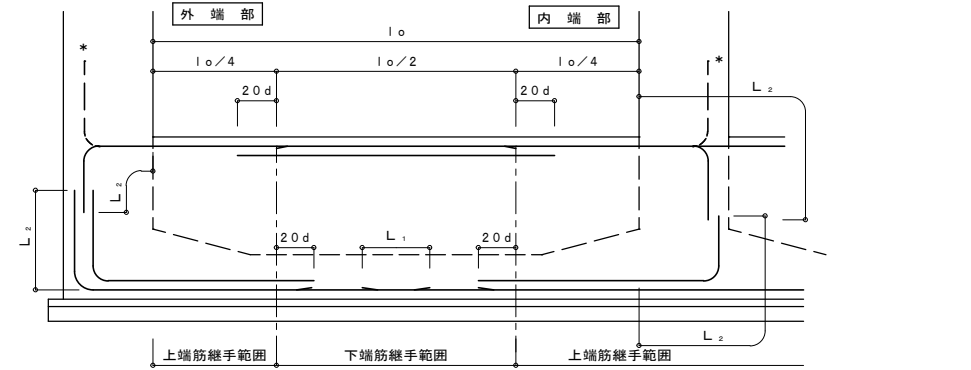


５．地中梁

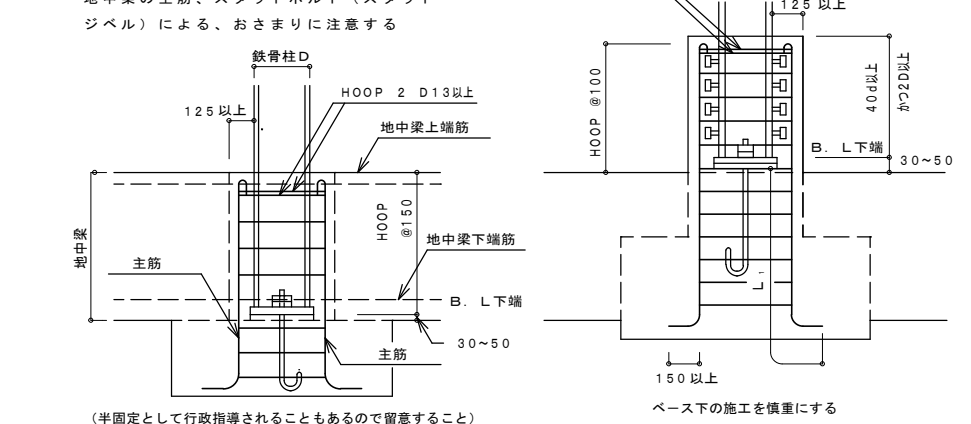
(1) 独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）



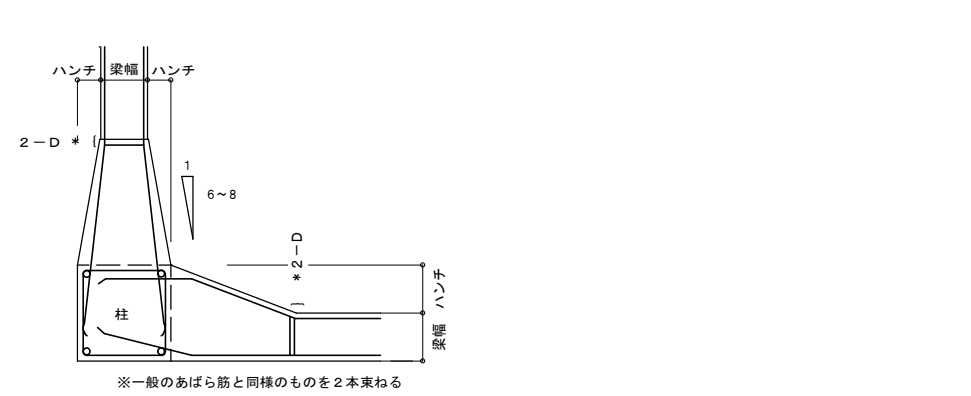
(2) 布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）



(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

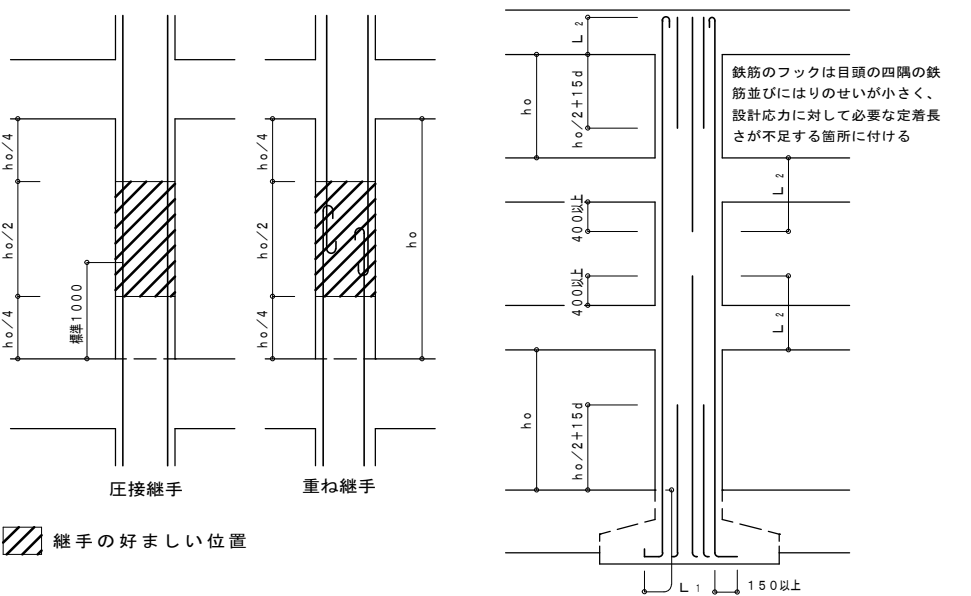


(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

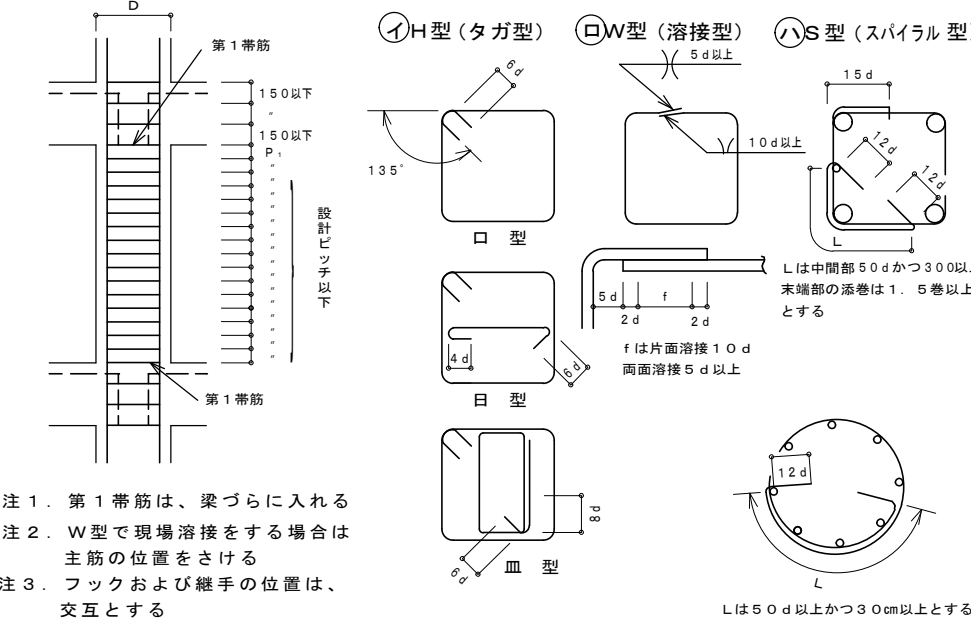


６．柱

(1) 柱主筋の継手

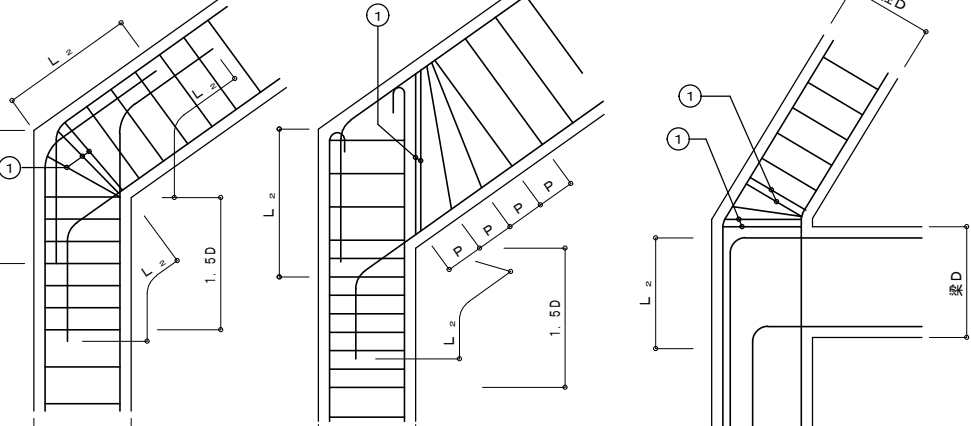


(2) 柱主筋の定着



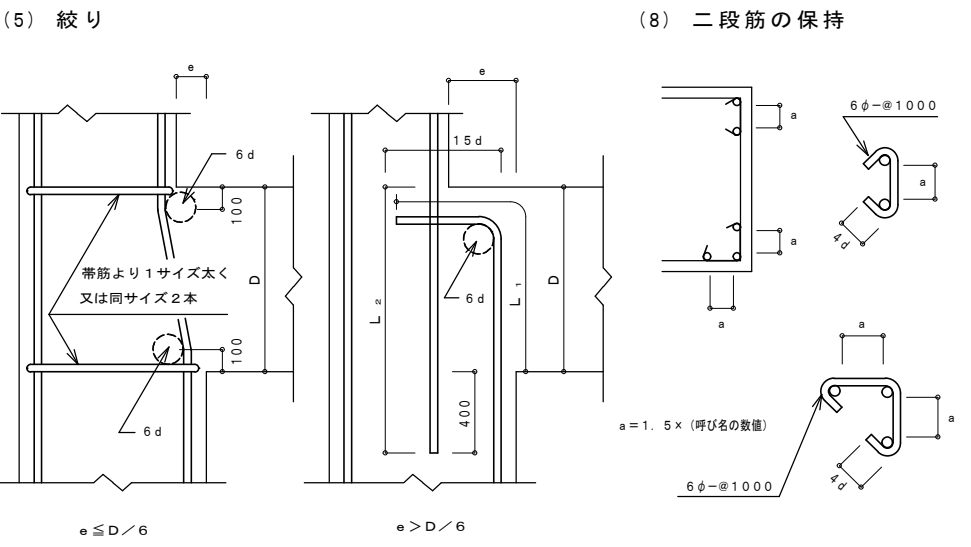
注1. 第1帯筋は、梁づらに入れる
注2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注3. フックおよび継手の位置は、交互とする

(4) 斜め柱・斜め梁

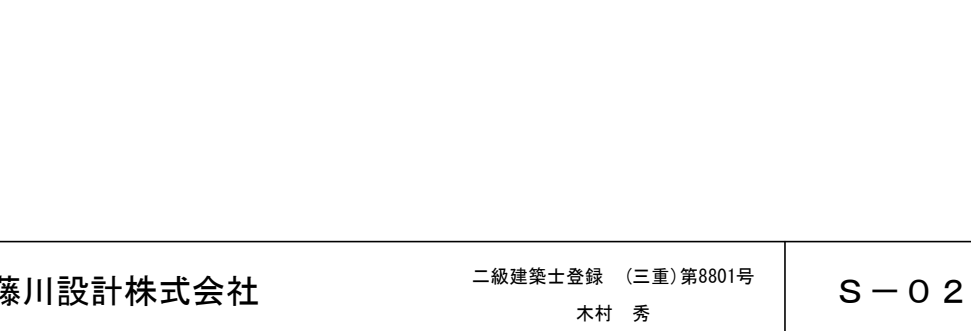


注1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞り



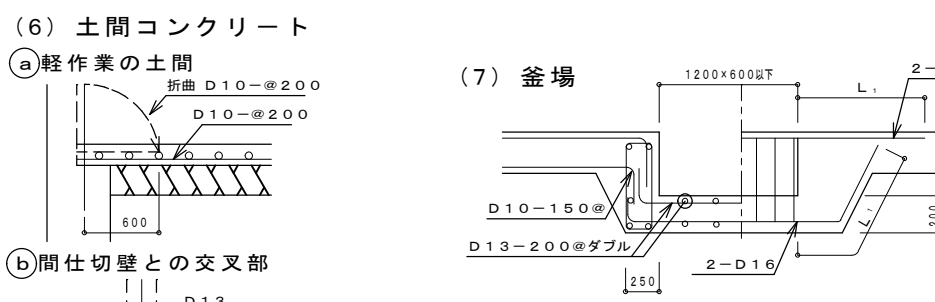
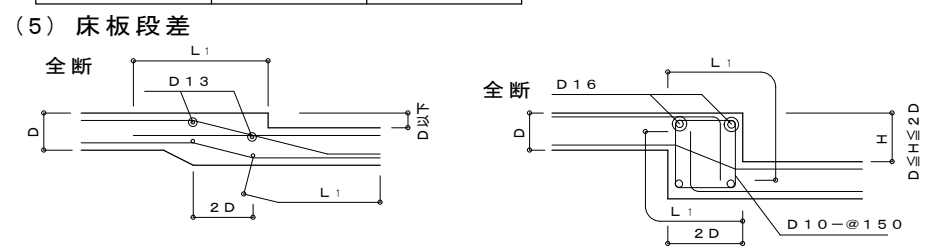
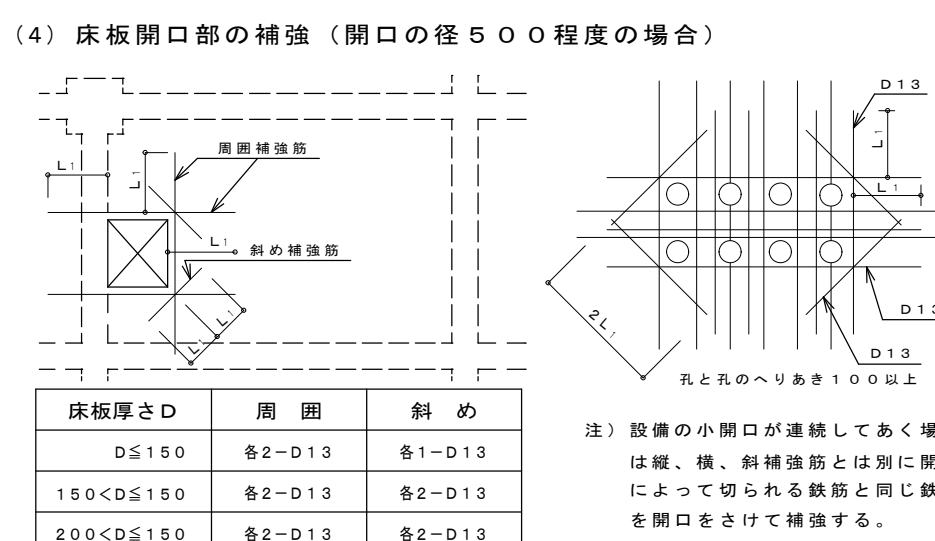
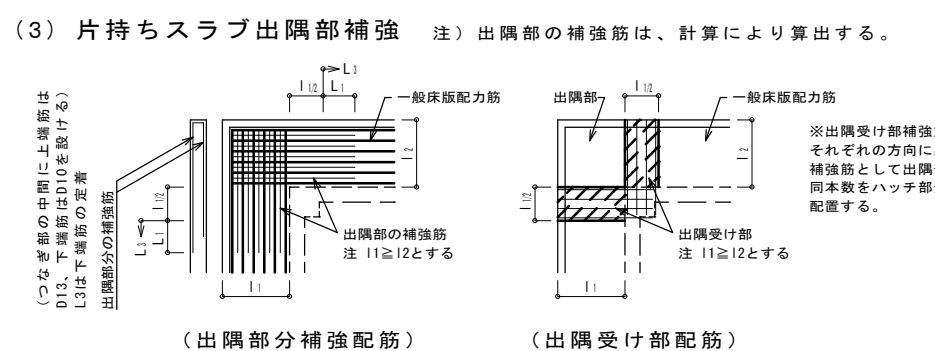
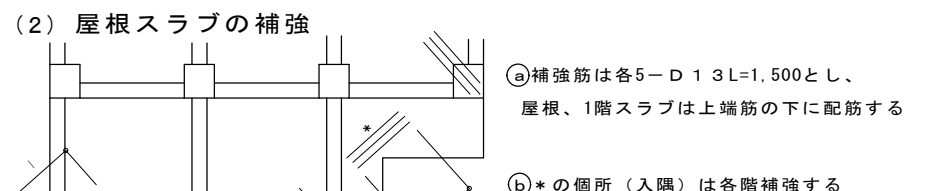
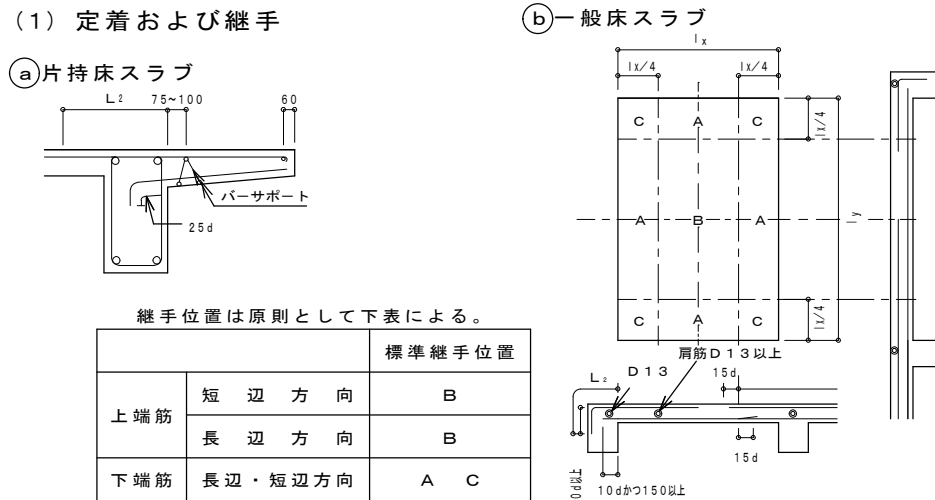
(8) 二段筋の保持



L = 鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2-(3)による。

8. 床 板

(1) 定着および継手

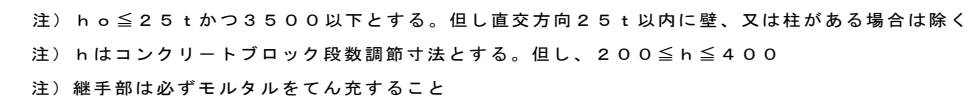
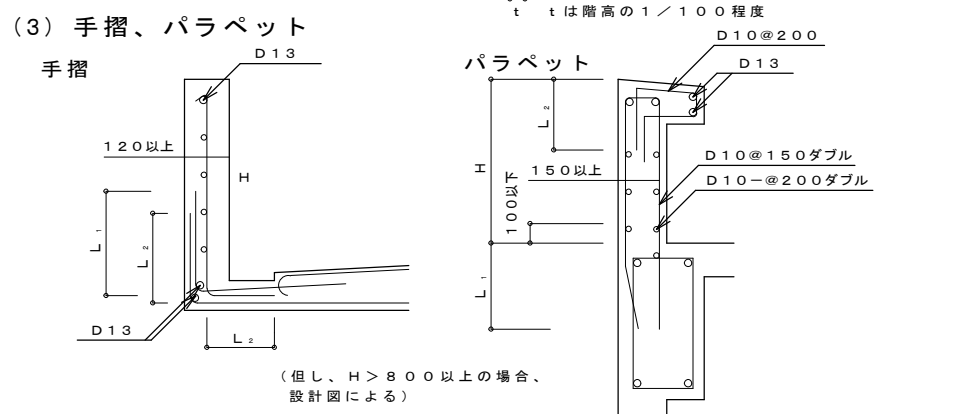


(8) 打継ぎ補強 (ダム穴打継面について)

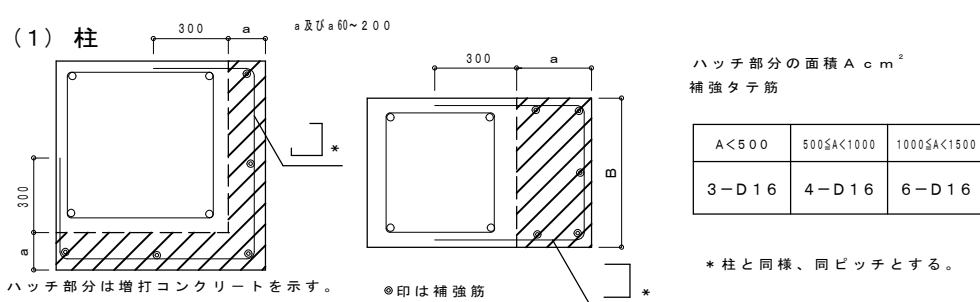
- ・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2シ、以
- ・無筋部分D10@200 長さ800以上

(1) 定

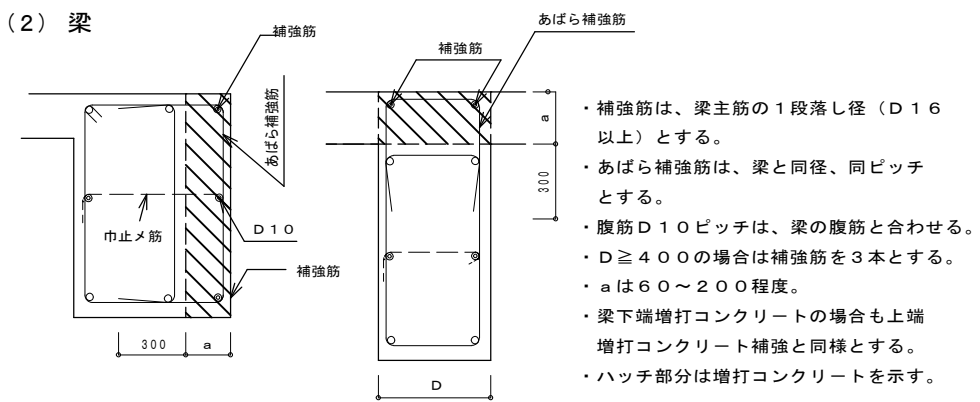
(1) 定



10. 柱、梁増打コンクリート補強

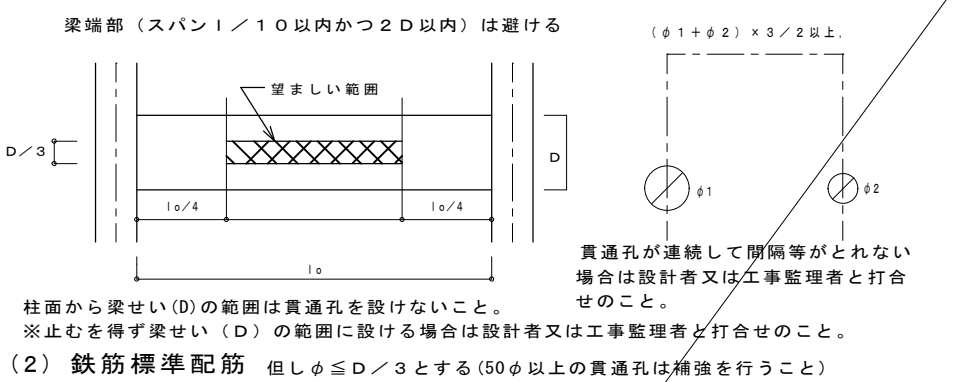


(2) 梁



1 1. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範圍

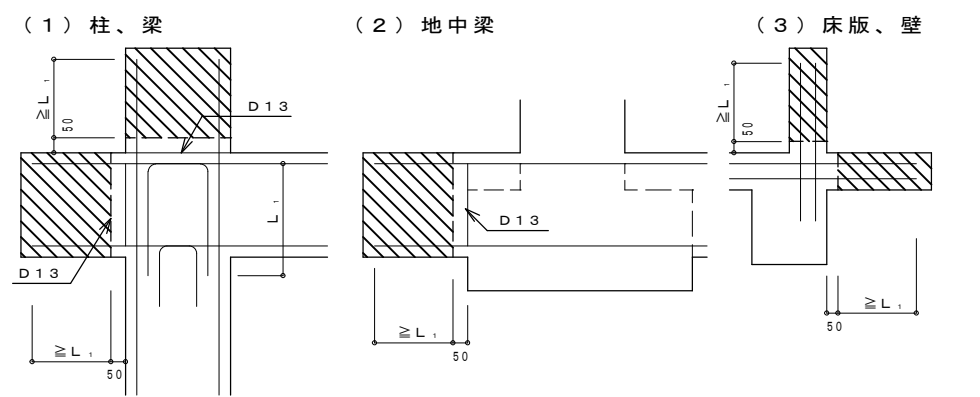


(2) 鉄筋標準配筋 但し $\phi \leq D/3$ とする (50 ϕ 以上の貫通孔は補強を行うこと)

50 ≦ φ ≦ 100 折 筋 2 - (2-D13) 縦 筋 ST2-D13-100@	100 < φ ≦ 150 折 筋 2 - (2-D13) 縦 筋 ST2-D13-100@ 横 筋 2 - (2-D13)	150 < φ ≦ 250 斜 筋 4 - (2-D13) 縦 筋 ST2-D13-100@ 横 筋 2 - (2-D13) 下 縦筋 ST2-D13
φ > 250 孔補強の有効範囲と定着長さのとり方 ※ 部分について計算で確認された部分は右記の位置、寸法によらずに良い。 ※ 梁幅が、400を超える場合は斜張筋でD13はD16又は、2-D13は3-D13と、各々読みかえる		

(3) 既製品 (50φ以上の貫通孔は補強を行うこと。50φ未満の貫通孔の補強の有無は監理者に確認すること。)
(既製品を使用する場合は、建設省の技術評定を取得した製品、または建築センターの評定を取得した製品を使用すること)

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)



地盤柱状改良工事概要

1. 工事概要

本地業は柱状地盤改良による地盤改良工であり、その工法概要はスラリー状のセメント系固化材を機械的に地中で混合攪拌し、所定の強度を持った円柱状の改良体を造成するものである。なお、技術基準は「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」日本建築センター発行による。

2. 特記概要

- 1、本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したものである。
- 2、改良の径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数、配置等は設計図による。
- 3、改良の設計基準強度はF c＝7 5 0KN/m²とする。

3. 一般事項

- 1、改良の径、長さ、本数、位置及び固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。
- 2、柱状改良数量表

設計基準強度 F c＝7 5 0 K N / m 2					
	改 良 径	平均掘削長 設計GL3切	平均改良長 スポン含む	平均空掘長 設計GL3切	改良本数
S1期	φ 1000mm	5. 20m/本	4. 20m/本	1. 00m/本	14 本
合 計					14 本

※改良長は支持層により調整する。

- 3、工事に先立ち、施工計画書を提出する。

施工計画書は次の事項を明記する。

- ①工事内容（改良径・改良長・空掘長・改良本数・設計基準強度）
- ②施工方法
- ③施工機械器具
- ④配合管理（使用固化材・配合量・注入量等）
- ⑤施工管理
- ⑥品質管理

4. 施 工

- 1、固化材液のてん充方法は、掘削時てん充方法とする。
- 2、改良頭部の余長は1 0 cm以上とする。
- 3、本工法により排出される土は、場内処理とする。
- 4、施工に対して異常が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

5. 施工機器

- 1、スラリー状のセメント系固化材と現状土を確実に混合攪拌する事が出来未改良土の共回り現象を防止する攪拌装置を装備した施工機械とする。
- 2、改良機本体は、施工時のデータを記録できる装置（施工管理用計測器）を装備したもので、自走式とする。
- 3、セメントミルク作成用の混合プラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

6. 固化材液の配合及び使用量

- 1、固化材液に使用する固化材は、六価価μ対応型セメント系固化材とする。
※使用固化材は、配合試験時に土質を確認し、最終決定すること。
- 2、配合強度は下記の式より求める。
$$X f = a t \times F c$$
$$X f : \text{配合強度 (K N / m}^2\text{、N / mm}^2\text{)}$$
$$a t : \text{割増し係数 (8. 品質管理抜き取り個所数Nより)}$$
$$F c : \text{設計基準強度 (K N / m}^2\text{、N / mm}^2\text{)}$$

3. 固化材液の配合

※配合試験を行い添加量を決定する事。

対象土は、ホーリング No. 2、設計GL-1. 00m付近のシルト質砂礫とする。

試験により添加量の変更があった場合、再見積にて精算するものとする。

固化材添加量 : λ = 3 5 0 K g / m 3

固化材液濃度 : W / C = 60～100 % （土質により調整する）

4. 六価クロム溶出試験

・所定強度を満足する供試体から六価クロム溶出量を測定し、環境庁告示第46号による環境基準値（0. 05mg/ℓ）以下であることを確認する。

7. 施工管理

- 1、施工過程における管理方法は次のとおりとする。

・鉛直度：改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計にて確認
・固化材液の作液

水 の 計 量 : 水量計で計測を行う。

固化材の計量：1ton練りミキサーによりton袋にて確認

・掘進深度：改良機本体に設置された深度計で計測する。

- 2、支持層の確認：改良機本体に設置されたトルク計で計測する。

ジャッキアップを行う。

- 3、試験掘削：オーガーにより計画深度まで掘下げ資料土を採取し

調査資料（ホーリング資料）と同等か確認する。

試料土にてpH測定を行う。

- 4、改良天端処理

改良体頭部の位置を所定の仕上がり高さにするため、施工後適切な時期にバックホー等で改良体頭部を削り取って天端処理を行う。
ただし、深基礎等、現場状況により改良天端処理が不可能な場合は、根切り工掘削時に改良体を損傷しないように改良体頭部を削り取ること。

8. 品質管理

- 1、改良土の一軸圧縮強度試験

・圧縮試験は第三者で行うものとする。

・改良1 4本中1 か所、各6本ずつ採取

（材令7日と2 8日にそれぞれ3本）

検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aにより行う。

$$X N \geq X L = F c + k a \cdot \sigma d$$
$$= F c + k a \cdot \{ F c \cdot V d / (1 - 1. 3 V d) \}$$

X N : Nヶ所の一軸圧縮強さの平均値（K N / m²、N / mm²）

X L : 合格判定値（K N / m²、N / mm²）

F c : 設計基準強度（K N / m²、N / mm²）

k a : 合格判定係数

σ d : 設計で想定したコア強度の標準偏差値（K N / m²、N / mm²）

σ d = V d ・ q u d

V d : 想定した強度の変動係数

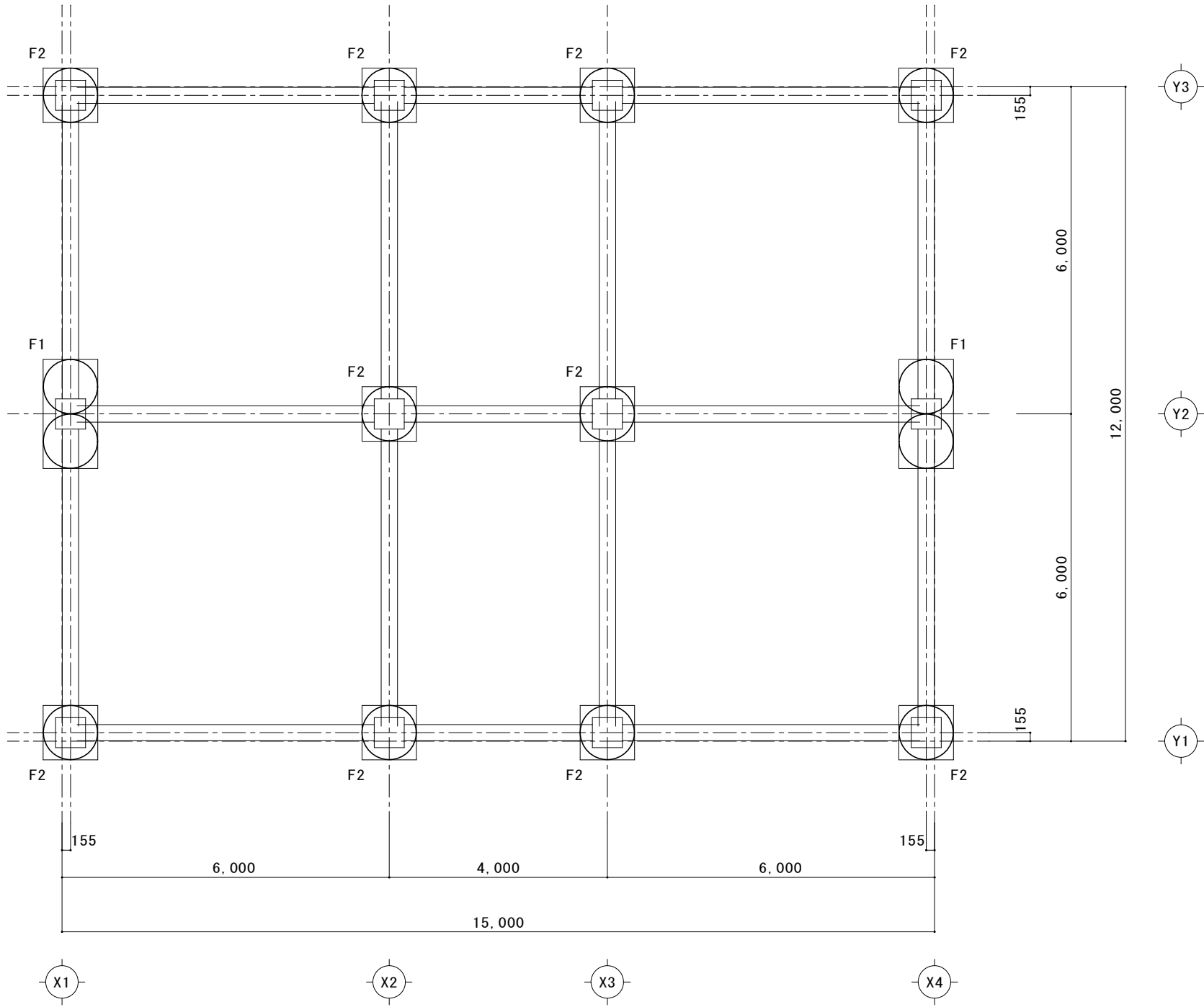
q u d : 想定した現場平均一軸圧縮強さ（K N / m²、N / mm²）

採取ヶ所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数 k a	1. 9	1. 7	1. 6	1. 5	1. 4	1. 3

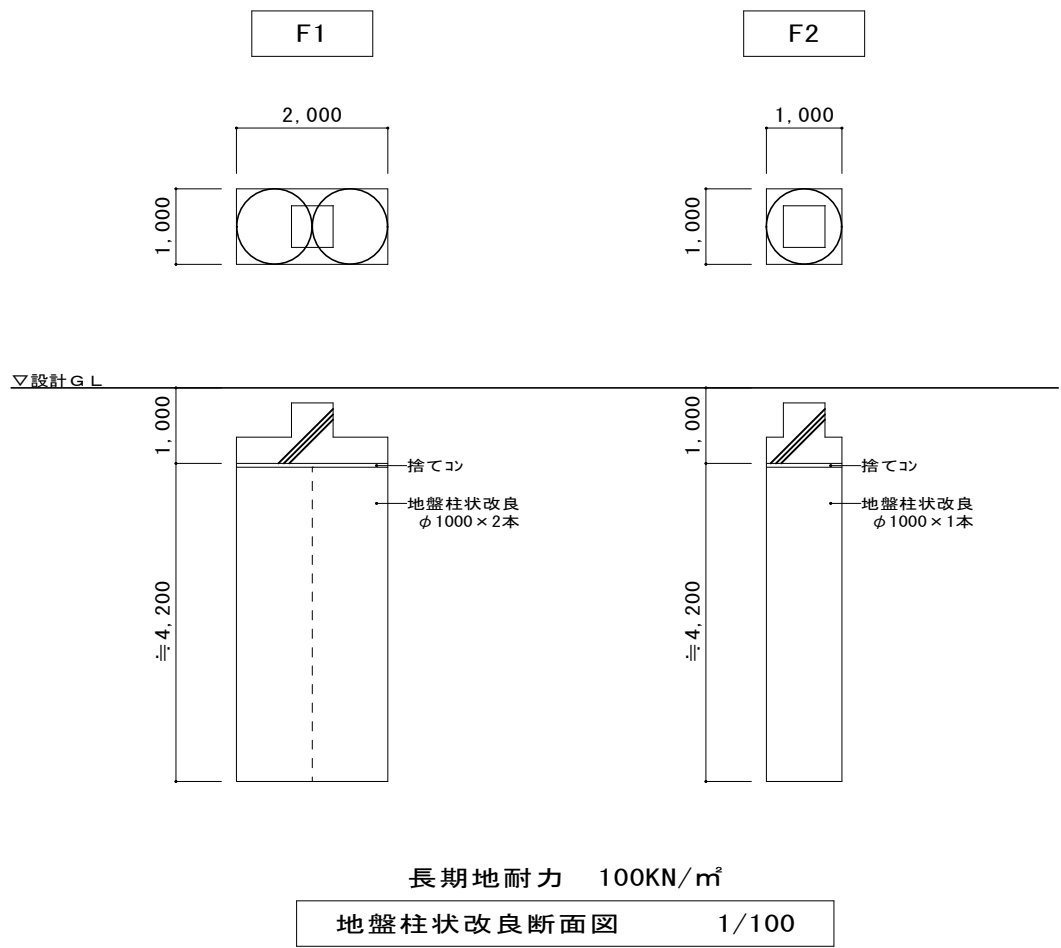
9. 報 告

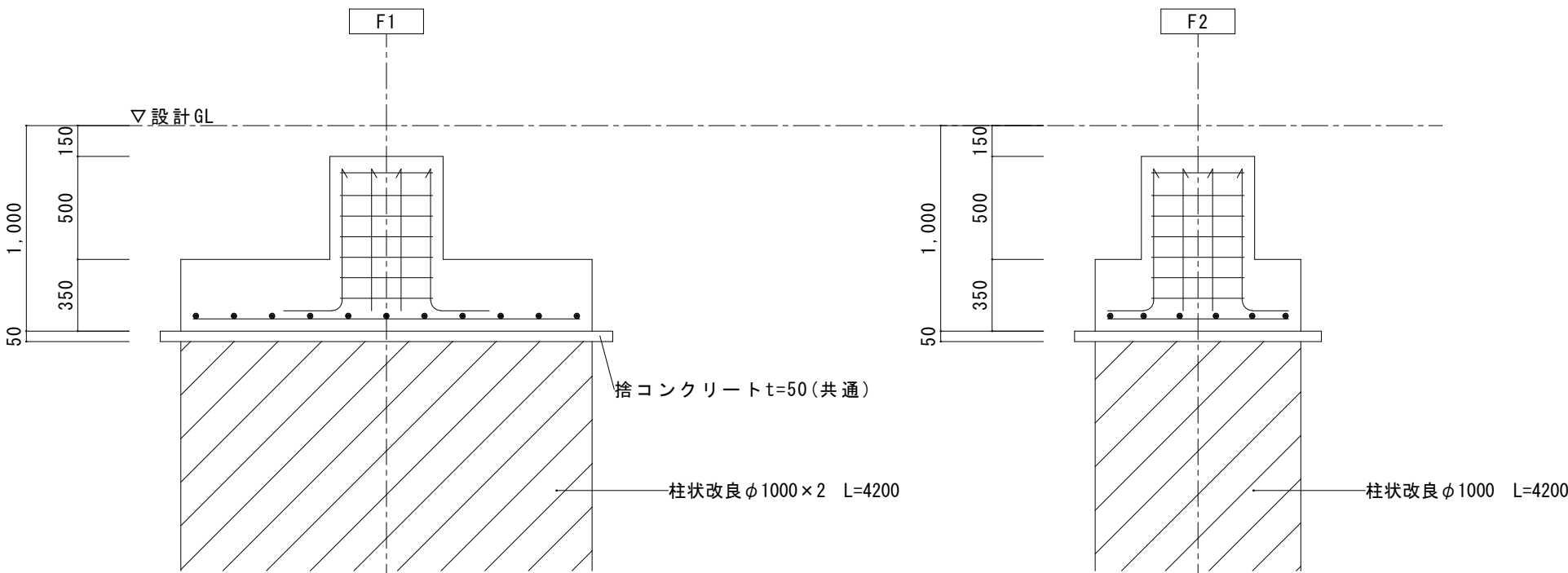
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、2部を監督員にすみやかに提出する。

- ①改良体伏図及び施工番号
- ②改良施工日
- ③掘削深度及び改良長
- ④固化材使用量及び注入量
- ⑤一軸圧縮強度試験結果
- ⑥施工記録データ
- ⑦施工記録写真
- ⑧合格判定結果



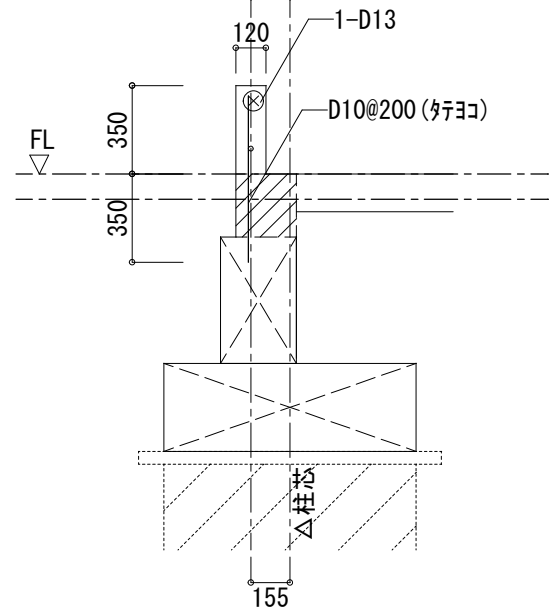
地盤柱状改良 φ 1000
地盤柱状改良伏図 1/100





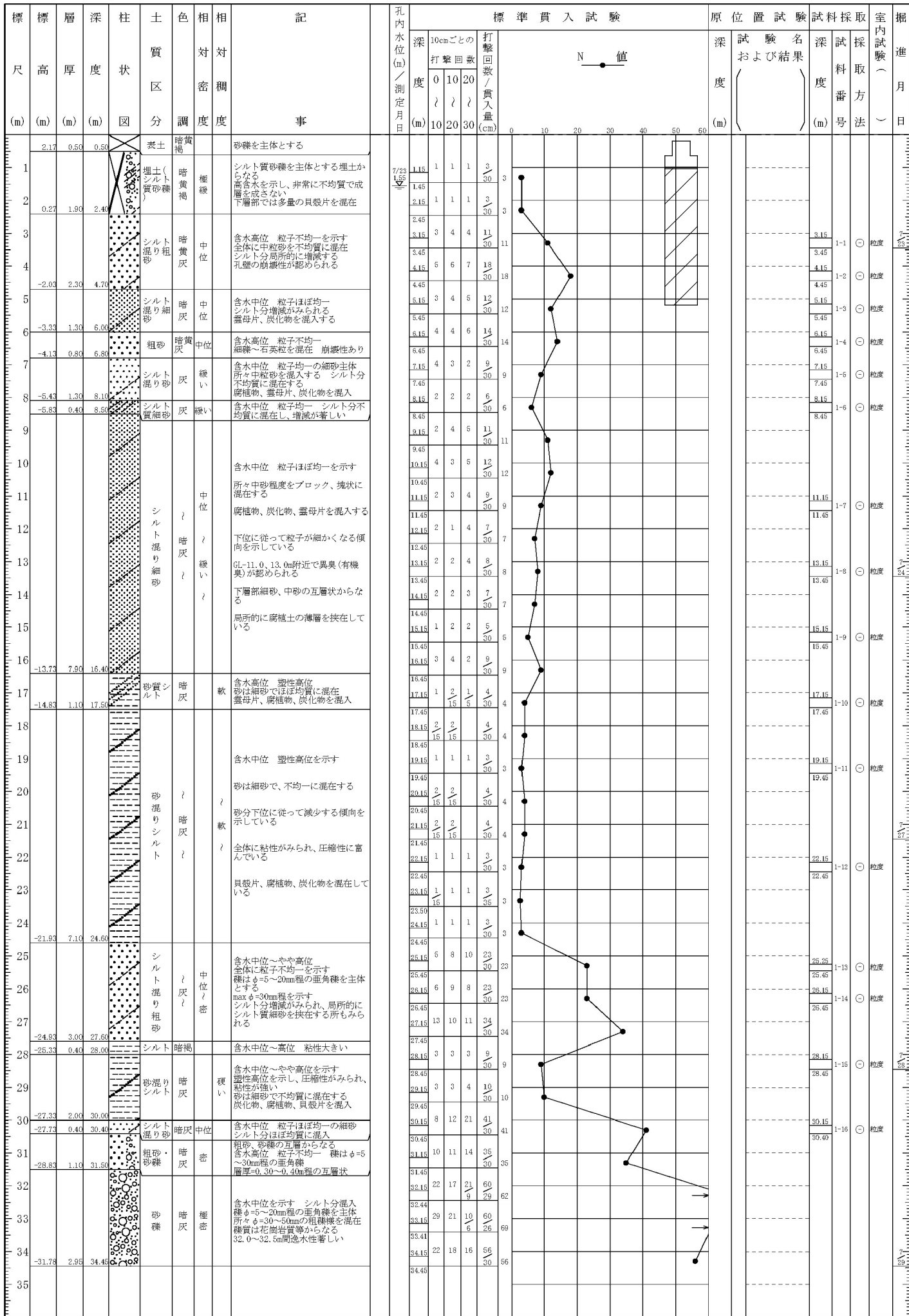
基礎詳細図 1/30

立上り部配筋要領



ボーリング柱状図

調査名 香良洲エコ・ステーション新築工事等に係る地質調査業務委託										ボーリング№									
事業・工事名 平成27年度宮香地補第1-21号										シート№									
ボーリング名 NO. 1		調査位置 三重県津市香良洲町 地内		北緯 34° 38' 58.377"		東経 136° 32' 48.403"													
発注機関 津市建設部 営繕課		調査期間 平成 27 年 7 月 6 日 ～ 27 年 8 月 24 日		東緯 34° 38' 58.377"		東経 136° 32' 48.403"													
孔口標高 H= 2.670m		角 180° 90° 270° 90°		方 北 西 東 南		地盤勾配 水平 傾斜		使用機種 KR-100PB-3 型		ハンマー落下用具 半自動落下装置法		ポンプ Y/V4-A 型							
総掘進長 34.45m		度 180° 90° 270° 90°		向 北 西 東 南		船重 100kg		エンジン		エンジン NFD9-K 型		ポンプ							



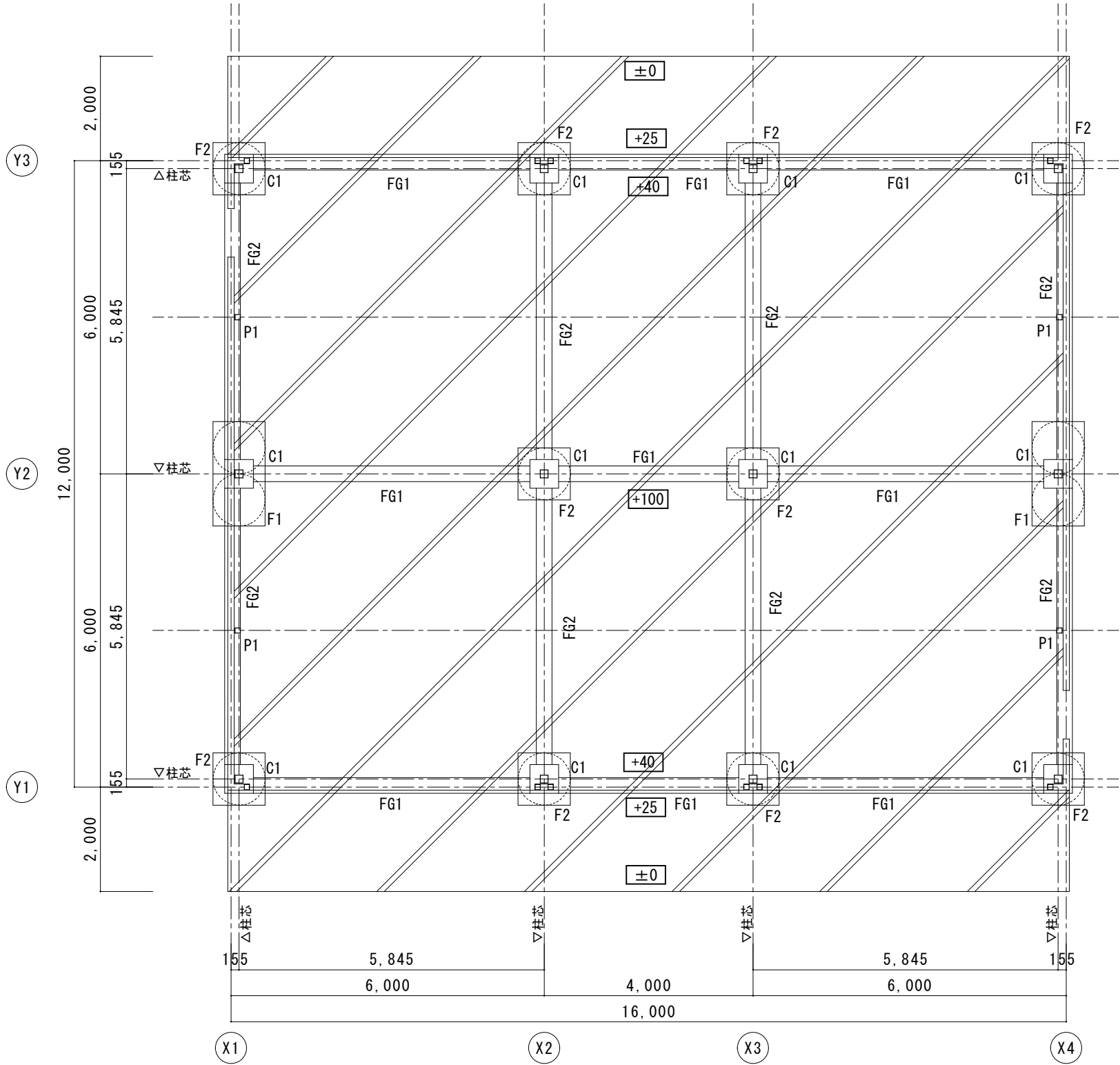
地中梁 リスト 1/30

符 号	FG1	FG2
位 置	全断面	全断面
断 面	捨コン t=50 碎石 t=100	捨コン t=50 碎石 t=100
B x D	300 x 500	300 x 500
上端筋	3-D16	3-D16
下端筋	3-D16	3-D16
S T P	2-D10 @200	2-D10 @200
腹 筋		

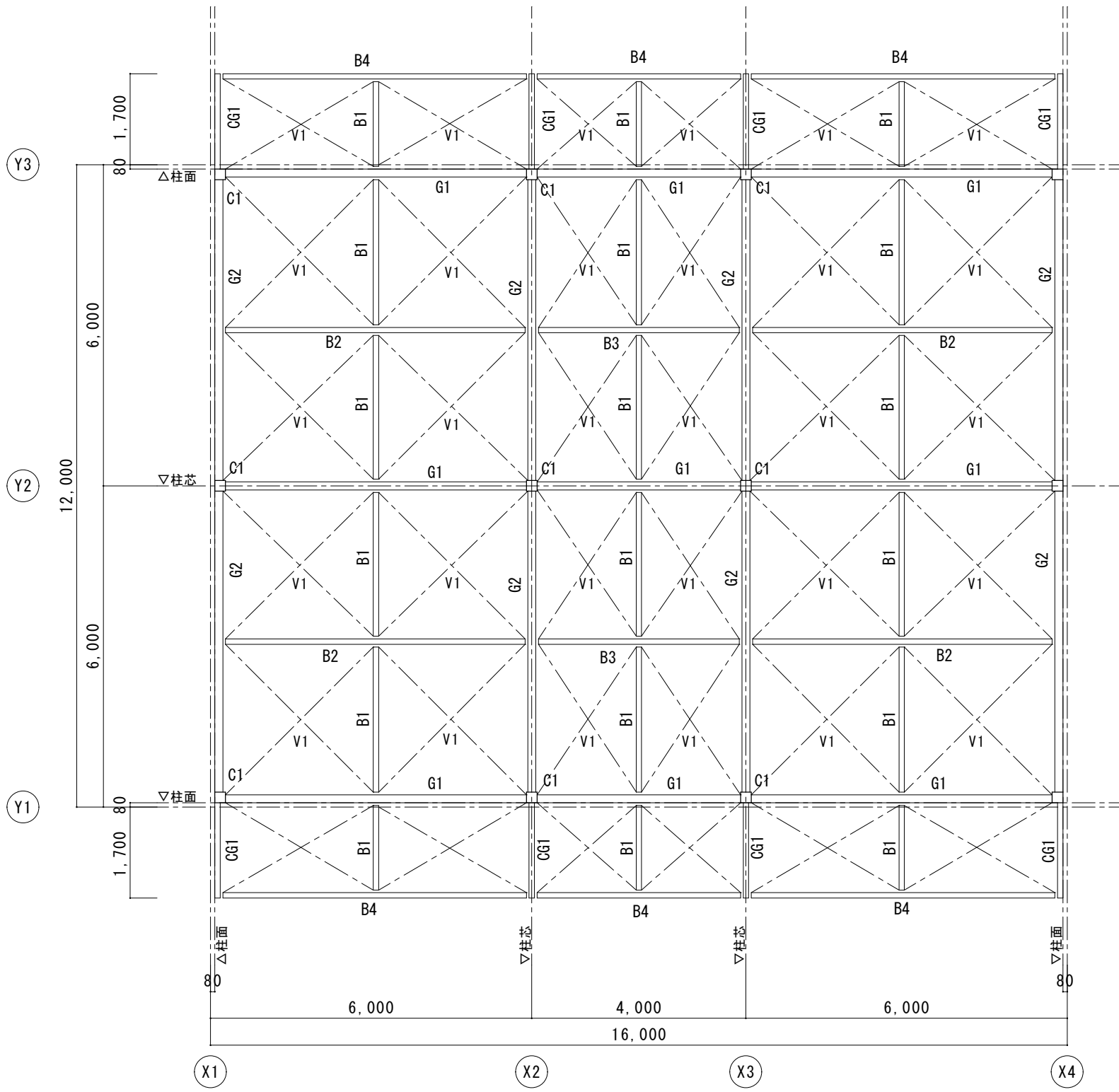
1. 定着は必要定着長さ(La)以上かつL2以上とする。

柱 脚 リスト 1/30

符 号	C1	P1
断 面	350 50 250 350 アンカーボルト 4-M16 (ABR400) L=500 フック付 BPL-25 x 350 x 350	250 40 40 150 アンカーボルト 2-M16 (ABR400) L=500 フック付 BPL-12 x 250 x 150
B x D	550 x 550	
主 筋	12-D19	
HOOP	□-D10 @100	



基礎伏図



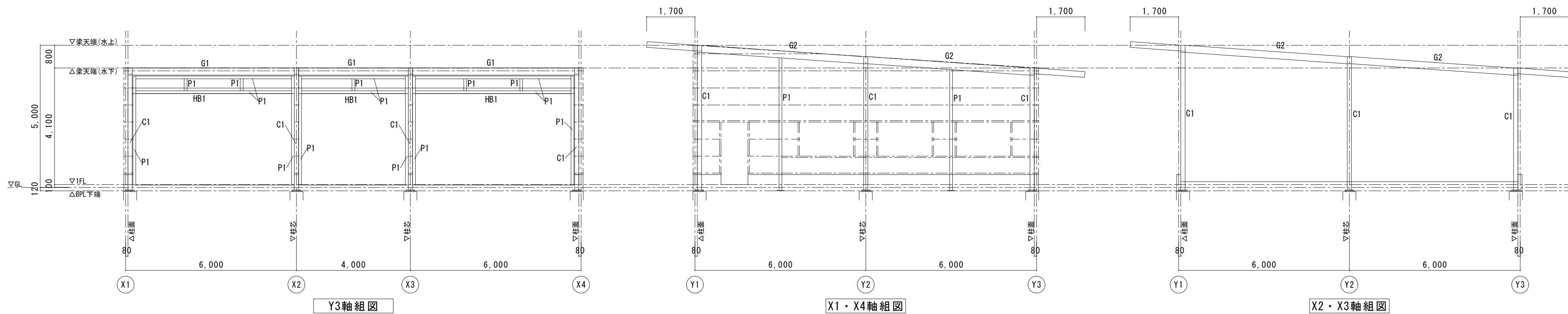
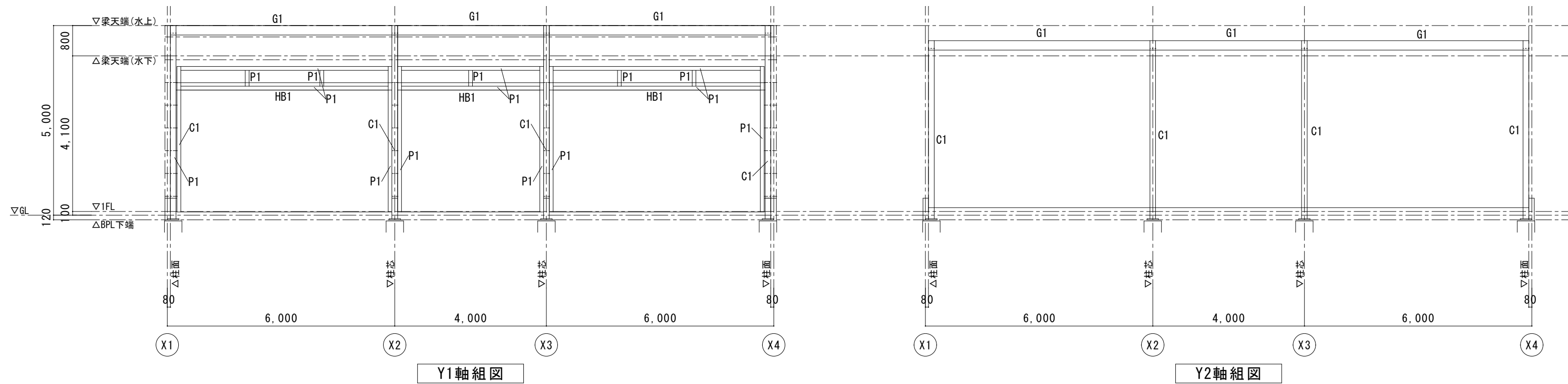
梁伏図

- 特記事項
- 1. 基礎梁天端=GL-150
 - 2. BPL下端=GL-120
 - 3. [数字] :スラブレベルを示す。(1FL基準)
 - 4. 壁:W12 (FL+350)
 - 5. [斜線] :土間コンクリート t=150 筋:33共D10@200(S)
浅層地盤改良 h=500 セメント系固化材80kg/m3
 - 6. 基礎梁は取り合う土間コンクリート天端まで打増しを行うこと。

鉄骨部材リスト

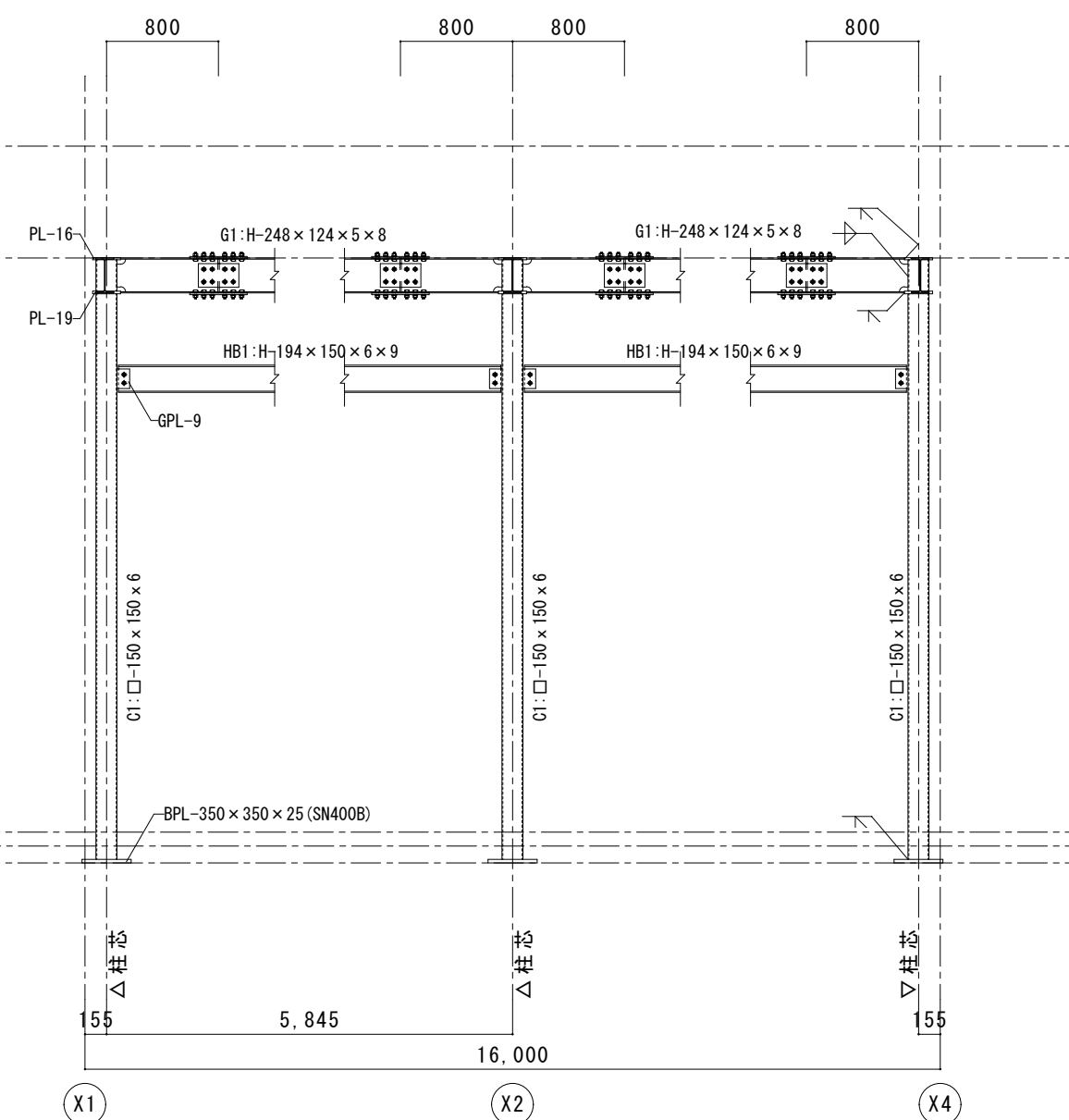
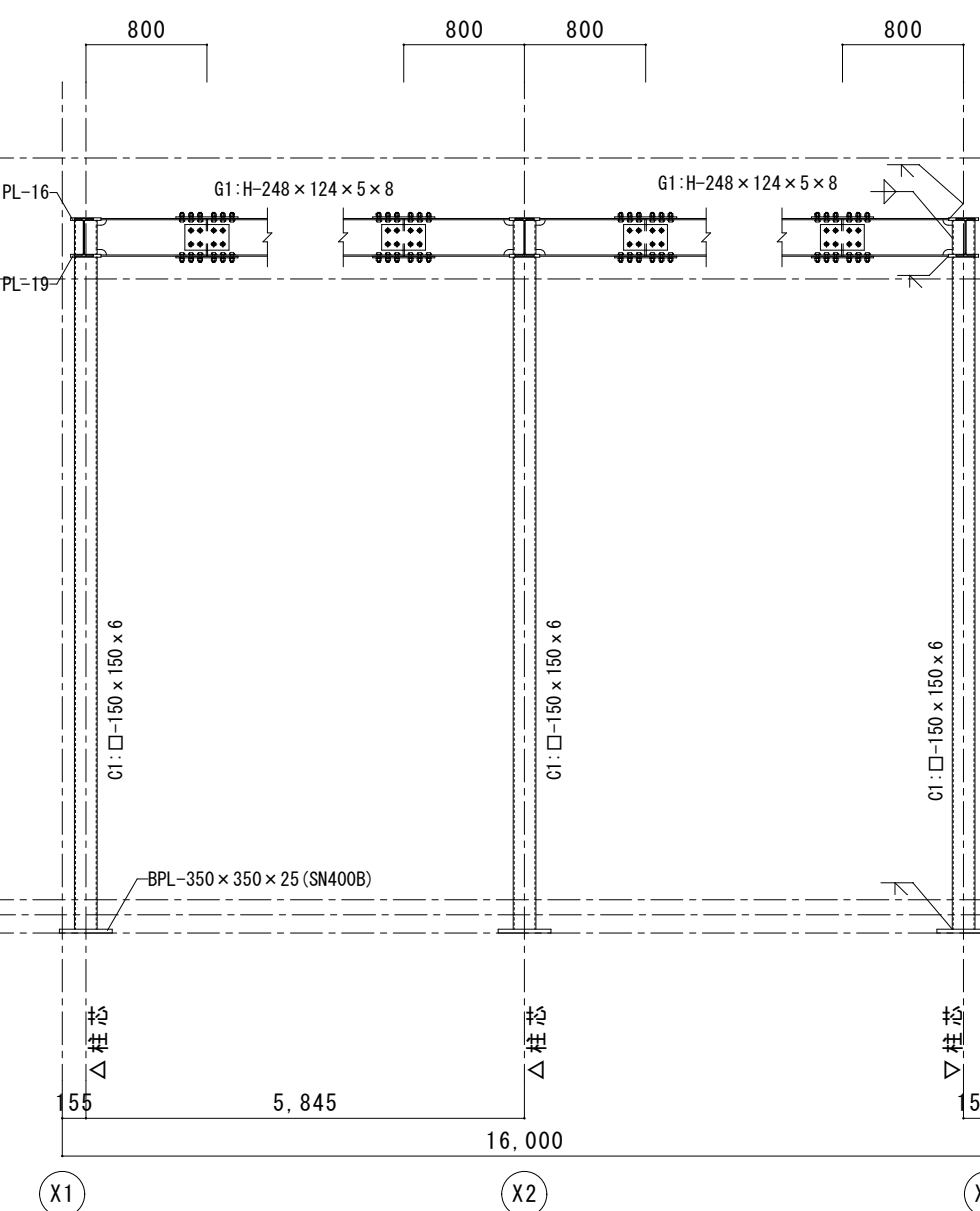
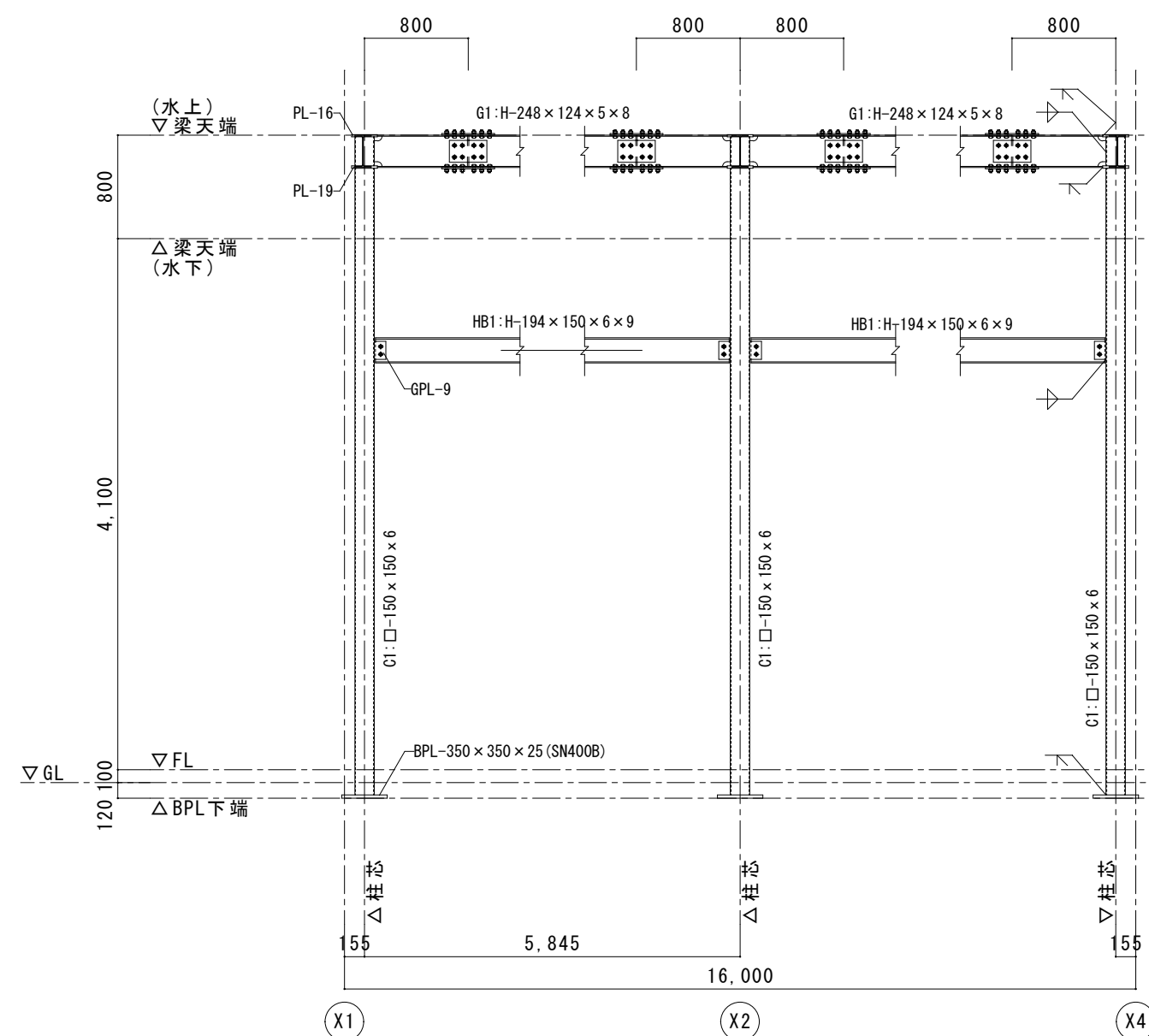
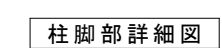
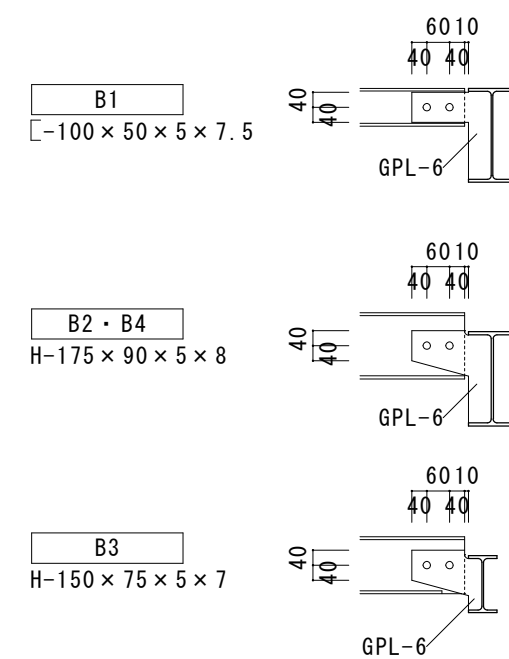
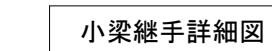
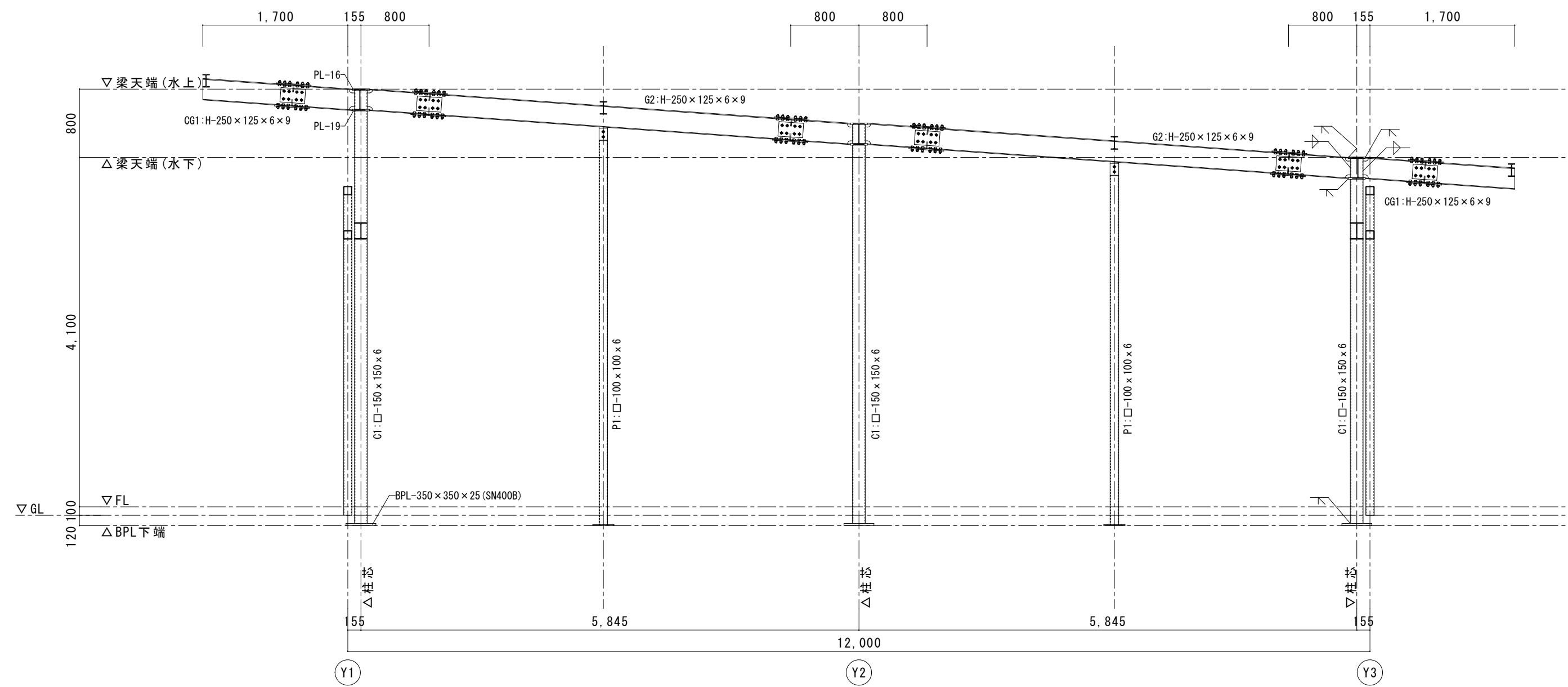
1, 継手はSCSS-H97とする。 2, HTBはS10Tとする

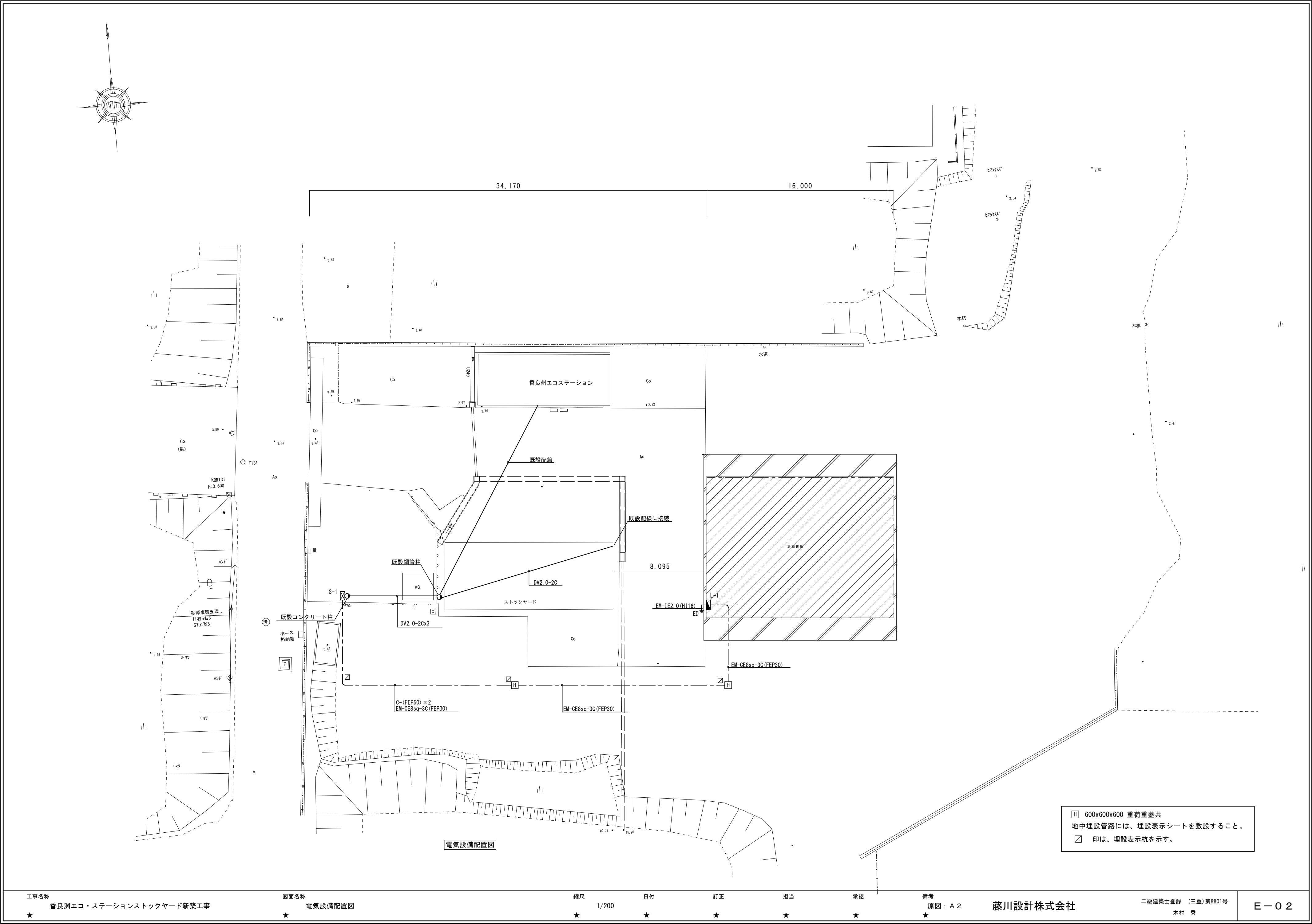
符 号	部 材	フランジ			ウェブ		備 考
		F J P L (外)	F J P L (内)	F - H T B	W J P L	W - H T B	
G1	H-248×124×5×8	PL-410×124×12		6-M16	2PL-290×170×6	4-M16	SS400
G2	H-250×125×6×9	PL-410×125×12		6-M16	2PL-290×170×6	4-M16	SS400
CG1	H-250×125×6×9	PL-410×125×12		6-M16	2PL-290×170×6	4-M16	SS400
B1	□-100×50×5×7.5	GPL-6 HTB 2-M16					SS400
B2	H-175×90×5×8	GPL-6 HTB 2-M16					SS400
B3	H-150×75×5×7	GPL-6 HTB 2-M16					SS400
B4	H-175×90×5×8	GPL-6 HTB 2-M16					SS400
HB1	H-194×150×6×9	GPL-9 HTB 2-M16					SS400
C1	□-150×150×6	BPL-350×350×25(SN400B) A. B : 4-M16-L500 (ABR400)					STKR400 λx=120.1 λy=120.1
P1 (中間柱)	□-100×100×6	BPL-250×150×12 (SN400B) A. B : 2-M16-L500 (ABR400) BPL-9 GPL-6 HTB 2-M16					STKR400
P1 (SS受)	□-100×100×6	CT-250×125×6×9 BPL-9 GPL-6 HTB 2-M16					STKR400
胴縁	C-100x50x20x2.3	@600 GPL-4.5 2-M12(中ボルト)					SSC400
V1	1-M16	FB-6x60 GPL-6 HTB 1-M16 JIS規格品 ケンパツ付					SS400



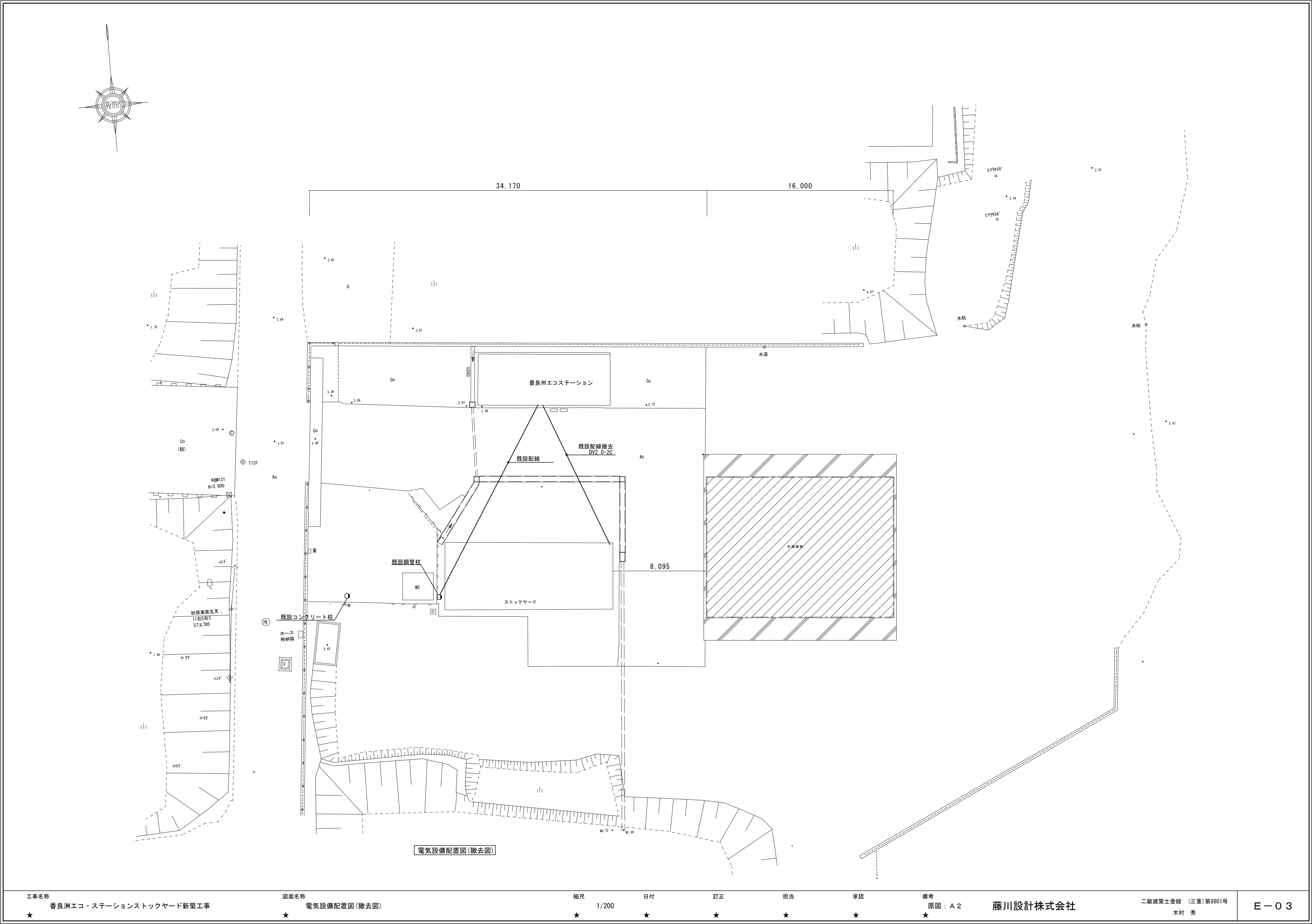
----- 胴縁 C-100x50x20x2.3を示す

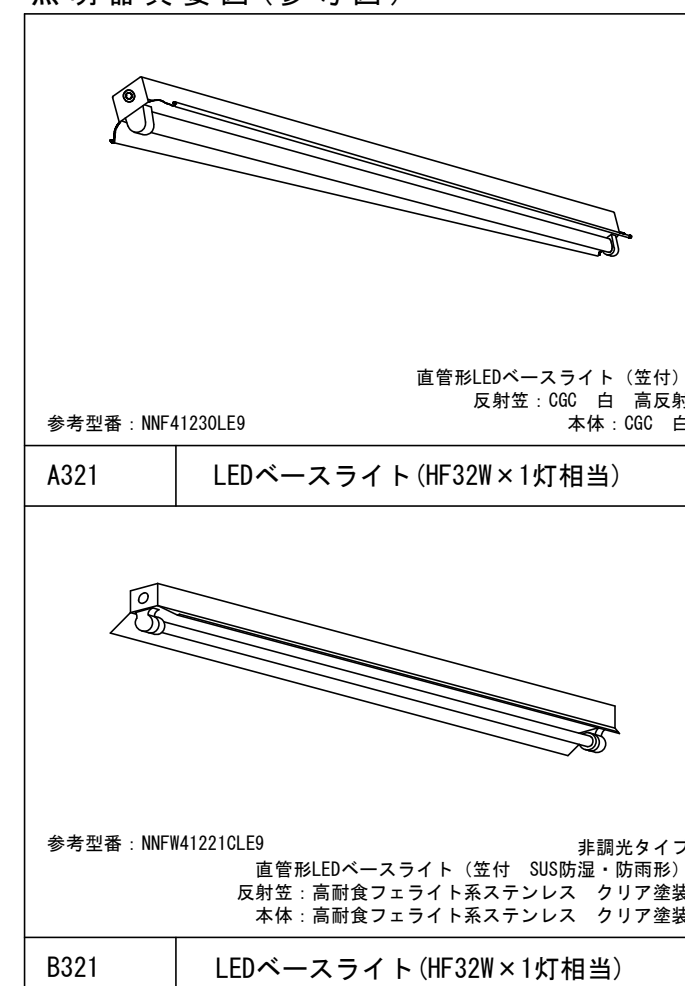
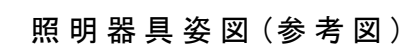
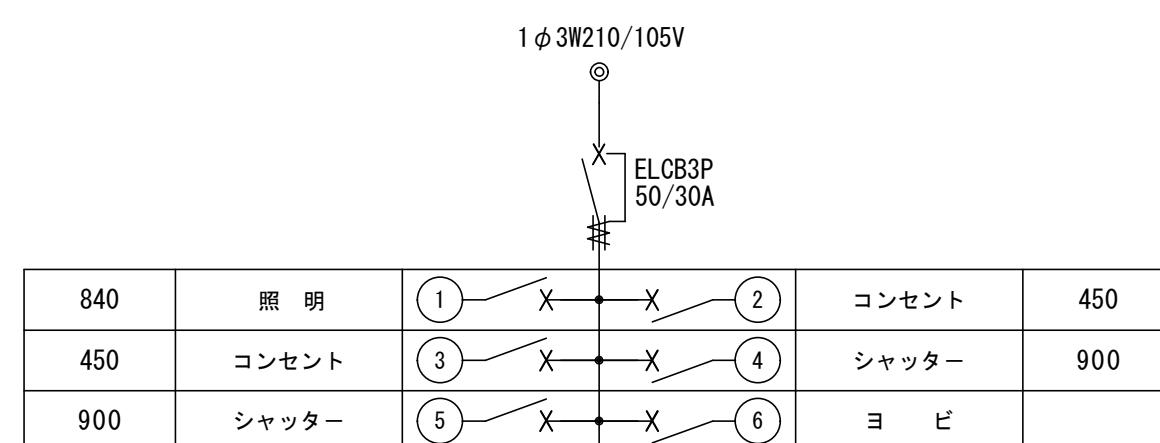
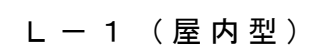
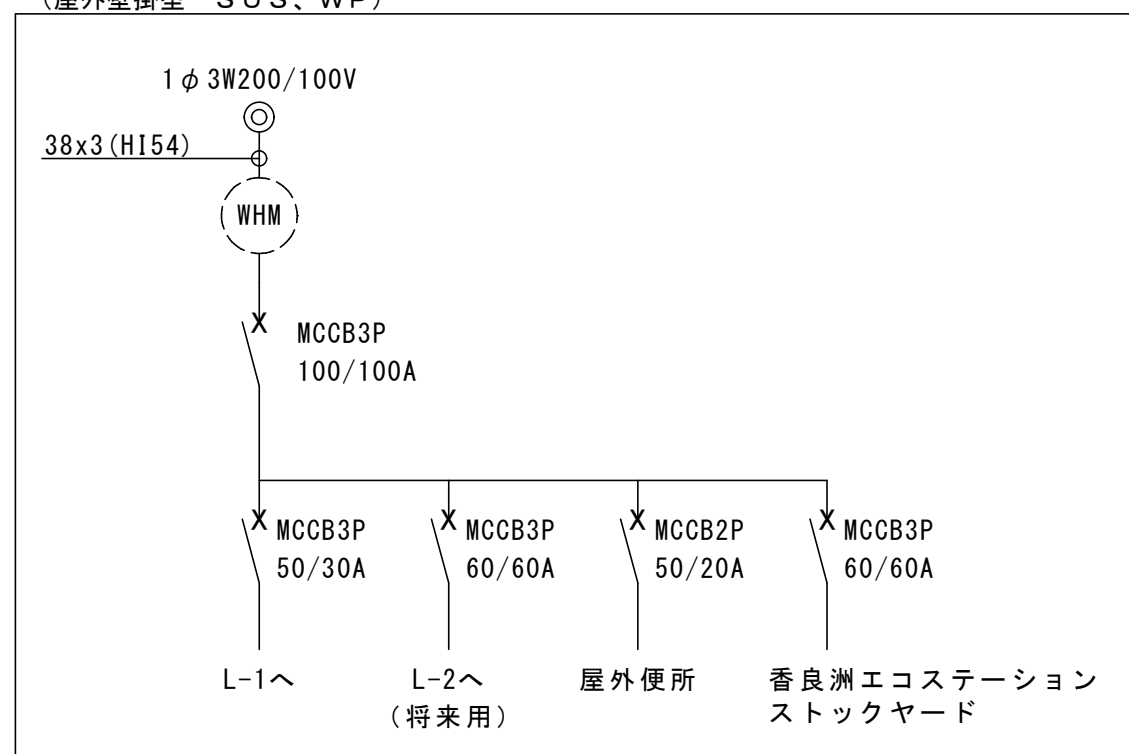
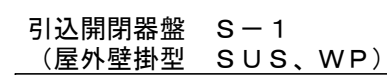
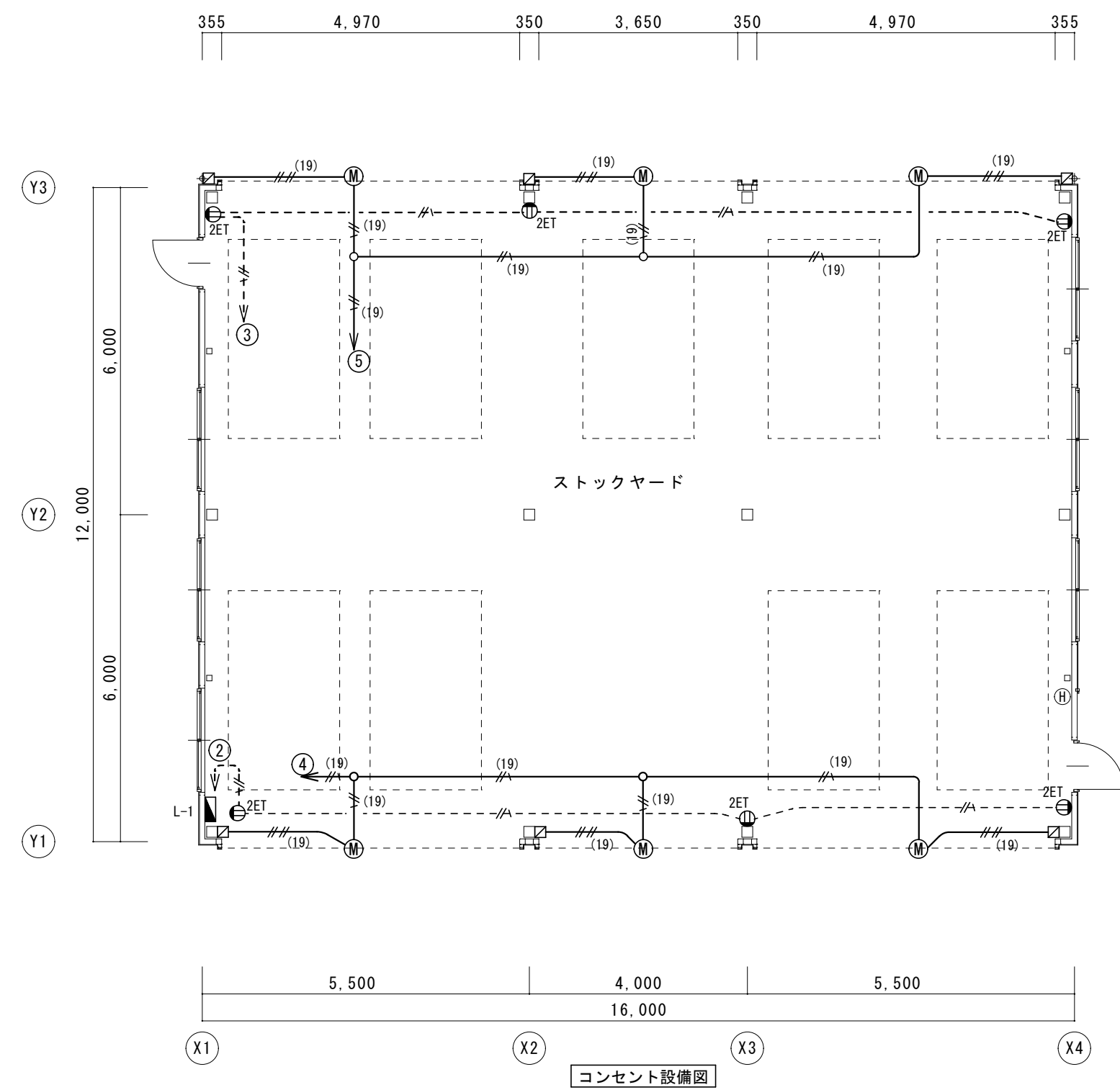
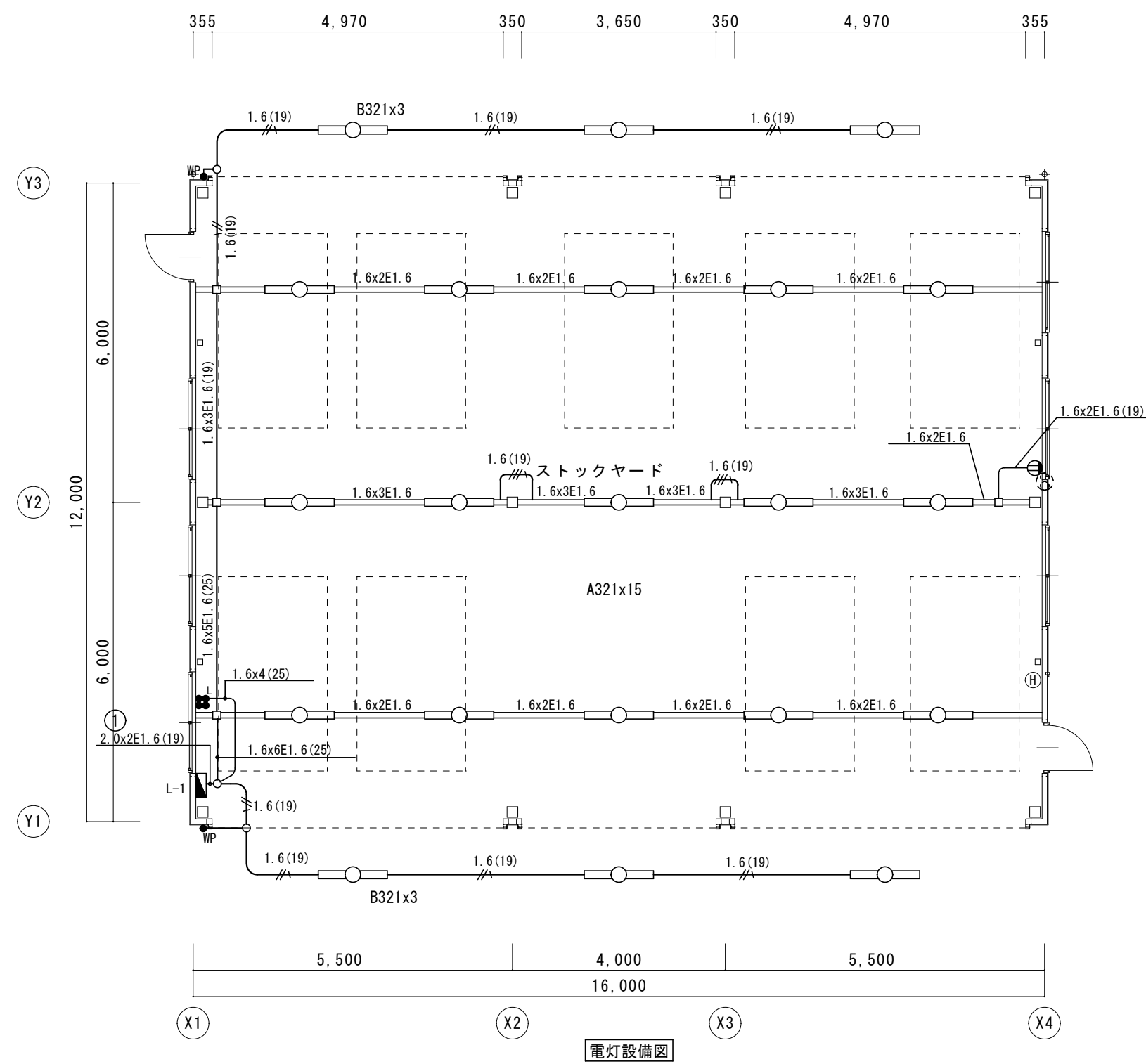
===== 胴縁 2C-100x50x20x2.3を示す





[H] 600x600x600 重荷重蓋共
地中埋設管路には、埋設表示シートを敷設すること。
印は、埋設表示杭を示す。



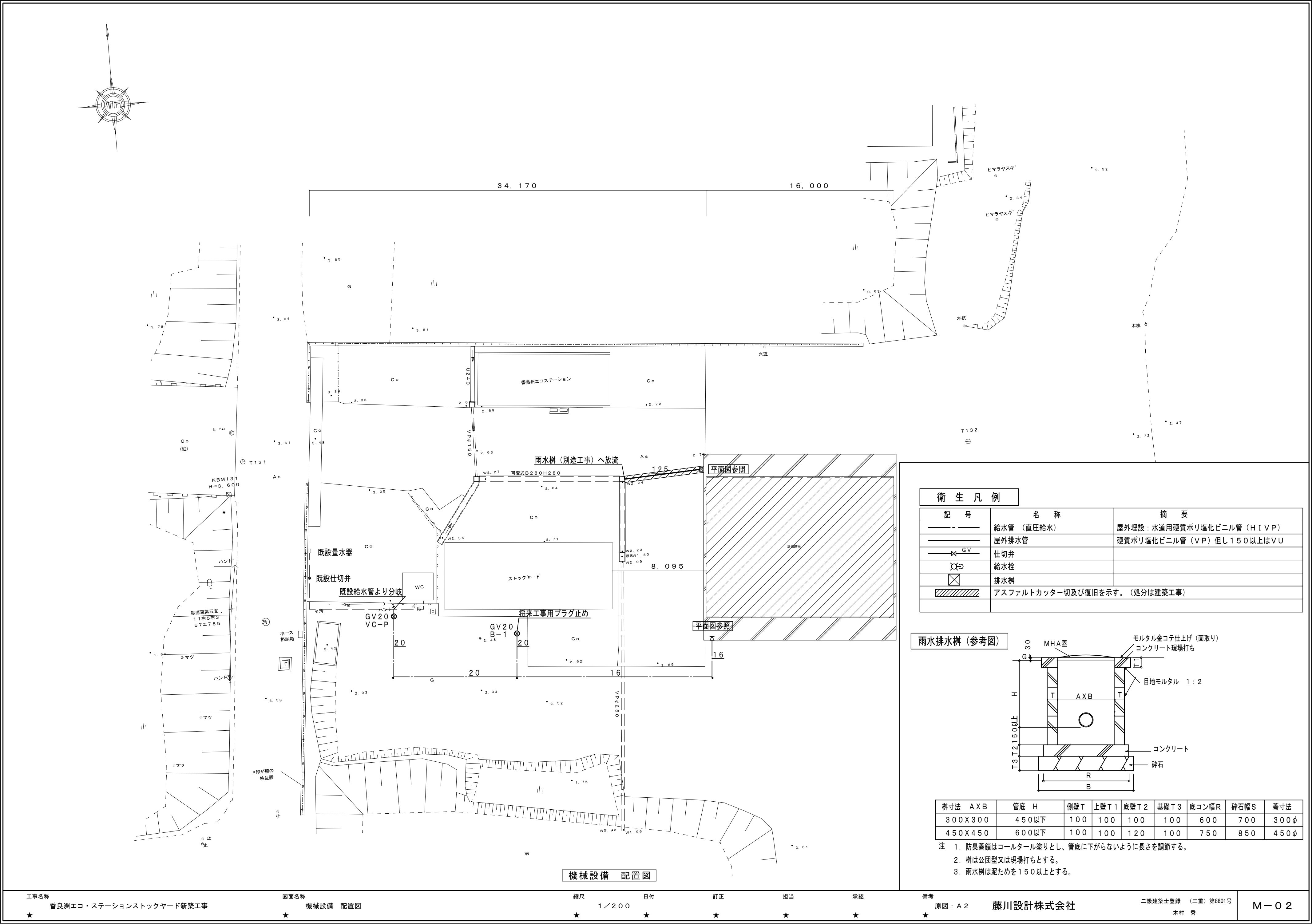


記 号	名 称	備 考
	照明器具	姿図参照
●	露出スイッチ 新金属プレート	1P15Ax1
●L	露出スイッチ 新金属プレート	パイロットスイッチ
●WP	防水スイッチ	1P15Ax1
	露出コンセント 新金属プレート	2P15Ax1
 2ET	露出コンセント 新金属プレート	2P15Ax2+ET
	電灯分電盤 L-1	
	押しボタンスイッチ	支給品

記入なき配線は下記による

---//△---	EM-1E 2.0x2E1.6 (PF16) スラブ配管
____//△(19)	EM-1E 2.0x2E1.6 (E19) 露出配管
____//△(19)	EM-1E 1.6x4 (E19) 露出配管
____//△(19)	EM-1E 1.6x2E1.6 (金属線び)
____//△(19)	EM-1E 1.6x2E1.6 (E19) 露出配管
____//△(19)	EM-1E 1.6x3E1.6 (E19) 露出配管

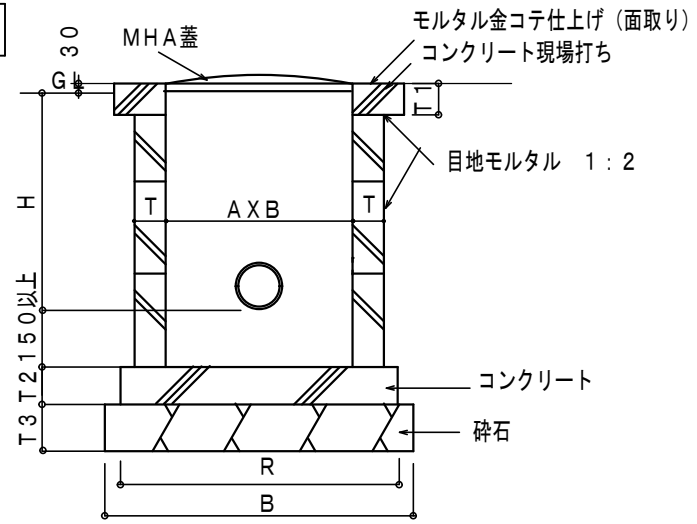
[illegible]



衛生凡例

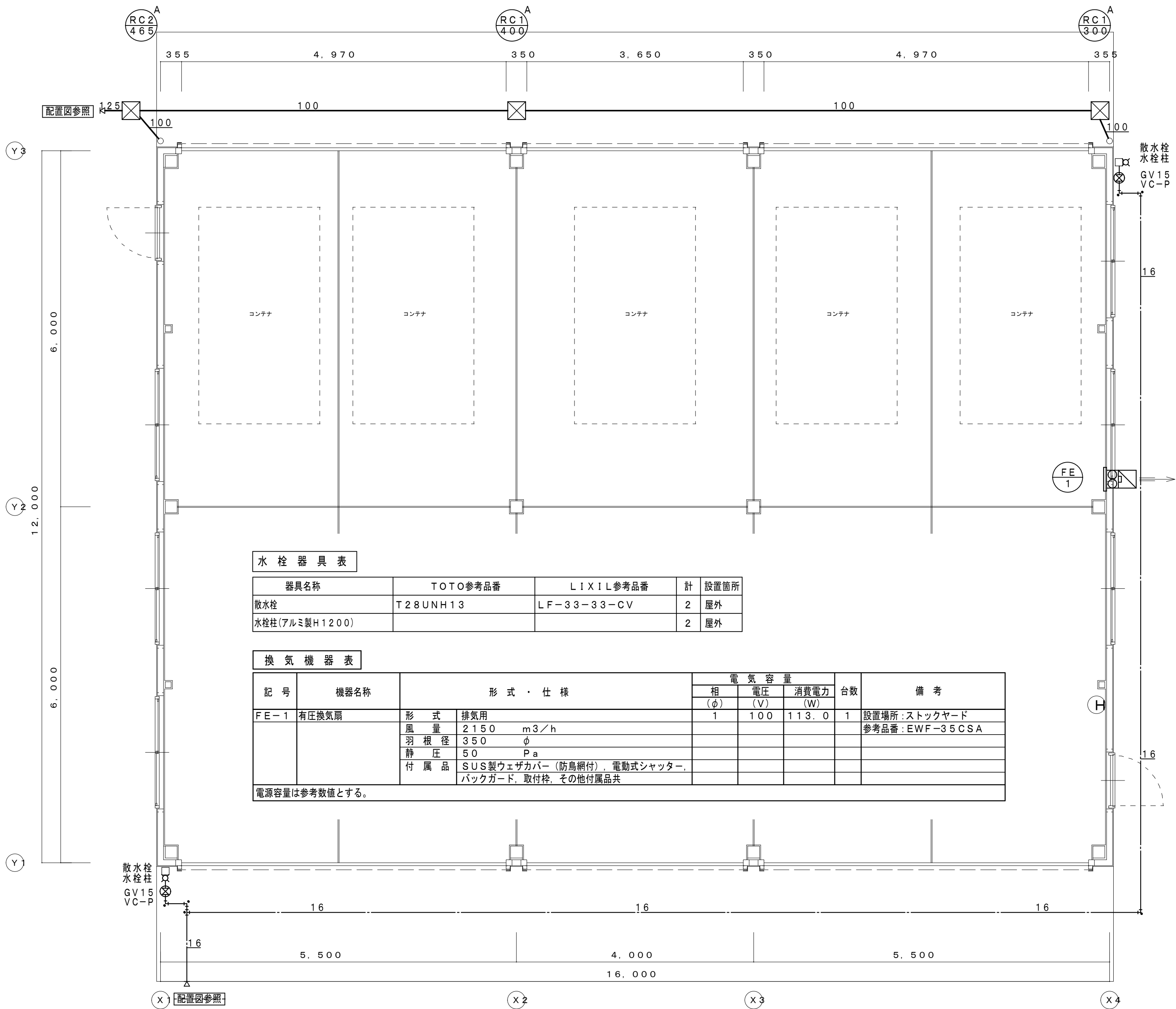
記号	名称	摘要
	給水管 (直圧給水)	屋外埋設：水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P)
	屋外排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 但し 1 5 0 以上は V U
	仕切弁	
	給水栓	
	排水樹	
	アスファルトカッター切及び復旧を示す。(処分は建築工事)	

雨水排水樹 (参考図)



樹寸法 A X B	管底 H	側壁 T	上壁 T 1	底壁 T 2	基礎 T 3	底コン幅 R	砕石幅 S	蓋寸法
3 0 0 X 3 0 0	4 5 0 以下	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	6 0 0	7 0 0	3 0 0 φ
4 5 0 X 4 5 0	6 0 0 以下	1 0 0	1 0 0	1 2 0	1 0 0	7 5 0	8 5 0	4 5 0 φ

- 注 1. 防臭蓋はコルター塗りとし、管底に下がらないように長さを調節する。
2. 樹は公団型又は現場打ちとする。
3. 雨水樹は泥ためを 1 5 0 以上とする。



水栓器具表

器具名称	TOTO参考品番	LIXIL参考品番	計	設置箇所
散水栓	T28UNH13	LF-33-33-CV	2	屋外
水栓柱(アルミ製H1200)			2	屋外

換気機器表

記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様		電 気 容 量			台数	備 考
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (W)		
F E - 1	有圧換気扇	形 式	排気用	1	1 0 0	1 1 3 . 0	1	設置場所:ストックヤード
		風 量	2 1 5 0 m 3 / h					参考品番: EWF-3 5 C S A
		羽 根 径	3 5 0 φ					
		静 圧	5 0 P a					
		付 属 品	S U S製ウェザカバー（防鳥網付）、電動式シャッター、バックガード、取付枠、その他付属品共					
電源容量は参考数値とする。								

平面図